令和8年度(区部)工事請負単価契約について

【目次】

1	対象契約	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	р.	1
2	申込受付期	間		•		•	•	•	•	•	•	•	•	р.	2
3	申込みに必	要	なり	資本	各事	更件	等		•	•	•	•	•	р.	3
4	提出書類等		•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	р.	4
5	注意事項	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	р.	1 (
6	問合せ先			•			•	•	•	•	•	•	•	р.	1 1

- [別紙 1] 令和8年度(区部)工事請負単価契約の見積合せ参加資格
- [別紙 2] 令和8年度(区部)工事請負単価契約の工事概要及び予定受注者数
- 〔別紙 3〕令和8年度水道局給・配水管工事請負単価契約調査表
- 〔別紙 4〕専任者写真台帳兼資格一覧及び専任者以外写真台帳兼資格一覧
- 〔別紙 5〕契約書、注文書、請書等の写しの例示
- 〔別紙 6〕提出書類のとじ方
- 〔別紙 7〕主たる履行区域一覧及び分割エリア区分表
- 〔別紙 8〕受注者版工事系システムの稼働条件
- [別紙 9] 「緊急時の対応能力」について(キ-1,2,3,4,維持,本管)
- 〔資料 1〕技術力等審査方式について(キ-1,2,3,4,維持,本管)
- 〔資料 2〕各工事請負単価契約の評価内訳(キー1, 2, 3, 4, 維持, 本管)
- 〔様式 1〕工事希望票兼予定監理技術者等調書
- 〔様式 2〕経歴書

1 対象契約

整理番号	契 約 件 名
	配水管小規模整備工事請負単価契約
キー1	〔工事概要〕
7-1	(1) 施工期限等の制約のある新設、撤去及び取替工事等(添架管含む。)
	(2) 小規模で点在的に残っている取替対象管整備工事
	給水管整備及び取り出し工事請負単価契約
≠ −2	〔工事概要〕
,	(1) 配水小管を布設し、給水管を整備する工事等
	(2) 給水管の新設・改造・撤去における配水小管からの分岐配管工事等
	小中口径メータ引換工事等請負単価契約
	〔工事概要〕
≠ −3	小中口径メータ (口径 13mm から 40mm まで) に関する次の工事
	(1) 有効期限満了及び異状に伴うメータ引換え
	(2) 使用開始に伴うメータ取付け、使用中止に伴うメータ取外し
	(3) メータ位置変更工事、止水栓設置工事、隔測表示器関係工事
	大口径メータ引換工事等請負単価契約 「工事概要〕
	大口径メータ(口径 50mm から 300mm まで)、隔測表示器関係に係る次の工事
	(1) 大口径メータ引換工事(検定有効期限の満了又は異状等に伴うメータの引
キー4	換え及び引上げ)及びこれに伴う水道使用者等への事前連絡
	(2) 大口径メータ取付工事、大口径メータ取外工事
	(3) 隔測表示器関係工事
	(4) PHS回線を用いた水圧確認装置関連工事
	水道施設維持補修工事請負単価契約
<i>→</i>	〔工事概要〕
キー維持	(1) 突発的に発生する水道施設の維持補修工事
	(2) 小規模で点在し、即応対応を要する水道施設の維持補修工事全般
	配水本管小規模整備工事請負単価契約(その3)
	[工事概要]
キー本管	(1) 道路工事調整上必要な配水本管工事
	(2) 濁水、出水不良、漏水の予防等の局事業運営上必要な配水本管工事
	(3) 再開発事業、区画整理事業等の公共事業に伴う配水本管工事
	(4) (1)~(3)の配水本管工事に付随して施工する配水小管工事

2 申込受付期間(全契約共通)

会社名の最初の読みにより、以下のとおり日時を分けております(会社名には、「株式会社」、「有限会社」等、会社の種類を表す名称は含めません。)。

対象者	申込受付日	申込受付時間
※ 受付会場は全日、「東京都庁第二本庁舎	22 階北側 22C 会議室」です。	
会社名が「 あ 」から始まる方		午前 9時30分から
云化石が 1 89 」 かり知よるカ		午前 10 時 30 分まで
 会社名が「 い、う、え 」から始まる方		午前 10 時 30 分から
ALTIN V () (Z. Z.) N SMC SM		午前 11 時 30 分まで
 会社名が「 お 」から始まる方	令和8年1月5日(月)	午後 1時 30 分から
Allen Wood Wood Wood Wood Wood Wood Wood Woo	1711 0 H (717	午後 2時30分まで
 会社名が「 か、き 」から始まる方		午後 2時30分から
		午後 3 時 15 分まで
会社名が「く、け、こ」から始まる方		午後 3 時 15 分から
		午後 4 時 00 分まで
会社名が「さ」から始まる方		午前 9 時 30 分から
		午前 10 時 30 分まで
会社名が「し」から始まる方		午前 10 時 30 分から
		午前 11 時 30 分まで
会社名が「 す、せ、そ 」から始まる方	令和8年1月6日(火)	午後 1時30分から 午後2時30分まで
会社名が「 た、ち、つ 」から始まる方		午後 2 時 30 分から
		午後 3 時 15 分まで 午後 3 時 15 分から
会社名が「て、と」から始まる方		午後 4 時 00 分まで
		午前 9 時 30 分から
会社名が「な、に、ぬ」から始まる方		午前 10 時 30 分まで
		午前 10 時 30 分から
会社名が「ね、の、は、ひ」から始まる方		午前 11 時 30 分まで
		午後 1 時 30 分から
会社名が「ふ、へ、ほ」から始まる方	令和8年1月7日(水)	午後 2 時 30 分まで
		午後 2時30分から
会社名が「ま、み、む、め、も」から始まる方		午後 3 時 15 分まで
会社名が「や、ゆ、よ、ら、り、る、れ、ろ、わ」		午後 3 時 15 分から
から始まる方		午後 4時 00 分まで

〔注意〕

- 該当する受付日以外には原則として受付を行いませんので、注意してください。
- 〇 受付開始前の開場はできかねます。
- 可能な限り最少人数で来庁いただきますようお願いします。
- 受付当日に体調がすぐれない方は、可能な限り社内で来庁者の調整をお願いします。
- 感染症対策については各自の責任で対応をお願いします。

3 申込みに必要な資格要件等

別紙1「令和8年度(区部)工事請負単価契約の見積合せ参加資格」のとおり。

- 令和8年度は、「技術力等審査方式」による見積合せを行います。詳細は、**資料1「技術力等審査方式」による見積合せを行います。詳細は、資料1「技術力等審査方式」について」**及び**資料2「各工事請負単価契約の評価内訳」**を参照してください。
- 契約履行に当たっての帳票等の作成はパソコンで行っていただきますので、パソコン等の機器が必要です。パソコンの動作環境については、**別紙8「受注者版工事系システムの稼働条件」**を参照してください。

4 提出書類等

- (1) 受付時に提示していただくもの
 - ア 「令和7・8年度東京都受付票」(原本)
 - 実印の押印があり、かつ裏面に実印の印鑑登録証明書が貼り付けてあるもの。
 - 代理人印又は使用印の欄がある場合は、代理人印又は使用印の押印があること。

イ 「東京都指定給水装置工事事業者証」の写し

○ 提出書類としてとじ込んであるものでよい。

(2) とじ込んで提出していただくもの

- (3)及び(4)のうち、各申込契約に該当する書類を<u>原本として</u>まとめて1部提出してく ださい。
 - ⇒ 複数の契約を申し込む場合でも、書類を1部にまとめてください。
- 原本とは別に、副本として次の書類を申込契約ごとに1部ずつ提出してください。
 - ① (3)アの「工事希望票兼予定監理技術者等調書」の写し
 - ② (3) イの**別紙3-1/10「令和8年度水道局給・配水管工事請負単価契約調査表」**の 写し
 - ③ (3)カの**別紙9「「緊急時の対応能力」について」**
 - ④ (3)キの別紙4-1/9~7/9「専任者写真台帳兼資格一覧」
 - ⇒ 副本については、カラーコピーでも構いません。ただし、資格者の顔が完全に判別できるものに限ります。
 - ⑤ (3) クの別紙4-8/9~9/9「専任者以外写真台帳兼資格一覧」
 - ⇒ 副本については、カラーコピーでも構いません。ただし、資格者の顔が完全に判別できるものに限ります。
- 各書類のとじ方の詳細は、**別紙6「提出書類のとじ方」**を参照してください。

(3)提出書類(調査表、参加資格証明書類、写真台帳等)

[注意]

調査表、写真台帳等の提出書類は、必ず令和8年度版の様式で作成してください。

- ア 「工事希望票兼予定監理技術者等調書」(原本)(全契約共通)
 - 様式1を使用してください。
 - 配置予定技術者欄の記入は不要です。

イ 別紙3「令和8年度水道局給・配水管工事請負単価契約調査表」(原本)(全契約共通)

〇 「主たる履行区域の希望順位」は、キ-1、2、3、維持は第三希望までを記入してください。

原則、主たる履行区域は第一希望とする予定ですが、特別な事情がある場合、第二・第三 希望への変更をお願いする場合がございます。また、主たる履行区域により、予定事業量が 異なりますのであらかじめ了承の上、申込みください。

 \bigcirc 別紙3-2/10の記入例~別紙3-6/10の記入例をよく読んで記入してください。

ウ 「東京都指定給水装置工事事業者証」の写し(キー本管以外契約共通)

○ キー3及びキー4においては、令和8年4月1日時点で東京都又は他の水道事業者の指定 を受けてから引き続き2年以上を経過していることが必要です。東京都の指定を受けてから 2年に満たない場合は、**他都市の「指定給水装置工事事業者証」の写し**も併せて添付してください。

- キー本管については、添付書類として必須ではありません。
- エ 「建設業許可証明書」又は「建設業許可通知書」の写し(全契約共通)

オ 「経営事項審査結果通知書」の写し(全契約共通)

- 契約締結日時点において有効なもの(審査基準日が令和6年9月1日以降のもの)。
- 複数ある場合は、審査基準日が直近のもの。
- 申請中で、有効な通知書が手元にない場合は、申込時に申請書の写しを提出し、更新処理 後に改めて提出してください。

カ 別紙9「緊急時の対応能力」について」(全契約共通)

- 申込契約ごとに用紙が異なりますので、注意してください。
- 契約ごとに提出する書類(副本)の中にとじてください。(原本には不要です。)

キ 別紙4-1/9~7/9「専任者写真台帳兼資格一覧」

- 申込契約ごとに用紙が異なりますので、注意してください。
- 保有する資格を全て記入してください。
- 各資格者の写真(6か月以内に撮影したカラー写真等)を貼り付けてください。

ク 別紙4-8/9~9/9「専任者以外写真台帳兼資格一覧」(全契約共通)

- 専任者以外の資格者を全て記入してください。
- 保有する資格を全て記入してください。
- 各資格者の写真(6か月以内に撮影したカラー写真等)を貼り付けてください。

ケ 工事実績等を確認できる契約書、注文書、請書等の写し

○ 詳細は、**別紙5「契約書、注文書、請書等の写しの例示」**を参照してください。

コ 適格請求書発行事業者の登録通知書の写し

○ 適格請求書発行事業者である場合は、適格請求書発行事業者の登録通知書の写し又は適格 請求書発行事業者公表サイト(国税庁)の写しを提出してください。

なお、適格請求書発行事業者の登録は必須ではありません。

(4) 提出書類(配置予定技術者の雇用及び資格を証明する書類)

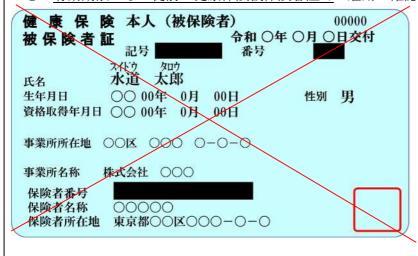
【雇用確認の書類(会社名の記載がないものは不可)】

- ① 住民税特別徴収税額の通知書又は変更通知書の写し
 - ⇒ ①で雇用の証明ができない場合は、次のいずれかの書類の写し
- ② 健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書の写し
- ③ 資格確認証(従前の健康保険被保険者証)の写し
- ④ **登記事項証明書の役員名簿欄の写し**(発行後3か月以内のもの。会社役員等の場合)
- ⑤ 雇用保険被保険者資格等確認通知書の写し

これらいずれの書類でも配置予定技術者の常用雇用の証明ができない場合は、あらかじめ当

局(**6 問合せ先**)に問い合わせてください。

- 会社名と個人名が併記され、資格者の常用雇用が確認できるものである必要があります。
- 年度の途中で、賃金台帳等により雇用状況を確認する場合があります。
- 住民税特別徴収税額の通知書に記載されている<u>受給者番号及び納付額等</u>、または資格確認証等に記載されている<u>受給者番号・被保険者等記号・番号・個人番号及びQRコード</u>にあらかじめマスキングを施してください。
- 書類の作成については、『雇用確認の書類について』をご覧ください。
- 有効期限のない従前の健康保険被保険者証での雇用の確認ができません。



ア 現場代理人として提出する書類

雇用確認の書類(申込締切日時点で常用雇用されていること。)

イ 主任技術者として提出する書類(キー本管は(イ)監理技術者のみ)

次の(ア)及び(イ)~(エ)のいずれかを提出してください。(キー本管は(イ)監理技術者のみ)

- (ア)**雇用確認の書類**(申込締切日時点で雇用期間が3か月以上あること。)
- (イ)「監理技術者資格証」(表・裏)の写し
 - ⇒「**監理技術者講習修了証」**は、令和3年1月1日以降に修了したものに限ります。
 - ⇒「監理技術者資格者証」の建設業の有無を確認してください。 +-1、2、維持、本管は「水」、+-3, 4は「管」が必要です。
- (ウ) 建設業法第7条第2号イ、口記載の実務経験を有する者
 - ⇒「経歴書」

様式2を使用してください。

また、職歴欄には、実務経験を確認できる具体的な工事名等も記載してください。

- (エ) 建設業法第7条第2号ハに該当する資格の合格証明書等の写し
 - a キー1、2及び維持
 - ・土木施工管理技士及び土木施工管理技士補(1、2級)
 - ・建築施工管理技士及び建築施工管理技士補(1、2級)
 - ・管工事施工管理技士及び管工事施工管理技士補(1、2級)
 - ・造園施工管理技士及び造園施工管理技士補(1、2級)
 - ⇒「合格証明書」
 - ※「経歴書」(国家資格等と実務経験にて主任技術者になる場合)

詳細は別紙10をご確認ください。

- ·技術士(上下水道等)
 - ⇒「技術士登録証」、「会員証」、「技術士登録等証明書」 ※合格証は証明として認めません。
- b キー3及び4
 - ·管工事施工管理技士(1、2級)
 - ⇒「合格証明書」
 - · 技術士(上下水道等)
 - ⇒「技術士登録証」、「会員証」、「技術士登録等証明書」
 - ・給水装置工事主任技術者(免状交付後、1年以上管工事の実務経験を有する者)
 - ⇒「給水装置工事主任技術者免状」、「給水装置工事主任技術者証」
 - ※給水装置工事主任技術者試験の合格者に送付される合格証書は、主任技術者として提出する書類としては認めませんので、注意してください。
- ウ 配水管工として提出する書類(キー1、2、4、維持、本管)
- (ア)**雇用確認の書類**(申込締切日時点で常用雇用されていること。)
- (イ)「配水管技能者登録証」の写し
 - a キー1、維持、本管、専任者以外(キー1、2、4、維持、本管)

(公社) 日本水道協会が発行する「配水管技能者登録証(大口径)」の写し

- ⇒ 配水管技能者登録証の更新時に大口径実技講習会を受講し、**更新時講習会受講日**(大口径)が記載された大口径管技能者登録証の発行を受けている必要があります。
 なお、申込締切日時点で大口径実技講習会を受講できていない方は、A又はBの
 提出願います。
 - A「配水管技能者登録証更新申請書」又は「更新時講習会申込書」の写し+「支払いが確認できるもの」、
 - B「受講決定通知書」の写し
- b ± -2 , 4
- (公社)日本水道協会が発行する「配水管技能者登録証(大口径)の写し又は「配水管技能者登録証(一般・耐震)」の写し

【注意】以下の点をご確認頂き、申請を行ってください。

配水管技能者登録証

第0000-00-0000号

氏 名 00 000

生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日

上記の者は、本会の下記種別の技能者名簿に登録したことを証明します。

種 別	取得日	備考
一般維手	HOO, OO, OO	
耐震維手	ноо. оо. оо	
大口径	H00, 00, 00	Т
合成管		



登録日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 有効期限 令和〇〇年〇〇月〇〇日

社団法人 日本水道協会

全契約

申込時点で有効期限内であるか確認ください。

更新時講習受講日

大□径 R□□年□□月□□日

キー1,本管,維持に申込の方は下記を確認ください。

「バーコード」又は「空白」又は

更新時講習受講日が、「更新時講習令和3年1月7日」以降

- (ウ) スーパー配管エとして提出する書類 (スーパー配管工として配置する場合のみ)
 - a 第1回から第15回までのスーパー配管工認定者

「スーパー配管工加点期間更新認定証」の写し

- ※ 「スーパー配管工認定証」の写しは不要です。
- b 第16回から第20回までのスーパー配管工認定者

「スーパー配管工認定証」の写し

- エ 給水装置工事主任技術者として提出する書類(キー本管以外)
 - (ア)**雇用確認の書類**(申込締切日時点で常用雇用されていること。)
 - (イ)「給水装置工事主任技術者免状」又は「給水装置工事主任技術者証」の写し
 - ⇒ 給水装置工事主任技術者試験の合格者に送付される合格証書は、給水装置工事主任技 術者として提出する書類としては認めませんので、注意してください。
- オ 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者として提出する書類(キー1、2、維持、本管)
- (ア)**雇用確認の書類**(申込締切日時点で常用雇用されていること。)
- (イ)「酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了証」又は「第二種酸素欠乏危険作業主任者技能講習修了証」の写し
- カ 貯水槽清掃作業監督者として提出する書類(キー1、2、維持)
- (ア)**雇用確認の書類**(申込締切日時点で常用雇用されていること。)
- (イ)「貯水槽清掃作業監督者講習会修了証書」の写し
 - ⇒ 貯水槽清掃作業監督者講習会修了証書の更新時に貯水槽清掃作業監督者再講習会を受講し、有効期限が記載された貯水槽清掃作業監督者講習会修了証書の発行を受けている必要があります。

なお、申込締切日時点で貯水槽清掃作業監督者再講習会を受講できていない方は、「**貯水 槽清掃作業監督者再講習会受講申込書」の写し**、又は「**受講決定通知書」の写し**いずれか を「**貯水槽清掃作業監督者講習会修了証書」の写し**とともに添付してください。

- キ 配水管からの分岐穿孔及び配管工事に従事する者として提出する書類(キ-1、2、維持) 次の(ア)及び(イ)~(カ)のいずれかを提出してください。
- (ア)**雇用確認の書類**(申込締切日時点で常用雇用されていること。)
- (イ)(公財)給水工事技術振興財団が発行する「給水装置工事配管技能者講習会修了証書」又は「給水装置工事配管技能者講習会修了者証」の写し
- (ウ)(公財)給水工事技術振興財団が発行する「給水装置工事配管技能者検定会合格証書」又は「給水装置工事配管技能者検定会合格者証」の写し
- (エ)(公財)給水工事技術振興財団給水装置工事配管技能者認定協議会が発行する「給水装置工事配管技能者認定証」の写し
- (オ)(公財)給水工事技術振興財団が発行する「給水装置工事配管技能者証」の写し
- (カ) 当局が発行する「分岐穿孔実務経験者確認証」の写し
- ク 石綿作業主任者として提出する書類 (キー1、2、維持)
- (ア)**雇用確認の書類**(申込締切日時点で常用雇用されていること。)
- (イ)**「石綿作業主任者技能講習修了証」**又は**「特定化学物質等作業主任者技能講習修了証」**(平成 18 年 3 月まで) **の写し**
- ケ **管工事施工管理技士として提出する書類** (キー3、4)
- (ア)**雇用確認の書類**(申込締切日時点で常用雇用されていること。)
- (イ)「管工事施工管理技士(1、2級)技術検定合格証明書」の写し
- コ **配管技能士として提出する書類** (キー3、4)
- (ア)**雇用確認の書類**(申込締切日時点で常用雇用されていること。)
- (イ)「配管技能士(1、2、3級)技能検定合格証書」の写し
- サ 担い手確保の取り組みに対する証明書類
 - (ア) **雇用確認の書類**(申込締切日時点で常用雇用されていること。)
 - ⇒ 「性別」及び「年齢」がわかるものを添付願います。

5 注意事項

(1) キー1、2、維持、本管の現場代理人、主任技術者、監理技術者及び配水管工には、営業所の専 任技術者は配置できません。

また、他の公共工事等に**専任**されている資格者は、キー $1\sim4$ 、維持、本管の各資格者(**専任者 及び専任者以外**)には配置できません。同様に、キー $1\sim4$ 、維持、本管の各資格者(**専任者及び 専任者以外**)は、契約期間内に他の公共工事等に**専任**で配置することはできませんので、注意してください。

- (2) 現場代理人、主任技術者(専任者)、監理技術者(専任者)及び配水管工(専任者)は、申込以外の工事請負単価契約において資格者として配置することはできません。ただし、専任者以外で申し込んだ主任技術者、監理技術者及び配水管工は、水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事)、キー1~4、維持、本管の範囲内で兼務することができます。
- (3) 契約後、資格者に変更が生じ、契約ごとの施工体制評価点が下がる場合には、申込時点の施工体制評価点以上の体制が確認できるまでは、当該契約において新たな発注は行いません。 また、当局の判断で虚偽申請として取り扱う場合がありますので、注意してください。
- (4) 工事現場ごとに必要な資格者は、常駐を義務付けます。
- (5)「関係する会社等」に該当する会社同士で同一の契約に申込することはできません。「関係する会社」の詳細は、東京都電子調達システムの"資格審査申請の手引"に掲載されている「令和7・8年度東京都建設工事等競争入札参加資格審査申請の手引(定期申請用)」《「関係する会社等」の基準について》(P.26~)をご覧ください。
- (6) 東京都水道局契約関係暴力団等対策措置要綱(平成22年11月15日付22水経契第368号)第3条第1項又は第2項に基づく排除措置期間中は、申込みができません。
- (7) キー本管以外の契約については、都指定給水装置工事事業者の違反事実に係る処分基準に基づく 指定の効力停止期間が令和8年4月1日以降にある場合は、申込みができません。
- (8) キー本管以外の契約については、契約後、都指定給水装置工事事業者の違反事実に係る処分基準に基づく指定の取消処分を受けた場合は、契約を解除します。

また、指定の効力停止処分を受けた期間は、新たな発注を行わないことに加え、単価契約工事の施工をすることができません。

- (9) 工事の全部又は大部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わせることはできません。
- (10) キー1、2、維持、本管については、契約後速やかに契約ごとで工事実績情報サービス(コリンズ)に基づき、工事実績情報の受注登録が必要になります。
- (11) 見積合わせは郵送で実施します。

6 問合せ先

(1) 工事内容又は提出書類に関する問合せ先

キー1	配水管小規模整備工事請負単価契約	給水部 配水課 施設管理担当
4-1	配小目小 	都庁第二本庁舎 23 階中央 03-5320-6467
キ ー2	給水管整備及び取り出し工事請負単価契約	給水部 給水課 漏水防止担当
9-2	福水官登開及び取り出し工事請負単個契約	都庁第二本庁舎 23 階南側 03-5320-6477
キー3	小中口径メータ引換工事等請負単価契約	給水部 給水課 給水装置担当
4-3	7、中口住人 クリ級工事寺哨兵事[編奏形]	都庁第二本庁舎 23 階南側 03-5320-6431
キー4	大口径メータ引換工事等請負単価契約	給水部 給水課 量水器担当
4-4		都庁第二本庁舎 23 階南側 03-5320-6387
キー維持	水道施設維持補修工事請負単価契約	給水部 配水課 施設管理担当
イー維持		都庁第二本庁舎 23 階中央 03-5320-6467
ナ. 大体	配水本管小規模整備工事請負単価契約(その3)	給水部 配水課 施設管理担当
キー本管		都庁第二本庁舎 23 階中央 03-5320-6467

[※] 各担当部署にて、令和7年度工事請負単価契約特記仕様書及び請負単価表の閲覧ができます。

(2)契約に関する問合せ先

経理部 契約課 工事契約担当 都庁第二本庁舎 21 階北側 03-5320-6403

令和8年度(区部)工事請負単価契約の見積合せ参加資格

契約工事名	キー1 配水管小規模整備工事	キー2 給水管整備及び取り出し工事	キー3 小中口径メータ引換工事等
契約方式	技	術 力 等 審 査 方 式	
東京都建設工事等競争	申込締切日時点の東京都建設工事等競争入札参加資格において、業種 [04 水道施設工事] の有資格者でDランク以上であること。	施設工事」の有資格者でEランク以上であること。	申込締切日時点の東京都建設工事等競争入札参加 資格において、業種 [09 給排水衛生工事] の有資格 者であること。
入札参加資格	令和 7・8 年度の東京都受付票を提示すること。 資格申請時の「関係する会社」に該当する会社が同一の契約に申込みをしていないこと 東京都水道局契約関係暴力団等対策措置要綱(平成 22 年 11 月 5 日付 22 水経契第 368		
建設業の許可	水道施設工事業の許可を受けていること。		管工事業の許可を受けていること。
経営事項	水道施設工事業又は土木工事業の経営事項審査を受け、かつ経営不振の状態にないこと		管工事業の経営事項審査を受け、かつ経営不振の状態にないこと。
指定事業者	東京都指定給水装置工事事業者の指定を受けており、かつ都指定給水装置工事事業者のなお、キー3は、これに加えて、東京都又は他の水道事業者の指定を受けた日から引き	き続き2年以上経過していること(令和6年4月1日以前から引き続いて指定を受	
	業務に即応できるように、事業所が23区内に所在していること。また、速やかに業務	務遂行に必要な人員、車両及び資機材を配備できること。	業務に即応できるように、事業所が23区内に所在していること。
業務体制	建設副産物(建設発生土及び建設廃棄物)については、「東京都建設リサイクルガイドラ	イン」に沿って適正に処理できること。	
未伤件问	工事系システムを導入していることから、入力帳票等の作成はパソコンで処理する必要 契約履行開始時までに、パソコンによる電子メールを利用できる環境を整備すること。	要がある。そのため、契約履行開始時までに、別紙8「受注者版工事系システムの	稼働条件」のとおり動作環境を整備すること。
	 ① 現場代理人 1名 ② 主任技術者 1名以上 ③ 配水管工 1名以上 (公社)日本水道協会に配水管技能者登録(大口径)されている者とする。ただし、配水管技能者登録証の更新時に大口径実技講習会を受講し、更新時講習会受講日(大口径)が記載された大口径管技能者登録証の発行を受けていること。 ④ 給水装置工事主任技術者 1名以上 ⑤ 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 1名以上 ⑥ 貯水槽清掃作業監督者 1名以上 ⑦ 配水管からの分岐穿孔及び配管工事に従事する者 1名以上 ⑧ 石綿作業主任者 1名以上 	 ① 現場代理人 1名 ② 主任技術者 1名以上 ③'配水管工 1名以上 (公社)日本水道協会に配水管技能者登録(大口径又は一般・耐震)されている者とする。 ④ 給水装置工事主任技術者 1名以上 ⑤ 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 1名以上 ⑥ 貯水槽清掃作業監督者 1名以上 ⑦ 配水管からの分岐穿孔及び配管工事に従事する者 1名以上 ⑧ 石綿作業主任者 1名以上 	① 現場代理人② 主任技術者① 名以上④ 給水装置工事主任技術者① 名以上
必要資格者数等	注2 各資格者については、申込締切日時点で資格を有していること。 注3 資格者は、1契約の中で同一人物が兼務することは認められる。ただし、契約こ 注4 ①は、契約ごとに専任者が必要であり、他の契約の資格者として兼ねることはで 注5 ②②'③③'は、契約ごとに1名以上の専任者が必要であり、専任者は他の契約 (大口径)されている者に限る。)は他の契約の資格者として兼ねることができる。 注6 ④⑤⑥⑦⑧は、複数の契約に申込みする場合でも、1名以上常用雇用していれば も、資格者は必要の都度、現場に配置させること。 注7 ②の主任技術者は、建設業法第7条第2号イ、ロ又はハに該当する者とする。	できない(同一契約内であれば兼務可能。)。 同の資格者として兼ねることはできない(同一契約内であれば兼務可能。)。専任者 。この場合、兼務可能な契約の範囲は、注8のとおりとする。 ば兼務することができる。ただし、他の契約において専任者として申し込んでいる ただしハに該当するものは「管工事施工管理技士(1,2級)」、「技術士(上下水 各取得後1年以上の実務経験を有すること。 事)、配水管小規模整備工事請負単価契約、給水管整備及び取り出し工事請負単価	以外(③は(公社)日本水道協会に配水管技能者登録 る資格者との兼務はできない。また、兼務する場合で 、道等)」又は「給水装置工事主任技術者」に限る。な

令和8年度(区部)工事請負単価契約の見積合せ参加資格

契約工事名	キー1 配水管小規模整備工事	キー2 給水管整備及び取り出し工事	キー3 小中口径メータ引換工事等
契約工事名 工事実績及び 技術力に関する 資格要件	水道の専門技術及び施工能力を有し、かつ適切に事務処理ができること。また、次の工 次の①、②、③、④のいずれかに該当し、かつ⑤に該当すること。 ① 令和5年度から令和7年度までのいずれかに、「配水管小規模整備工事請負単価 契約」を契約していること。 ② 令和5年度から令和7年度までのいずれかに、「水道施設維持補修工事請負単価 契約」を契約していること。 ③ 令和5年度から令和7年度までの3年間継続して、「水道緊急工事請負単価契約 (漏水修理工事)」又は「給水管整備及び取り出し工事請負単価契約」を契約して いる者で、当局配水管の管切断を行い、管布設を伴うEランク以上の総価契約案件 工事(水道施設案件工事)を令和3年4月1日以降施工しており、令和7年12月 31日までに成績評定が通知された工事実績が2件以上あること。 ④ Dランク以上の当局配水管の管切断を行い、管布設を伴う総価契約案件工事(水 道施設案件工事)を令和3年4月1日以降施工しており、令和7年12月31日ま でに成績評定が通知された工事実績が3件以上あること。 ⑥ 令和5年4月1日から申込締切日までに完工している、ステンレス鋼管による 配水管からの分岐穿孔及び配管工事の実績があること。ただし、下請負(指定事業 者施行を除く。)による施工は一次下請負までとし、これを証明するものを必要と	事実績を有すること。 次の①、②、③のいずれかに該当し、かつ④に該当すること。 ① 令和5年度から令和7年度までのいずれかに、「給水管整備及び取り出し工事請負単価契約」を契約していること。 ② 令和5年度から令和7年度までのいずれかに、「水道施設維持補修工事請負単価契約」、「水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事)」又は「配水管小規模整備工事請負単価契約」を契約している者で、当局配水管の管切断を行い、管布設を伴うEランク以上の総価契約案件工事(水道施設案件工事)を令和5年4月1日以降施工しており、令和7年12月31日までに成績評定が通知された工事実績が1件以上あること。 ③ Eランク以上の当局配水管の管切断を行い、管布設を伴う総価契約案件工事(水道施設案件工事)を令和5年4月1日以降施工しており、令和7年12月31日までに成績評定が通知された工事実績が1件以上あること。 ④ 令和5年4月1日から申込締切日までに完工している、ステンレス鋼管による配水管からの分岐穿孔及び配管工事の実績があること。ただし、下請負(指定事業者施行を除く。)による施工は一次下請負までとし、これを証明するものを必要とする。	特になし。
貸格要件	でに成績評定が通知された工事実績が3件以上あること。 ⑤ 令和5年4月1日から申込締切日までに完工している、ステンレス鋼管による 配水管からの分岐穿孔及び配管工事の実績があること。ただし、下請負(指定事業	④ 令和5年4月1日から申込締切日までに完工している、ステンレス鋼管による配水管からの分岐穿孔及び配管工事の実績があること。ただし、下請負(指定事業者施行を除く。)による施工は一次下請負までとし、これを証明す	

令和8年度(区部)工事請負単価契約の見積合せ参加資格

契約工事名	キー4 大口径メータ引換工事等	キー維持 水道施設維持補修工事	キー本管 配水本管小規模整備工事
契約方式		技 術 力 等 審 査 方 式	
東京都水道局建設工事等競争	申込締切日時点の東京都建設工事等競争入札参加資格において、業種 [09 給排水衛生工事] の有資格者であること。 令和7・8年度の東京都受付票を提示すること。	申込締切日時点の東京都建設工事等競争入札参加資格において、 業種 [04 水道施設工事] の有資格者で D ランク以上あること。	申込締切日時点の東京都建設工事等競争入札参加資格において、業 種 [04 水道施設工事] の有資格者で C ランク以上あること。
入札参加資格	資格申請時の「関係する会社」に該当する会社が同一の契約に申込みをしていないこ	:と。	
	東京都水道局契約関係暴力団等対策措置要綱(平成22年11月5日付22水経契第36	8号)第3条第1項又は第2項に基づく排除措置期間中でないこと。	
建設業の許可	管工事業の許可を受けていること。	水道施設工事の許可を受けていること。	
経営事項	管工事業の経営事項審査を受け、かつ経営不振の状態にないこと。	水道施設工事業又は土木工事業の経営事項審査を受け、かつ経営	不振の状態にないこと。
指定事業者	東京都指定給水装置工事事業者としての指定を受けており、かつ都指定給水装置工事令和8年4月1日以降にないこと。なお、キー4はこれに加えて、東京都又は他の水と(令和6年4月1日以前から引き続いて指定を受けていること。)。		東京都指定給水装置工事事業者としての指定を受けていることを求めない。
	業務に即応できるように、事業所が23区内に所在していること。	業務に即応できるように、事業所が23区内に所在していること。 ること。	また、速やかに業務遂行に必要な人員、車両及び資機材を配備でき
業務体制	建設副産物(建設発生土及び建設廃棄物)については、「東京都建設リサイクルガイド	ライン」に沿って適正に処理できること。	
	工事系システムを導入していることから、入力帳票等の作成はパソコンで処理する必	公要がある。そのため、契約履行開始時までに、別紙8「受注者版工	事系システムの稼働条件」のとおり動作環境を整備すること。
	契約履行開始時までに、パソコンによる電子メールを利用できる環境を整備すること	• 0	
	① 現場代理人②'主任技術者① 給水装置工事主任技術者1名以上	① 現場代理人 1名 ② 主任技術者 1名以上 ③ 配水管工1名以上 日本水道協会に配水管技能者登録(大口径)されている者とする。ただし、配水管技能者登録証の更新時に大口径実技講習会を受講し、更新時講習会受講日(大口径)が記載された大口径管技能者登録証の発行を受けていること。 ④ 給水装置工事主任技術者 1名以上 ⑤ 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者 1名以上 ⑥ 貯水槽清掃作業監督者 1名以上 ⑦ 配水管からの分岐穿孔及び配管工事に従事する者 1名以上 ⑧ 石綿作業主任者 1名以上	
必要資格者数等	注1 各資格者については、本契約申込締切日(令和8年1月7日。以下「申込締切日」という。)時点で常用雇用していること。ただし、主任技術者に限り、申込締切日において雇用期間が3か月以上あること。注2 各資格者については、申込締切日時点で資格を有していること。注3 資格者は、1契約の中で同一人物が兼務することは認められる。ただし、契約ごとに施工体制が確保できる人数を配置しなければならない。注4 ①は、契約ごとに専任者が必要であり、他の契約の資格者と兼ねることはできない(同一契約内であれば兼務可能。)。注5 ②'は、契約ごとに1名以上の専任者が必要であり、専任者は他の契約の資格者として兼ねることはできない(同一契約内であれば兼務可能。)。注6 ④は、複数の契約に申込みする場合でも、1名以上常用雇用していれば兼務することができる。ただし、他の契約において専任者として申し込んでいる資格者との兼務はできない。また、兼務する場合でも、資格者は必要の都度、現場に配置させること。注7 ②'の主任技術者は、建設業法第7条第2号イ、ロ又はハに該当する者とする。ただしハに該当するものは「管工事施工管理技士(1,2級)」、「技術士(上下水道等)」又は「給水装置工事主任技術者」に限る。なお、給水装置工事主任技術者の資格により申し込む場合は、申込締切日時点で資格取得後1年以上の実務経験を有すること。 注8 水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事)、配水管小規模整備工事請負単価契約、給水管整備及び取り出し工事請負単価契約、水道施設維持補修工事請負単価契約、大口径メータ引換工事等請負単価契約、大口径メータ引換工事等請負単価契約、大口径メータ引換工事等請負単価契約、大口径メータ引換工事等請負単価契約に配置する専任者以外の資格とはこれを必要が関にないてのも確認可能とする。	注1 各資格者については、本契約申込締切日(令和8年1月7日。以下「申込締切日」という。)時点で常用雇用していること。ただし、主任技術者に限り、申込締切日において雇用期間が3か月以上あること。注2 各資格者については、申込締切日時点で資格を有していること。注3 資格者は、1契約の中で同一人物が兼務することは認められる。ただし、契約ごとに施工体制が確保できる人数を配置しなければならない。注4 ①は、契約ごとに専任者が必要であり、他の契約の資格者として兼ねることはできない(同一契約内であれば兼務可能。)。 享任者以外(同一契約内であれば兼務可能。)。 専任者以外(③は(公社)日本水道協会に配水管技能者登録(大口径)されている者に限る。)は他の契約の資格者として兼ねることができる。この場合、兼務可能な契約の範囲は、注8のとおりとする。注6 ④⑤⑥⑦⑧は、複数の契約に申込みする場合でも、1名以上常用雇用していれば兼務することができる。ただし、他の契約において専任者として申し込んでいる資格者との兼務はできない。また、兼務する場合でも、資格者は必要の都度、現場に配置させること。注7 ②主任技術者は、建設業法第7条第2号イ、ロ又はハに該当する者とする。 注8 水道緊急工事請負単価契約、給水管整備及び取り出し工事請負単価契約、給水管整備及び取り出し工事請負単価契約、約2000円	に限り、申込締切目において雇用期間が3か月以上あること。 注2 各資格者については、申込締切日時点で資格を有していること。 注3 資格者は、1契約の中で同一人物が兼務することは認められる。ただし、契約ごとに施工体制が確保できる人数を配置しなければならない。 注4 ①は、契約ごとに専任者が必要であり、他の契約の資格者として兼ねることはできない(同一契約内であれば兼務可能。)。 注5 ② 3は、契約ごとに1名以上の専任者が必要であり、専任者は他の契約の資格者として兼ねることはできない(同一契約内であれば兼務可能。)。ただし、② 3は契約ごとに1名以上の専任者がいる場合、その専任者以外(③は(公社)日本水道協会に配水管技能者登録(大口径)されている者に限る。)は他の契約の資格者として兼ねることができる。この場合、兼務可能な契約の範囲は、注8のとおりとする。 注6 ④は、複数の契約に申込みする場合でも、1名以上常用雇用していれば兼務することができる。ただし、他の契約において専任者として申し込んでいる資格者との兼務はできない。また、兼務する場合でも、資格者は必要の都度、現場に配置させること。 注7 ② の監理技術者は、建設業法第15条第2号イ、ロ又はハに該当する者とする。 注8 水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事)、配水管小規模整備工事請負単価契約、給水管整備及び取り出し工事請負単価契約、小中口径メータ引換工事等請負単価契約、大口径メータ引換工事等請負単価契約、

の資格者は、これらの契約間においてのみ兼務可能とする。

令和8年度(区部)工事請負単価契約の見積合せ参加資格

契約工事名	キー4 大口径メータ引換工事等	キー維持・水道施設維持補修工事	キー本管・配水本管小規模整備工事
	水道の専門技術及び施工能力を有し、かつ適切に事務処理ができること。また、次の	・ の工事実績を有すること。	
工事実績及び技術力に関する資格要件		① 令和7年度に当局の「水道施設維持補修工事請負単価契約」を契約している者で、当該工事の成績評定が、令和7年4月1日から令和7年12月31日までの各月で55点未満が1度以上ない者、又は55点以上60点未満が2度以上ない者。 当局の「水道緊急工事請負単価契約(維持補修工事)」又は「水道施設維持補修工事請負単価契約」を令和3年4月1日以降3年間連続して契約しており、令和7年12月31日ま	① 令和5年度から令和7年度までのいずれかに、「配水管小規模整備工事請負単価契約」を契約していること。かつ、口径400mm以上の当局配水管の管切断を行い、管布設を伴う工事を令和3年4月1日以降施工しており、令和7年12月31日までに成績評定が通知された工事実績があること。 ② Cランク以上の口径400mm以上の当局配水管の管切断を行い、管布設を伴う総価契約案件工事(水道施設案件工事)を令和3年4月1日以降施工しており、令和7年12月31日までに成績評定が通知された工事実績が2件以上あること。

※ 下請負契約工期は、配水管工事標準仕様書の工期の定義に準じて算定します。

受付期間

令和8年1月5日(月)、1月6日(火)、1月7日(水)

令和8年度(区部)工事請負単価契約の工事概要及び予定受注者数

整 理 番 号	業種	契 約 件 名	履行区域	工 事 概 要	契約期間	予定受注者数	申込先	備考
≒ −1	水道施設 工 事	配水管小規模 整備工事 請負単価契約	東京都 23区内 及び 近接区域	ア 施工期限等の制約のある新設、撤去及び取替工事(添架管含む。) イ 小規模で点在的に残っている取替対象管整備工事	令和8年4月 1日 から 令和9年3月31日 まで	5 0 者		・資格要件を満たさない方の申
÷−2	水道施設 工 事	給水管整備及び 取り出し工事 請負単価契約	東京都23区内	ア 配水小管を布設し、給水管を整備する工事等 イ 給水管の新設・改造・撤去における配水小管からの分岐配管工事	令和8年4月 1日 から 令和9年3月31日 まで	100者	都庁第二 本庁舎 22階北側 22C会議室	込みはできません。 ・申込み後に資格要件を満たさないことが判明した場合、申込みは無効となります。 ・申込みに必要な資格要件については、別紙1「令和8年度(区部)工事請負単価契約の見積合せ参加資格」のとおりで
* -3	給 排 水 衛生工事	小中口径メータ 引換工事等 請負単価契約	東京都 23区内	小中口径メータ(口径13mmから40mmまで)に関する次の工事 ア 有効期限満了及び異状に伴うメータ引換え イ 使用開始に伴うメータ取付け、使用中止に伴うメータ取外し ウ メータ位置変更工事、止水栓設置工事、隔測表示器関係工事	令和8年4月 1日 から 令和9年3月31日 まで	120者		す。

[※] 本予定表の内容に変更が生じる場合もあります。

受付期間 令和8年1月5日(月)、1月6日(火)、1月7日(水)

令和8年度(区部)工事請負単価契約の工事概要及び予定受注者数

整 理	業種	契 約 件 名	履行区域	工 事 概 要	契 約 期 間	予定受注者数	申込先	備考
÷-4	給 排 水 衛生工事	大口径メータ 引換工事等 請負単価契約		大口径メータ(口径50mmから300mmまで)、隔測表示器関係に係る次の工事 ア 大口径メータ引換工事(検定有効期限の満了又は異状等に伴うメータの引換え及び引上げ)及びこれに伴う水道使用者等への事前連絡 イ 大口径メータ取付工事、大口径メータ取外工事 ウ 隔測表示器関係工事 エ PHS回線を用いた水圧確認装置関連工事 オ スマートメータ用通信機器取付・取替工事	令和8年4月 1日 から 令和9年3月31日 まで	5者		・資格要件を満たさない方の
キー維持	水道施設 工 事	水道施設維持補修工事 請負単価契約	東京都 23区内 及び 近接区域	ア 突発的に発生する水道施設の維持補修工事 イ 小規模で点在し、即応対応を要する水道施設の維持補修工事全般	令和8年4月 1日 から 令和9年3月31日 まで	46者	都庁第二 本庁舎	申込みはできません。 ・申込み後に資格要件を満たさないことが判明した場合、申込みは無効となります。 ・申込みに必要な資格要件については、別紙1「令和8年度(区部)工事請負単価契約の見積合せ参加資格」のとおり
キー本管	水道施設 工 事	配水本管 小規模整備工事 (その3)	東京都 2 3 区内 及び 近接区域	ア 道路工事調整上必要な配水本管工事 イ 濁水、出水不良、漏水の予防等の局事業運営上必要な配水本管工事 ウ 再開発事業、区画整理事業等の公共事業に伴う配水本管工事 エ ア〜ウの配水本管工事に付随して施工する配水小管工事	令和8年4月 1日 から 令和10年3月31日 まで	4者		です。

[※] 本予定表の内容に変更が生じる場合もあります。

令和8年度水道局給 • 配水管工事請負単価契約調査表

※原本1部を作成の上、写しを申込契約数だけ作成し、原本は工事希望票などと共につづり込みます。 ※履行区域の適性を期するため、事業所の所在地や車両及び資器材の配備状況について、適宜、

水道局が確認を行います。

ふ り が な 商号又は名称						
s り が な 代 表 者 名						
給水装置工事事業者	指定番号第() 号	有効期限(令	和年	月	日)
所 在 地	〒 –					
電話 • 面積	電話 ()		事務所面積		m^2
資 材 置 場	〒 –					
所在地・面積				置場面積		m^2
ふりがな 記入担当者名			連絡先	()	
メールアドレス			@			

申し込む契約の整理番号を全て○で囲み、主たる履行区域の希望順位(支所単位)を記入してください。 ※南部支所を希望する場合は、課まで記入のこと。

整理番号	契約件名	主	たる履行区域の希望順	位
金柱留石	关权件和	第一	第二	第三
‡ - 1	配水管小規模整備工事請負単価契約	支所	支所	支所
‡ - 2	給水管整備及び取り出し工事請負単価契約	支所	支所	支所
‡ - 3	小中口径メータ引換工事等請負単価契約	支所	支所	支所
‡ - 4	大口径メータ引換工事等請負単価契約			
キ- 維持	水道施設維持補修工事請負単価契約	支所	支所	支所
キ- 本管	配水本管小規模整備工事請負単価契約			

※希望履行区域は、希望順位に従い第三位まで記入してください。 主たる履行区域については、キー1及び維持は別紙7-1/3、キー2及び3は別紙7-2/3を参照してください。 キー4及び本管は23区内を発注エリアとします。

原則、主たる履行区域は第一希望とする予定ですが、特別な事情がある場合、第二・第三希望への変更をお願いする場合がございます。

また、主たる履行区域により、予定事業量が異なりますのであらかじめ了承の上、申込みください。

※水道局使用欄

受付欄	施設管理欄	漏水防止欄	給水装置欄	量水器欄

キ-1、2 専任者配置予定及び資格一覧

- 1. 申込契約別に記入すること。
 2. 主任技術者、配水管工の順に氏名を記入すること。
 2. 主任技術者、配水管工の順に氏名を記入すること。
 3. 主任技術者は、資格内容を記入すること。(例 監理技術者→「監理」 ○級土木施工管理技士→「○級土木」 建設業法第7条 第2号イ、ロ又はハに 記載の実務経験を有する者→「その他」)
 4. 取得している資格に「○」を記入すること。ただし、第16回から第20回までのスーパー配管工認定者及び第1回から第15回までのスーパー配管工認定者のうち加点期間更新者として認められた者は、「S」と記入すること。
 5. 専任者写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。
 6. 女性技術者又は40歳以下の技術者は「○」を記入すること。

申込契約		配置予定者	現場代理人	主任技術者	配水管工 (キー1 大口径必 須)	給水装置 工事主任 技術者	酸素欠乏· 硫化水素 危険作業 主任者	貯水槽 清掃作業 監督者	配水管から の分岐穿孔 及び 配管工事に 従事する者	石綿作業 主任者	女性技術 者 又は 40歳以下 の技術者
	1	フリガナ 氏 名	\bigcirc								
		フリガナ									
	2	氏 名									
		フリガナ									
	3	氏 名									
	4	フリガナ									
		氏 名									
	5										
キー		氏 名									
1	6	フリガナ									
	_	氏 名									
	7	フリガナ 氏 名									
		フリガナ									
	8	氏 名									
		フリガナ									
	9	氏 名									
	10	フリガナ									
	10	氏 名									
		フリガナ									
	1	氏 名	\bigcirc								
		フリガナ									
	2	氏 名									
	3	フリガナ									
	٥	氏 名									
	4	フリガナ									
		氏名									
丰	5										
キー・		フリガナ									
2	6										
		フリガナ									
	7	氏 名									
		フリガナ									
	8	氏 名									
	9	フリガナ									
		氏 名									
	10	フリガナ 氏 名									

キ-3 専任者配置予定及び資格一覧

- 1. 主任技術者は専任者として1名以上必要。現場代理人、主任技術者の順に氏名を記入すること。
 2. 主任技術者は、資格内容を記入すること。(例 監理技術者→「監理」 給水装置工事主任技術者→「給主」 管工事施工管理技士→「管工事」建設業法第7条第2号イ、ロ又はハに記載の実務経験を有する者→「その他」技術士(上下水道)→「その他」)
 3. 取得している資格に「○」を記入すること。ただし、申込締切日(令和8年1月7日)時点で、<mark>資格取得後10年以上経過している場合は、「⑩」を記入すること。</mark>
 4. 専任者写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。

- 5. 女性技術者又は40歳以下の専任の主任技術者もしくは現場代理人は「○」を記入すること。

申込契約		配置予定者		現場代理人	主任技術者	給水装置 工事 主任技術者	管工事施工 管理技士 (1、2級)	配管技能士 (1、2、3級)	女性技術者 又は 40歳以下の 技術者
	1	フリガナ 氏 名		0					
	2	フリガナ 氏 名							
キー	3	フリガナ 氏 名							
3	4	フリガナ 氏 名							
	5	フリガナ 氏 名							
	6	フリガナ 氏 名							

キ-4 専任者配置予定及び資格一覧

- 1. 主任技術者は専任者として1名以上必要。現場代理人、主任技術者の順に氏名を記入すること。
 2. 主任技術者は、資格内容を記入すること。(例 監理技術者→「監理」 給水装置工事主任技術者→「給主」 管工事施工管理技士→「管工事」建設業法第7条第2号1、「マスはハに記載の実務経験を有する者→「その他」技術士(上下水道)→「その他」)
 3. 取得している資格に「○」を記入すること。ただし、申込締切日(令和8年1月7日)時点で、<mark>資格取得後10年以上経過している場合は、「⑩」を記入すること。</mark>
 4. 専任者写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。
 5. 女性技術者又は40歳以下の専任の主任技術者もしくは現場代理人は「○」を記入すること。

申込契約			配置予定者	現場代理人	主任技術者	給水装置 工事 主任技術者	管工事施工 管理技士 (1、2級)	配管技能士 (1、2、3級)	配水管工	女性技術者 又は 40歳以下の 技術者
		フリガナ								
	1	氏 名		\cup						
		フリガナ								
	2	氏 名								
	2	フリガナ								
キー	3	氏 名								
4		フリガナ								
	4	氏 名								
		フリガナ								
	5	氏 名								
		フリガナ								
	6	氏 名								

キー維持 専任者配置予定及び資格一覧

- 1. 専任する資格者を記入すること。
 2. 主任技術者、配水管工は専任者として1名以上必要。現場代理人、主任技術者、配水管工の順に氏名を記入すること。
 3. 主任技術者は、資格内容を記入すること。 (例 監理技術者→「監理」 ○級土木施工管理技士→「○級土木」 建設業法第7条第2号イ、ロ又はハに記載の実務経験を有する者→「その他」)
 4. 取得している資格に○を記入すること。ただし、第16回から第20回のスーパー配管工認定者及び第1回から第15回のスーパー配管工認定者のうち、加点期間更新者として認められた者は、「S」と記入すること。
 5. 専任者写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。
 6. 過去3年に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事を経験している場合は「維持」、過去5年に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している場合は「区単」と記入すること。
 7. 女性技術者又は40歳以下の技術者は「○」を記入すること。

申込契約			配置予定者	現場代理人	主任技術者	配水管工(大口径)	給水装置工 事主任技術 者	酸素欠乏・ 硫化水素危 険作業主任 者	貯水槽清掃 作業監督者	配水管から の分岐・穿 孔、配管工 事に従事す る者	石綿作業主 任者	過去3年の 現場代理人 又は専任の 主任技術者 経験	女性技術者 又は 40歳以下 の技術者
	1	フリガナ 氏 名		0									
	2	フリガナ 氏 名											
+	3	フリガナ 氏 名											
 維 持	4	フリガナ											
持	5	フリガナ											
	6	フリガナ 氏 名											
	7	フリガナ 氏 名											

キー維持を申し込む場合で、下記の2点に当てはまる場合は記入してください。

【 φ400mm以上の施工実績 】

過去5年間(工期が1日でも含まれるもの)の当局水道施設工事(区部)における口径400mm以上の施工実績がある場合は記載 ください。(下請の場合は2件記入してください。)完成図を添付してください。

	工事件名 (契約番号)	工事概要	工事期間	工事 成績 評定点	下請けの場合 元請会社名
1		管径 φ ~ φ	年 月 日から		
	(契約番号)	総延長 m	年 月 日まで		
2		管径 φ ~ φ	年 月 日から		
4	(契約番号)	総延長 m	年 月 日まで		

【 φ400mm以上の施工資器材及び体制確保の可否 】

下記内容に当てはまる場合は、チェック欄にチェックを入れてください。

チェック欄

当局水道施設工事(区部)における口径400mm以上の施工資器材を含む体制を確保可能

キー本管 専任者配置予定及び資格一覧

- 専任する資格者を記入すること。
 監理技術者、配水管工は専任者として1名以上必要。現場代理人、監理技術者、配水管工の順に氏名を記入すること。
 監理技術者の資格を有する者のみ記入すること。(例 監理技術者→「監理」)
 取得している資格に○を記入すること。ただし、第16回から第20回のスーパー配管工認定者及び第1回から第15回のスーパー配管工認定者のうち、加点期間更新者として認められた者は、「S」と記入すること。
 専任者写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。
 女性技術者又は40歳以下の技術者は「○」を記入すること。
 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者については、専任者以外に配置される技術者でも可とする。

				現場代理人	監理技術者	配水管工(大口径)	酸素欠乏・ 硫化水素危 険作業主任 者	女性技術者 又は 40歳以下 の技術者
	1	フリガナ 氏 名		0				
	2	フリガナ 氏 名						
+	-13	フリガナ 氏 名						
本	4	フリガナ 氏 名						
管	5	フリガナ 氏 名						
	6 フリガナ 氏 名							
	7	フリガナ 氏 名						

キー本管を申し込む場合で、下記の2点に当てはまる場合は記入してください。

【 φ400mm以上の施工実績 】

配水管小規模整備工事請負単価契約の実績がある者が申し込む場合、過去5年間(工期が1日でも含まれるもの)の 当局水道施設工事における口径400mm以上の施工実績を記載ください。完成図を添付してください。

	工事件名 (契約番号)	工事概要	工事期間	工事 成績 評定点
案件		管径 φ ~ φ	年 月 日から	
件	(契約番号)	総延長 m	年 月 日まで	
単契		管径 φ ~ φ	年 月 日から	
契	(契約番号)	総延長 m	年 月 日まで	

【 給水装置等に必要な技術者の体制確保の可否 】

下記内容に当てはまる場合は、チェック欄にチェックを入れてください。

ク欄

配水本管小規模整備工事において、専任者以外の技術者を直営及び一次下請けで体制を確保可能

キー1、2、3、4、維持、本管 専任者以外配置予定及び資格一覧

- 専任者として配置していない資格者を記入すること(配置予定者は、契約期間内に他の公共工事等への配置不可)。
 主任技術者、配水管工は専任者として1名以上必要です。主任技術者、配水管工、その他の資格者の順に氏名を記入すること。
 主任技術者は、資格内容を記入すること。(例 監理技術者→「監理」 ○級土木施工管理技士→「○級土木」建設業法第7条第2号イ、ロ又はハに記載の実務経験
- 3. 主圧技術者は、真相が存在に入りること。(内) 血生は所者 イ血生」
 ○版エホッ
 を有する者→「その他」)
 4. 取得している資格に「○」を記入すること。ただし、配水管工は第16回から第20回までのスーパー配管工認定者及び第1回から第15回までのスーパー配管工認定者のうち加点期間更新者として認められた者はスーパー配管工欄に「○」と記入すること。また、大口径講習を受けている場合は「有」欄に、受けていない場合は「無」欄に「○」 を記入すること
- なお、給水装置工事主任技術者、管工事施工管理技士、配管技能士及び配水管工において申込締切日(令和8年1月7日)時点で、<mark>資格取得後10年以上経過している</mark>
- 5. 配水管工は、(公社)日本水道協会に配水管技能者登録されているものに限る。
- 6. 専任者以外写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。

Range					キ-1,2,維持,本管	‡-1	,2,4,維持	本管	キ-1~4,維持	キ-1,2, 維持, 本管	#	テー1,2,維持		キ-	3,4
1	申込契約			配置予定者	者のみ記入) (※本管は監理技術 (※評価点対象外)	(キー1 管は評 (キー4 象)	、2、維持 価点対 は評価 大「	寺、本 象外) 点対 二径	主任技術者	危険作業主任者酸素欠乏・硫化水	水槽清掃作	従事する者 穿孔及び配管工事に 配水管からの分岐	石綿作業主任者	工	、2、3級配管技能士
2		1													
2 K & 3 3 JJ T															
3 氏名		2													
○ 下 名			フリガナ												
4 K & 2 7937+ 6 K & 4 7937+ 6 K & 8 7 K & 8 7 K & 8 7 N X & 8 7 N X & 8 7 N X & 8 7 N X & 8 7 N X & 8 7 N X & 8 7 N X & 8 7 N X & 8 7 N X & 8 7 N X & 8 7 N X X X X X X X X X X X X X X X X X X		3	氏 名												
5			フリガナ												
5 氏名 2937 6 氏名 2937 7 氏名 2937 7 氏名 2937 10 氏名 2937 11 氏名 2937 12 氏名 2937 13 氏名 2937 14 氏名 2937		4	氏 名												
			フリガナ												
6 氏 名		Э													
氏名		6													
専任任 8 氏 名 フリガナ 10 氏 名 フリガナ 11 氏 名 フリガナ 12 氏 名 フリガナ 13 氏 名 フリガナ 14 氏 名		Ů													
専 任 者 8 氏 名 フリガナ 10 氏 名 フリガナ 11 氏 名 フリガナ 12 氏 名 フリガナ 13 氏 名 フリガナ 14 氏 名		7													
者 8 氏 名	専任														
分 フリガナ 10 氏名 フリガナ 11 11 氏名 フリガナ 12 氏名 フリガナ 13 氏名 フリガナ 14 14 氏名 フリガナ 14 14 氏名 フリガナ 14 14 氏名 フリガナ 14 15 15 16 16 17 17 18 16 19 17 10 17 11 18 12 18 13 18 14 19 15 19 16 19 17 19 18 19 19 19 18 19 18 19 19 19 18 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 10 19	者以	8													
氏名 フリガナ 11 氏名 フリガナ 12 氏名 フリガナ 13 てフリガナ 14 氏名 フリガナ 14 た名 フリガナ 14 た名	外		フリガナ												
10 氏 名 フリガナ II 氏 名		9	氏 名												
氏名 フリガナ 12 氏名 フリガナ 13 氏名 フリガナ 14 氏名 フリガナ			フリガナ												
11 氏名 フリガナ 12 氏名 フリガナ 13 氏名 フリガナ 14 氏名 フリガナ		10	氏 名												
氏名 フリガナ 13 氏名 フリガナ 14 氏名 フリガナ		11	フリガナ												
12 氏 名 7リガナ 13 氏 名 7リガナ 14 氏 名 7リガナ		11													
フリガナ 13 氏名 プリガナ 14 氏名 フリガナ		12													
13 氏名 フリガナ 14 氏名 フリガナ			氏 名												
フリガナ 14 氏 名 フリガナ		13													
14 氏 名 フリガナ															
フリガナ		14													
15 _氏 名															
		15	氏 名												

別紙9「緊急	別紙9「緊急時の対応能力」について」の提出確認										
配水管小規模整備工事	提出	確認	給水管整備及び取り出し工事	提出	確認						
此	有	無	和小官登開及び取り出し工事	有	無						
小中口径メータ引換工事	提出	確認	大口径メータ引換工事	提出確認							
小中口住グーク切換工事	有	無	八口住/一ク引換工事	有	無						
水道施設維持補修工事	提出確認		配水本管小規模整備工事	提出	確認						
小	有無		配小平自小观侯霍佣工事	有	無						

[※]提出確認欄の有無を○で囲んでください。

	資機材自社	L保有量(常時リ	ースを含む。)及び調達時間					
項 目 資機材	自社保有量	調達時間	項目資機材	自社保有量	調達時間			
砂	m3	時間	サドル分水栓用穿孔機	台				
砕石	m3	時間	割T字管用穿孔機	台				
常温合材	m3	時間	キールカッター	台	時間			
カッター (20cm以上)	台	時間	カラーコーン	個	時間			
カッター (20cm以下)	台	時間	セフティーコーン	個	時間			
ダンプトラック	台		バリケード	個	時間			
小型トラック	台		照明灯	個	時間			
ライトバン	台		黄色回転灯	個	時間			
軽トラック	台		黄色注意灯	個	時間			
クレーン装置付トラック	台	時間	工事標示板	枚	時間			
クレーン車	台	時間	工事標示板	枚	時間			
バックホウ(小型)	台	時間	(高輝度反射)	仅	h公 [日]			
" (大型)	台	時間	内照式工事標示板	枚	時間			
ジャンボブレーカー	台	時間	工事予告板	枚	時間			
ブレーカ	台	時間	迂回案内板	枚	時間			
ランマー、タンパ	台	時間	警戒標識	枚	時間			
コンプレッサー	台	時間	木矢板	枚	時間			
ベルトコンベア	台	時間	(腹起・梁材含む。)	仪	h4.11			
水中ポンプ3吋	台	時間	鋼矢板	枚	時間			
水中ポンプ4吋	台	時間	覆工板(軽量)	枚	時間			
酸素濃度測定器	台	時間		簡易舗装	m			
酸欠等安全器具	式		自社で施工できる 1日当	中級舗装	mi			
発電機	台	時間	10 - A-NH	高級舗装	mi			
				特殊舗装	m			

[※]資機材をリースしている場合は、(リース)と記入してください。

【 災 害 協 定 の 締 結 有 無・災害派遣実績 】

当局と次の災害協定を締結している団体に加盟している方は、締結団体を○で囲み、チェック欄にチェックを入れてください。

	対象	契約	災害協定名称	締結団体	協定締結	過去5年間 災害派遣実績 ※ 1
			災害時における応急対策業務に関する細目協定	都建協·都中建		
	キ-		応援派遣に係る水道施設等の応急措置の協力に関する協定	東京都管工事工業協同組合 東京都水道請負工事連絡会		
1, ‡	2,維 寺,本		災害時における水道施設等の応急措置の協力に関する協定	東京都水道専業者協会 三多摩管工事協同組合		
	管	キ- 3, 4	災害時における給水装置の応急措置の協力に関する協定	東空衛		
			震災等非常災害時における水道工事用材料の供給に関する協定	ダク協・ダク異形・ バルブ工業・鋼管協会		

※1災害派遣工事の工事請負契約書の写しを添付してください。

対象契約	災害協定	協定締結先	協定名
キ-本管 (単契実績以外)	その他東京都と締結している災害時における応急措置の協力に関する協定※2		

^{※2}災害協定書の内容がわかる資料(協定書等)を添付してください。

【単価契約工事実績】

①から⑤までの実績がある場合は、主たる履行区域の支所を記入してください。※南部支所の場合は、課まで記入のこと。⑥及び⑦は、実績の有無を〇で囲んでください。

契約件名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
① 水道施設維持補修工事請負単価契約	支所	支所	支所
② 水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事)	支所	支所	支所
③ 配水管小規模整備工事請負単価契約	支所	支所	支所
④ 給水管整備及び取り出し工事請負単価契約	支所	支所	支所
⑤ 小中口径メータ引換工事等請負単価契約	支所	支所	支所
⑥ 大口径メータ引換工事等請負単価契約	有 · 無	有 · 無	有 · 無
⑦ 配水本管小規模整備工事請負単価契約		有·無	有·無
⑧ その他(有・無	有・無	有・無

[※]⑦の単価契約工事の実績がある場合は、契約書の表紙の写しを添付してください。

【緊急施行工事実績】

令和5年4月1日から令和7年12月31日までに、当局発注の災害時における緊急施行工事を完了した実績がある方のみ記入してください。(「令和6年能登半島地震に伴う水道施設復旧工事」及び「当局単価契約工事」は含まない。)

施工実績の件名									
工事期間	年	月	目	から	年	月	目	まで	

[※]別紙5「契約書、注文書、請書等の写しの例示」を参考にして、実績を証明する書類を添付してください。

【 ステンレス鋼管による配水管からの分岐穿孔及び配管工事の実績 】

配水管小規模整備工事請負単価契約、給水管整備及び取り出し工事請負単価契約、又は水道施設維持補修工事請負単価契約を希望する方で、【単価契約工事実績】の①から④までの実績がない方のみ記入してください。

工事の種類(記号を○で囲む。)	施工実績の件名	工事期間
ア 当局発注工事 イ 他官公庁発注工事 ウ 民間発注 (ア、イの下請負を含む。)		年 月 日 から 年 月 日
エ 民間発注 (指定事業者施行の下請負を除く。)	 (ウの下請負の場合は元請負も記入)	まで

[※]別紙5「契約書、注文書、請書等の写しの例示」を参考にして、実績を証明する書類を添付してください。

【 適格請求書(インボイス)発行事業者 】

適格請求書(インボイス)発行事業者の方は登録番号を記載してください。

登録番号 例: (T1234567891011)	
--------------------------	--

[※]適格請求書発行事業者の要否は、総合評価点や契約等への影響はありません。

[※]①~⑥の単価契約工事は、契約書の表紙の写しを添付する必要はありません。

【総価契約案件工事実績】

次のいずれかの条件に当てはまる場合は記入してください。

- 配水管小規模整備工事請負単価契約を、別紙1「令和8年度(区部)見積合せ参加資格」の「工事実績及び技術力に関する資格要件③又は④」で申し込む場合給水管整備及び取り出し工事請負単価契約を、別紙1「令和8年度(区部)見積合せ参加資格」の「工事実績及び技術力に関する資格要件②又は④」で申し込む場合大口径メータ引換工事等請負単価契約を、別紙1「令和8年度(区部)見積合せ参加資格」の「工事実績及び技術力に関する資格要件②」で申し込む場合水道施設維持補修工事請負単価契約を、別紙1「令和8年度(区部)見積合せ参加資格」の「工事実績及び技術力に関する資格要件③かつ⑤」で申し込む場合水道施設維持補修工事請負単価契約を、別紙1「令和8年度(区部)見積合せ参加資格」の「工事実績及び技術力に関する資格要件④かつ⑥」で申し込む場合成本管小規模整備工事請負単価契約を、別紙1「令和8年度(区部)見積合せ参加資格」の「工事実績及び技術力に関する資格要件④かつ⑥」で申し込む場合配水本管小規模整備工事請負単価契約を、別紙1「令和8年度(区部)見積合せ参加資格」の「工事実績及び技術力に関する資格要件④)で申し込む場合契約金額とは、契約変更の最終金額とする。

		工事件名		工事概要	工事 ###	工事 下請けの場合元請会
	(契約番号)(契約金額	千円)	工事概要	工事期間	成績 ド請りの場合元請会 社名 評定点 社名
				管径φ ~φ	年 月 日から	
1				総延長 m		
	(契約番号)(契約金額	千円)	新設数 (条件才) 個	年 月 日まで	
				管径 φ ∼ φ	年 月 日から	
2				総延長 m		
	(契約番号)(契約金額	千円)	新設数 (条件才) 個	年 月 日まで	
				管径φ ~φ	年 月 日から	
3				総延長 m	F 0 04-	
	(契約番号) (契約金額	千円)	新設数 (条件才) 個	年 月 日まで	
				管径φ ~ φ	年 月 日から	
4				総延長 m	左 日 口才不	
	(契約番号)(契約金額	千円)	新設数 (条件才) 個	年月日まで	
				管径φ ~φ	年 月 日から	
5				総延長 m	年月日まで	
	(契約番号)(契約金額	千円)	新設数 (条件才)	平 月 日まじ	
				管径 φ ~ φ	年 月 日から	
6				総延長 m 新設数 m	年月日まで	
	(契約番号)(契約金額	千円)	(条件才)	7 7 120	
				管径 φ ~ φ	年 月 日から	
7				総延長 m 新設数 m	年月日まで	
	(契約番号)(契約金額	千円)	(条件才)	7 7 130	
				管径 φ ~ φ	年 月 日から	
8				総延長 m 新設数 m	年月日まで	
	(契約番号)(契約金額	千円)	(条件才)	1 71 150	
_				管径 φ ~ φ	年 月 日から	
9				総延長 m 新設数 m	年月日まで	
	(契約番号)(契約金額	千円)	(条件才)	, ,,	
10				管径φ ~ φ	年 月 日から	
10				総延長 m 新設数 m	年月日まで	
	(契約番号)(契約金額	千円)	(条件才) 個		

※別紙5「契約書、注文書、請書等の写しの例示」を参考にして、実績を証明する書類を添付してください。 ※条件ア・カは、令和3年4月1日以降施工し、令和7年12月31日までに成績評定が通知された案件すべてを記入してください。 ※条件イ・ウ・エは、令和5年4月1日以降施工し、令和7年12月31日までに成績評定が通知された案件すべてを記入してください。 ※条件オは、令和5年4月1日以降施工し、令和7年12月31日までに成績評定が通知された案件すべてを記入してください。 また、当該案件の水道附属施設新設個数も併せて記入してください。

※記入する案件が11件以上ある場合は、別紙3-10/10を複数枚使用してください。

キ-1、2 専任者配置予定及び資格一覧(記入例)

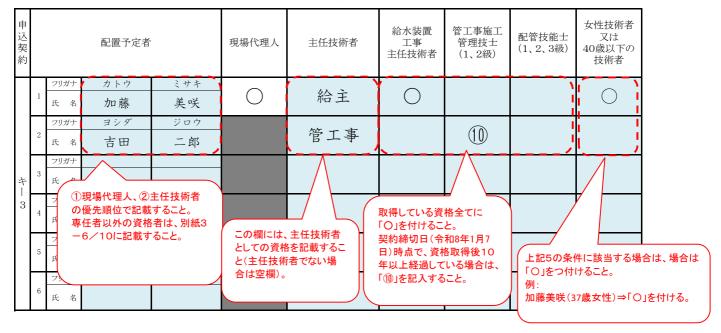
- 1. 申込契約別に記入すること。
 2. 主任技術者、配水管工は専任者として1名以上必要。現場代理人、主任技術者、配水管工の順に氏名を記入すること。
 3. 主任技術者は、資格内容を記入すること。(例 監理技術者→「監理」 ○級土木施工管理技士→「○級土木」 建設業法第7条 第2号イ、ロ又はハに 記載の実務経験を有する者→「その他」)
 4. 取得している資格に「○」を記入すること。ただし、第16回から第20回までのスーパー配管工認定者及び第1回から第15回までのスーパー配管工認定者のうち加点期間更新者として認められた者は、「S」と記入すること。
 5. 専任者写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。
 6. 女性技術者又は40歳以下の技術者は「○」を記入すること。

- 6. 女性技術者又は40歳以下の技術者は「○」を記入すること。

申込契約		配置予定者		現場代理人	主任技術者	配水管工	給水装置 工事主任 技術者	酸素欠乏· 硫化水素 危険作業 主任者	貯水槽 清掃作業 監督者	配水管から の分岐穿孔 及び 配管工事に 従事する者	石綿作業 主任者	女性技術 者 又は 40歳以下 の技術者
	1		チロウ 、 一郎	0		0				0		
	2		^{ジロウ} 二郎		その他	0		0			\circ	
	3	氏名 高橋	+ブロウ 三郎		監理		\circ					
	4	氏名 田中	シロウ 四郎		1級土木	l						0
キー	5	<u> </u>	結衣		その他	S					,	0
1	6	フリガナ 氏名 フリガナ						格全てに「C 記定者には				<u> </u>
	7	氏名フリガナ			PÉIRIT (F	者、一級(二	级》十十块工	- 無理性士				
	8	氏 常)優先	この欄には 任技術者と の資格を記	、土 して して ・ ・ ・ ・ と選択する。	任技術者にな				┃ の条件に該当 つ付けること		、場合は
	9	氏 名 専任者以外の資格 引紙3 - 6 / 10に記っています。 こと。	者は、	すること(主 技術者でな 場合は空欄	仕 い ⇒「その	(実務経験10 他」を選択す (一級土木施	る。	補)	例: 田中四	郎(33歳男性 衣(28歳女性	E)⇒「○」を作	1
	10	氏 名) ⇒「その							
						他」を選択す	්රං 					
	1	フリガナ・ワタナベ イ	チロウト 一郎	0		S	්තිං 					
	1 2	フリガナ ア タナベ イ 氏 名 渡辺 フリガナ ヤマモト	1	0	2級土木		১					
	2	フリガナ ワタナベ イ 氏名 渡辺 フリガナ ヤマモト 氏名 山本 フリガナ ナカムラ サ 氏名 中村	一郎 ジロウ 二郎 +ブロウ 三郎	0			•		0			
	3	フリガナ ワタナベ イ 氏名 渡辺 フリガナ ヤマモト 氏名 山本 フリガナ ナカムラ サ 氏名 中村 フリガナ コバヤシ 氏名 小林	一郎 ^{ジロウ} 二郎 +ブロウ	0	2級土木				0			
+-	1 2 3 4	フリガナ ワタナベ イ 氏名 渡辺 フリガナ ヤマモト 氏名 山本 フリガナ ナカムラ 氏名 中村 フリガナ コバヤシ 氏名 小林 フリガナ 氏名	一郎 ジロウ 二郎 +ブロウ 三郎 シロウ	0	2級土木 その他	S	() 収得している	資格全でに「チェア・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	○」を付ける			
+12	1 2 3 4 5 6	フリガナ ワタナベ イ 氏名 渡辺 フリガナ ヤマモト 氏名 山本 フリガナ ナカムラ 氏名 中村 フリガナ コバヤシ 氏名 小林 フリガナ 氏名 大リガナ 氏名	一郎 ジロウ 二郎 ナブロウ 三郎 シロウ 四郎		2級土木 その他	S	() 収得している	資格全でに「許工認定者に	OJを付ける は、「SJを付 上記60	けけること。 D条件に該当		場合は
1	1 2 3 4 5 6 7	フリガナ ワタナベ 氏名 渡辺 フリガナ ヤマモト 氏名 山本 フリガナ ナカムラ 氏名 中村 フリガナ スペート 氏名 フリガナ 氏名 フリガナ 氏名 フリガナ 氏名 フリガナ 氏名 スペート フリガナ スペート 氏名 アリガナ 日本 アリガナ 日本 アリガナ 日本 アリガナ 日本 アリガナ 日本 アリカナ アリカナ アリカナ	一郎 ジロウ ニョウ コロウ コロウ コロウ コロウ コロウ コロウ ター・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー・ブー		2級土木 その他 その他	S	() 収得している		「O」を付ける は、「S」を付 上記60 「O」を 例:	けけること。	•	
1	1 2 3 4 5 6 7 8 8	フリガナ ワタナベ 氏名 渡辺 フリガナ ヤマモト 氏名 山本 フリガナ ナカムラ 氏名 中村 フリガナ エバヤシ 氏名 ハ林 フリガナ 氏名 氏名 1現場代理人、② 術者、③配水管工	一郎 ジロウ コロウ シロ郎 シロの郎 主の優と と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		2級土木 その他 その他 この欄には、主任技術者としての資格を記載すること	S 監理技術で 「その他」を	な得している スーパー配管	至工認定者に 吸)土木施工	「O」を付ける。 は、「S」を作 上記60 「O」をで例: 小林四」	けけること。 	,)⇒「O」を付	·Itā。
1	1 2 3 4 5 6 7 8 9	フリガナ ワタナベ 氏名 渡辺 フリガナ ヤマモト 氏名 山本 フリガナ ナカムラ 氏名 中村 フリガナ 氏名 八林 フリガナ 氏名 小林 フリガナ 氏名 氏名 フリガナ	一郎 ジロウ コロウ シロ郎 シロの郎 主の優と と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		2級土木 その他 その他 この欄には、主任技術者としての資格を	S 監理をのは にのは にのは にのは にのは にのは にのは にのは に	取得している管 ・一級の名 ・一級の名 ・一級なる ・一級なるこ ・一級なるこ ・一級を選択 ・世」を選択を選択する。	京工認定者に 級) 土木施工と 年)	「O」を付けるは、「S」を作 上記60 「O」を一例: 小林四」	けけること。 D条件に該当 つ付けること。 郎(32歳男性	,)⇒「O」を付	·Itā。

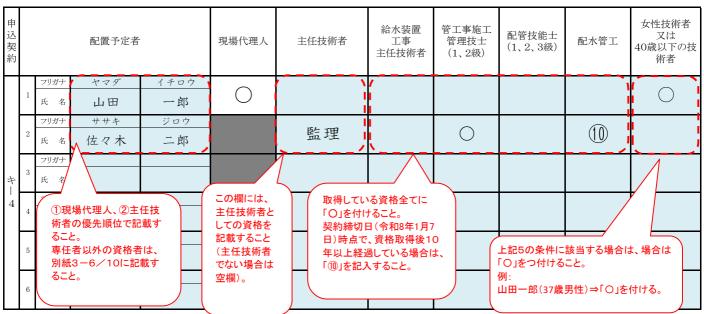
キー3 専任者配置予定及び資格一覧(記入例)

- 主任技術者は専任者として1名以上必要。現場代理人、主任技術者の順に氏名を記入すること。
 主任技術者は、資格内容を記入すること。(例 監理技術者→「監理」 給水装置工事主任技術者→「給主」 管工事施工管理技士→「管工事」 建設業法 第7条第2号イ、ロ又はハに記載の実務経験を有する者→「その他」)
- 3. 取得している資格に「〇」を記入すること。ただし、申込締切日(令和8年1月7日)時点で、<mark>資格取得後10年以上経過している場合は、「⑩」を記入すること</mark>。
- 4. 専任者写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。
- 5. 女性技術者又は40歳以下の専任の主任技術者もしくは現場代理人は「○」を記入すること。



キー4 専任者配置予定及び資格一覧(記入例)

- 1. 主任技術者は専任者として1名以上必要。現場代理人、主任技術者の順に氏名を記入すること。
- 2. 主任技術者は、資格内容を記入すること。(例 監理技術者→「監理」 給水装置工事主任技術者→「給主」 管工事施工管理技士→「管工事」 建設業法第 7条第2号イ、ロ又はハに記載の実務経験を有する者→「その他」)
- 3. 取得している資格に「○」を記入すること。ただし、申込締切日(令和8年1月7日)時点で、<mark>資格取得後10年以上経過している場合は、「⑩」を記入すること。</mark>
 4. 専任者写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。
- 5. 女性技術者又は40歳以下の専任の主任技術者もしくは現場代理人は「○」を記入すること。



キー維持 専任者 (配置予定及び資格一覧 (記入例)

- 1. 専任する資格者を記入すること。
 2. 主任技術者、配水管工は専任者として1名以上必要。現場代理人、主任技術者、配水管工の順に氏名を記入すること。
 3. 主任技術者は、資格内容を記入すること。 (例 監理技術者→「監理」 ○級土木施工管理技士→「○級土木」 建設業法第7条第2号イ、ロ又はハに記載の実務経験を有する者→「その他」)
 4. 取得している資格に○を記入すること。ただし、第16回から第20回のスーパー配管工認定者及び第1回から第15回のスーパー配管工認定者のうち、加点期間更新者として認められた者は、「S」と記入すること。
 5. 専任者写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。
 6. 過去3年に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事を経験している場合は「維持」、過去5年に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している場合は「区単」と記入すること。
 7. 女性技術者又は40歳以下の技術者は「○」を記入すること。

申込契約	配置予定者	現場代理人	主任技術者	配水管工	給水装置工 事主任技術 者	酸素欠乏・ 硫化水素危 険作業主任 者	貯水槽清掃 作業監督者	配水管から の分岐・穿 孔、配管工 事に従事す る者	石綿作業主 任者	過去3年の 現場代理人 又は専任の 主任技術者 経験	女性技術者 又は 40歳以下 の技術者	
	1 フリガナ ナカタ イチロウ 氏 名 中田 一郎	0		' 0		0	0			維持	0	
	2 フリガナ イノウエ ジロウ 氏 4 井上 二郎		監理	0								
+	3 フリガナ キムラ ハナコ 氏 名 木村 花子		2級土木		0				0		0	
 	4 フリガナ オガワ サブロウ 氏 名 小川 三郎			S				0		区単		
持	5 フリガナ コバヤシ マコト 氏 名 小林 誠 6 フリガナ スリガカ	理技士以外で 選択すること										
	7 氏 名		<u> </u>	\	41700	他」を選択する			<u> </u>			
	①現場代理人、②主任技術 著、③配水等工の優先順位		、主任技術者と		/	/ / /		件に該当す 区単」と記入		維		
者、③配水管工の優先順位で記載すること。 専任者以外の資格者は、別 紙3-6/10に記載すること。 取得している資格全でに「○」を付けること。 取得している資格全でに「○」を付けること。 取得している資格全でに「○」を付けること。 水十花子(32歳女性)⇒「○」を付ける。 木村花子(32歳女性)⇒「○」を付ける。											」を付	

過去5年間(工期が1日でも含まれるもの)の当局水道施設工事(区部)における口径400mm以上の施工実績がある場合は記 載ください。(下請の場合は2件記入してください。) 完成図を添付してください。

	工事件名 (契約番号)	工事概要	工事期間	工事 成績 評定点	下請けの場合 元請会社名
1		管径 φ ~ φ	年 月 日から		
1	(契約番号)	総延長 m	年 月 日まで		
2	1	管径 φ ∼ φ	年 月 日から		
	(契約番号)	総延長 m	年 月 日まで		1
	元請けとして φ 400mm以上の施工実績が3件以上 ある場合は、代表1件のみの記入で構いません。		下請けの場合は、2	2件の実績が必要	₹.

【 φ400mm以上の施工資器材及び体制確保の可否 】

キー維持を申し込む場合で、下記内容に当てはまる場合は、チェック欄にチェックを入れてください。

チェック欄

当局水道施設工事(区部)における口径400mm以上の施工資器材を含む体制を確保可能

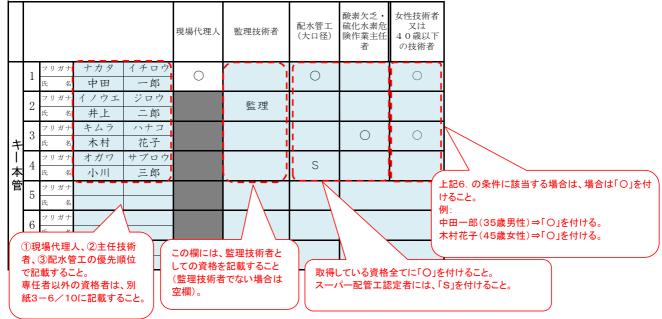
申込時点で体制確保可能の場合は チェックを入れる。

キー本管 専任者配置予定及び資格一覧

- 1. 専任する資格者を記入すること。

- 専任する資格者を記入すること。
 監理技術者、配水管工は専任者として1名以上必要。現場代理人、監理技術者、配水管工の順に氏名を記入すること。
 監理技術者の資格を有する者のみ記入すること。(例 監理技術者→「監理」)
 取得している資格に○を記入すること。ただし、第16回から第20回のスーパー配管工認定者及び第1回から第15回のスーパー配管工認定者のうち、加点期間更新者として認められた者は、「S」と記入すること。
 車任老写自会邮華容払一階と同じ個番で記入すること。

- 5. 専任者写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。 6. 女性技術者又は40歳以下の技術者は「○」を記入すること。 7. 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者については、専任者以外に配置される技術者でも可とする。



キー本管を申し込む場合で、下記の2点に当てはまる場合は記入してください。

【 φ400mm以上の施工実績 】

配水管小規模整備工事請負単価契約の実績がある者が申し込む場合、過去5年間(工期が1日でも含まれるもの)の 当局水道施設工事における口径400mm以上の施工実績を記載ください。完成図を添付してください。

	工事件名 (契約番号)	工事概要	工事期間	工事 成績 評定点
案件	(和M-亚口	管径 φ ~ φ	年 月 日から	
単契	(契約番号)	案件及び単契で400	mm以上(本管)実績の確認 	を行うため。
	(契約番号)	総延長 m	年 月 日まで	

【 給水装置等に必要な技術者の体制確保の可否 】

下記内容に当てはまる場合は、チェック欄にチェックを入れてください。

配水本管小規模整備工事において、専任者以外の技術者を直営及び一次下請けで体制を確保可能

配本管小規模整備工事の中で必要になる場合が あるので、その時の体制について確認するため。

ク欄

キー1、2、3、4、維持、本管 専任者以外配置予定及び資格一覧(記入例)

- 専任者として配置していない資格者を記入すること(配置予定者は、契約期間内に他の公共工事等への配置不可)。
 主任技術者、配水管工、その他の資格者の順に氏名を記入すること。
 主任技術者は、資格内容を記入すること。(例 監理技術者→「監理」 ○級土木施工管理技士→「○級土木」 建記 ○級土木施工管理技士→「○級土木」 建設業法第7条第2号イ、ロ又はハに記載
- 3. 主仕技術者は、資格内容を記入すること。(例 監理技術者→「監理」 ○級土木施工管理技士→「○級土木」 建設業法第7条第2号4、巨又は小に記載の実務経験を有する者→「その他」)
 4. 取得している資格に「○」を記入すること。ただし、配水管工は第16回から第20回までのスーパー配管工認定者及び第1回から第15回までのスーパー配管工認定者のうち加点期間更新者として認められた者はスーパー配管工欄に「○」と記入すること。また、大口径講習を受けている場合は「有」欄に、受けていない場合は「無」欄に「○」を記入すること。
 なお、給水装置工事主任技術者、管工事施工管理技士、配管技能士及び配水管工において申込締切日(令和8年1月7日)時点で、資格取得後10年以上経
- 5. 配水管工は、(公社)日本水道協会に配水管技能者登録されているものに限る。
- 6. 専任者以外写真台帳兼資格一覧と同じ順番で記入すること。

					キ-1,2,維持,本管	+ -1	,2,4,維持,	本管	キ-1~4,維持	キ-1,2, 維持, 本管	Э	テ−1,2,維非	÷	キー	3,4
申込契約			配置予定者		(※評価点対象外) (※評価点対象外)	(キー1 管は評	2水管 、2、維持 価点対 は評価 大口	寺、本 象外) 点対	主任技術者	危険作業主任者酸素欠乏・硫化水素	貯水槽清掃作業	従事する者 穿孔及び配管工事に 配水管からの分岐	石綿作業主任者	(1、2級)管工事施工管理技士	(1、2、3級)配管技能士
	1	フリガナ 氏 名	イノウエ 井上	イチロウ 一郎	監理		0								
	2	フリガナ 氏 名	キムラ 木村	ジロウ 二郎	その他								\bigcirc		
		フリガナ	ハヤシ	サブロウ											
	3	氏 名	林	三郎		\bigcirc	\bigcirc					\circ			
	4	フリガナ	サイトウ	シロウ					\bigcirc		0	\bigcirc			
	1	氏 名	斎藤	四郎					O						
	5	フリガナ 氏 名	シミズ 清水	五郎	その他				\bigcirc					\bigcirc	
		フリガナ	ヤマザキ	ロクロウ											
	6	氏 名	山崎	六郎				\circ	10						
	7	フリガナ	アベ	シチロウ											
専任	1	氏 名	阿部	七郎	医理坛街老 一										
仕者以	8	フリガナ 氏 名	モリ 森	ハチロウ 八郎	以外で主任技術				ェスェ の他」を選択する	こと	\bigcirc				
以外		フリガナ	イケダ	クロウ	例: 木村二郎(一級			支士補)							
	9	氏 名	池田	九郎	⇒「その他」を 清水五郎(実務									10	
		フリガナ	ハシモト	ジュウロウ	⇒「その他」を	選択する	る。								
	10	氏 名	橋本	十郎		`									\bigcirc
	11	フリガナ 氏 名													
	12 13 14	<td <="" color="12" rowspan="2" td=""><td></td></td>											<td></td>		

専任者写真台帳兼資格一覧

注意事項

- 1) 申込契約ごとに、2部ずつ専任者写真台帳兼資格一覧を作成すること。ただし、そのうちの1部はカラーコピーでも可とする。
- 2) 写真は、6ヶ月以内にカラーで撮影したものとする。 なお、デジタルカメラで撮影したものは、資格者の顔が完全に判別できるものに 限る(画像のアスペクト比は変更しないこと。)。
- 3) 専任者写真台帳兼資格一覧には、専任者として配置する資格者を記入すること。 なお、専任者は、他の契約との兼務はできない(同一契約内で複数の資格者として配置することは可能。)。
- 4) 各資格者は、本契約申込締切日(令和8年1月7日。以下「申込締切日」という。) 時点で常用雇用していること。ただし、主任技術者に限り、申込締切日において雇 用期間が3か月以上あること。
- 5) 主任技術者については、建設業法第7条2項に該当する内容をプルダウンより 選択する事。なお、「その他(経歴、技術士など)」とは、実務経験や建設業法にお ける配置技術者となり得る国家資格等に該当する者。
- 6) キー3、キー4、については、給水装置工事主任技術者の資格をもって主任技術者として配置することができる。ただし、申込締切日時点で資格取得後1年以上の実務経験を有すること。
- 7) キー1、キー維持、キー本管に配置する配水管工は、(公社)日本水道協会に配水管技能者登録(大口径)されている者とする。ただし、配水管技能者登録証の更新時には、大口径実技講習会を受講し、大口径管技能者登録証の発行を受けていること。

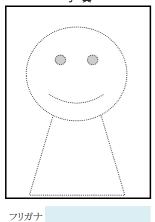
また、キー2、キー4に配置する配水管工は、(公社)日本水道協会に配水管技能者登録(大口径又は一般・耐震)されている者とする。

- 8) 配水管工の資格者で、第16回から第20回までのスーパー配管工認定者及び 第1回から第15回までのスーパー配管工認定者のうち、加点期間更新者として 認められた者は、配水管工における資格の有無欄に「S」を記入すること。
- 9) キー3、キー4においては、給水装置工事主任技術者、管工事施工管理技士 (1、2級)、配管技能士(1~3級)又は配水管工(キー4のみ)が資格取得後10年 以上の実務経験を有する場合、評価点の対象となる。そのため、証書を再発行し た経緯があるものについては、資格取得日が確認できる書類を添付すること。 また、1級又は2級の資格取得後10年に満たないが、2級又は3級の資格取得 後10年以上の実務経験を有する場合は、その証書を添付すること。
- 10) 別紙3「専任者配置予定及び資格一覧」の順に整理すること。
- 11) 専任者写真台帳兼資格一覧が1つの契約で複数枚にわたる場合は、申込契約 ごとに、右上に通し番号を振ること。

キー1 専任者写真台帳兼資格一覧

(1/)

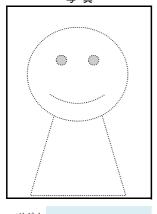




	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
現場代理人	0		申込契約ごとに1名	
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込できません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

写 真

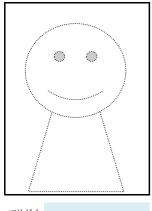
氏名



フリガナ	
氏名	
八石	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 できません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

写 真



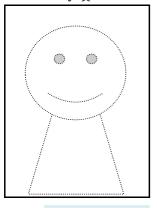
フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 できません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

キー1 専任者写真台帳兼資格一覧

(2/)

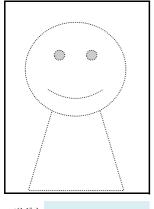




L	i				
	フリガナ				
_					
	氏名				

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者 は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 できません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

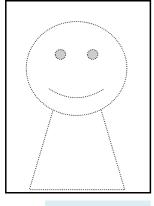
写 真



フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申述できません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

写 真



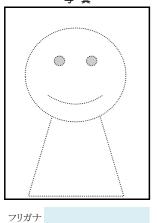
フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 できません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

キー2 専任者写真台帳兼資格一覧

(1/)

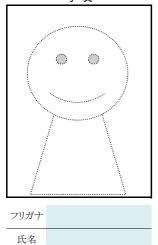
写 真



	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
現場代理人	\circ		申込契約ごとに1名	
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者 は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申 みできません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者	_			

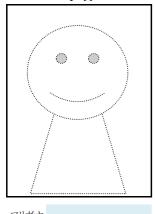
写 真

氏名



	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考	
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新は、資格の有無欄を「S」にしてください。	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申 みできません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

写 真



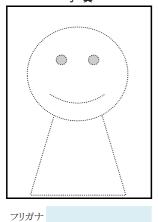
フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者 は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申 みできません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

キ-2 専任者写真台帳兼資格一覧

(2/)

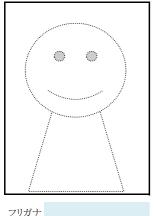
写 真



	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考	
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 みできません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

写 真

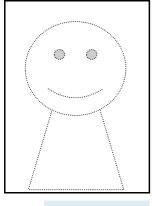
氏名



フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考	
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新は、資格の有無欄を「S」にしてください。	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申 みできません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

写 真



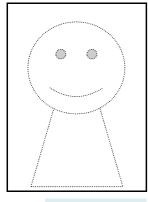
フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考	
主任技術者			資格內容	
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新は、資格の有無欄を「S」にしてください。	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約には申 みできません。	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

キー3 専任者写真台帳兼資格一覧

(1/

写 真

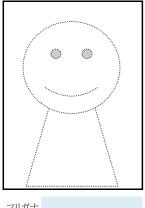


	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考	
現場代理人	0		申込契約ごとに1名	
主任技術者			資格内容	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約 は申込みできません。	
管工事施工管理技士 (1、2級)				
配管技能士(1、2、3級)				

フリガナ

氏名

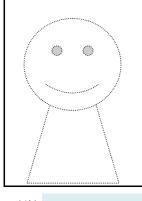
写 真



	資格の 有無	有効期限等 チェック		備考
主任技術者			資格内容	
給水装置工事 主任技術者				
管工事施工管理技士 (1、2級)			専任者は、他の工事請負単価契約 は申込みできません。	
配管技能士(1、2、3級)				

フリガナ

写 真



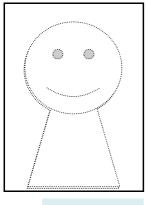
	資格の 有無	有効期限等 チェック		備考
主任技術者			資格内容	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約 は申込みできません。	
管工事施工管理技士 (1、2級)				
配管技能士(1、2、3級)				

フリガナ 氏名

キー3 専任者写真台帳兼資格一覧

(2/

写 真

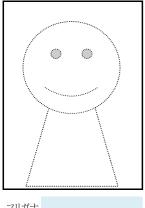


	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考		
主任技術者			資格内容		
給水装置工事 主任技術者					
管工事施工管理技士 (1、2級)			専任者は、他の工事請負単価契約に は申込みできません。		
配管技能士(1、2、3級)				1841-185-18 C G G G 100	

フリガナ

氏名

写 真

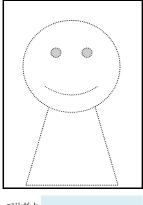


	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考		
主任技術者			資格内容		
給水装置工事 主任技術者					
管工事施工管理技士 (1、2級)			専任者は、他の工事請負単価契約に は申込みできません。		
配管技能士(1、2、3級)			は甲込みできません。		

フリガナ

氏名

写 真



		資格の 有無	有効期限等 チェック		備考
主任技術者				資格内容	
給水装置工事 主任技術者					
管工事施工管理技 (1、2級)	士				他の工事請負単価契約に 申込みできません。
配管技能士(1、2、3	3級)				

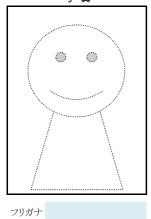
フリガナ

氏名

キー4 専任者写真台帳兼資格一覧

(1/

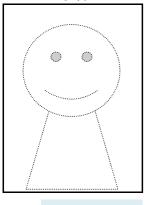
写 真



	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考	
現場代理人	0		申込契約ごとに1名	
主任技術者			資格内容	
給水装置工事 主任技術者			専任者は、他の工事請負単価契約1 は申込みできません。	
管工事施工管理技士 (1、2級)				
配管技能士(1、2、3級)				
配水管工				

写 真

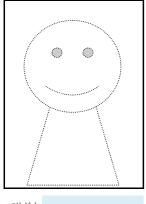
氏名



	資格の 有無	有効期限等 チェック		備考
主任技術者			資格内容	
給水装置工事 主任技術者				
管工事施工管理技士 (1、2級)			専任者は、他の工事請負単価契約に は申込みできません。	
配管技能士(1、2、3級)				
配水管工				

フリガナ 氏名

写 真



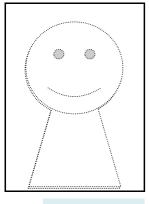
フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備 考	
主任技術者			資格内容	
給水装置工事 主任技術者				
管工事施工管理技士 (1、2級)			専任者は、他の工事請負単価契約に は申込みできません。	
配管技能士(1、2、3級)				
配水管工				

キー4 専任者写真台帳兼資格一覧

(2/

写 真

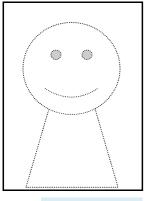


	資格の 有無	有効期限等 チェック		備 考
主任技術者			資格内容	
給水装置工事 主任技術者				
管工事施工管理技士 (1、2級)				他の工事請負単価契約に
配管技能士(1、2、3級)			は申込みできません。	
配水管工				

フリガナ

氏名

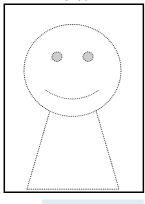
写 真



	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考	
主任技術者			資格内容	
給水装置工事 主任技術者				
管工事施工管理技士 (1、2級)			専任者は、他の工事請負単価契約には申込みできません。	
配管技能士(1、2、3級)				
配水管工				

フリガナ 氏名

写 真



		資格の 有無	有効期限等 チェック		備考
主	任技術者			資格内容	
	〈装置工事 任技術者				
	施工管理技士 1、2級)			専任者は、他の工事請負単価契約には申込みできません。	
配管技能	E士(1、2、3級)				
酉	己水管工				

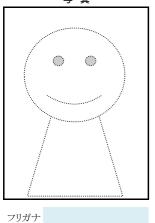
フリガナ

氏名

キー維持 専任者写真台帳兼資格一覧

(1/)

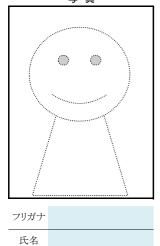
写 真



	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考	
現場代理人	\circ		申込契約ごとに1名		
主任技術者			資格内容		
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S		
給水装置工事 主任技術者					
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込みできません。		
貯水槽清掃 作業監督者					
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者					
石綿作業主任者					

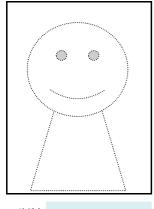
写 真

氏名



	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考	
主任技術者			資格内容		
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S		
給水装置工事 主任技術者					
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者					
貯水槽清掃 作業監督者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込みできません。		
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者					
石綿作業主任者					

写 真



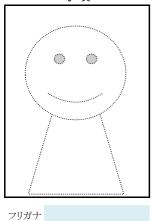
フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考
主任技術者			資格内容
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。
給水装置工事 主任技術者			
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			
貯水槽清掃 作業監督者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 みできません。
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者			
石綿作業主任者			

キー維持 専任者写真台帳兼資格一覧

(2/)

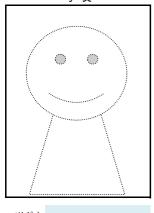




	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者				
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者			専任者は、他の工事請 みできません。	負単価契約には申込
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

写 真

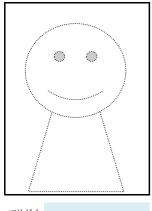
氏名



	<u> </u>
フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者				
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者			専任者は、他の工事請 みできません。	負単価契約には申込
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

写 真



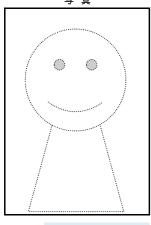
フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者				
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者				
貯水槽清掃 作業監督者			専任者は、他の工事請 みできません。	負単価契約には申込
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				

キー本管 専任者写真台帳兼資格一覧

(1/)

写 真

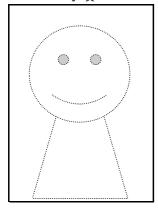


	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考
現場代理人	0		申込契約ごとに1名
監理技術者			
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 みできません。

フリガナ

氏名

写 真

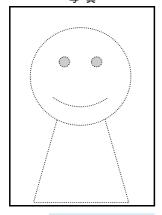


	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考
監理技術者			
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 みできません。

フリガナ

氏名

写 真



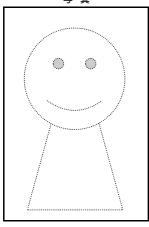
	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考
監理技術者			
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 みできません。

フリガナ

氏名

キー本管 専任者写真台帳兼資格一覧 (2/)

写 真

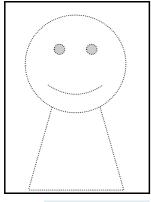


	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考
監理技術者			
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 みできません。

フリガナ

氏名

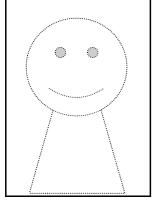
写 真



フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考
監理技術者			
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。
酸素欠乏·硫化水素			専任者は、他の工事請負単価契約には申込 みできません。

写 真



フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
監理技術者			資格内容	
配水管工			スーパー配管工認定者は、資格の有無欄を「S	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者	_		専任者は、他の工事語 みできる	

キー1、2、3、4、維持、本管

専任者以外写真台帳兼資格一覧

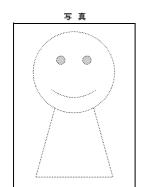
注意事項

- 1) 専任者以外写真台帳兼資格一覧を、原本1部に加えて申込契約数分だけ作成すること。ただし、原本以外はカラーコピーでも可とする。
- 2) 写真は、6ヶ月以内にカラーで撮影したものとする。 なお、デジタルカメラで撮影したものは、資格者の顔が完全に判別できるものに 限る(画像のアスペクト比は変更しないこと。)。
- 3) 専任者以外写真台帳兼資格一覧には、専任者以外の資格者を記入すること。
- 4) 各資格者は、本契約申込締切日(令和8年1月7日。以下「申込締切日」という。) 時点で常用雇用していること。ただし、主任技術者に限り、申込締切日において雇 用期間が3か月以上あること。
- 5) 主任技術者については、建設業法第7条2項に該当する内容をプルダウンより 選択する事。なお、「その他(経歴、技術士など)」とは、実務経験や建設業法にお ける配置技術者となり得る国家資格等に該当する者。
- 6) 配水管工は、(公社)日本水道協会に配水管技能者登録(大口径)されている者は全契約に配置できる技術者とする。ただし、配水管技能者登録証の更新時には、大口径実技講習会を受講し、大口径管技能者登録証の発行を受けていること。

また、(公社)日本水道協会に配水管技能者登録(大口径又は一般・耐震)されている者はキー2のみでの技術者とする。

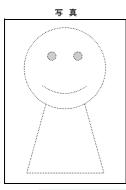
- 7) 配水管工の資格者で、第16回から第20回までのスーパー配管工認定者及び 第1回から第15回までのスーパー配管工認定者のうち、加点期間更新者として 認められた者は、配水管工における資格の有無欄に「S」を記入すること。
- 8) キー3、キー4においては、給水装置工事主任技術者、管工事施工管理技士 (1、2級)、配管技能士(1~3級)又は配水管工(キー4のみ)が資格取得後10年 以上の実務経験を有する場合、評価点の対象となる。そのため、証書を再発行し た経緯があるものについては、資格取得日が確認できる書類を添付すること。 また、1級又は2級の資格取得後10年に満たないが、2級又は3級の資格取得 後10年以上の実務経験を有する場合は、その証書を添付すること。
- 9) 別紙3-6/10「専任者以外配置予定及び資格一覧」の順に整理すること。
- 10) 専任者以外写真台帳兼資格一覧が複数枚にわたる場合は、右上に通し番号を振ること。

<u>キー1、2、3、4、維持、本管</u> 専任者以外写真台帳兼資格一覧 (1/)



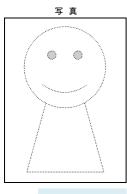
フリガナ	
氏名	

			T
	資格の 有無	有効期限等 チェック	備 考
主任技術者			資格内容 (キー1,2,維持,本管)
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。
給水装置工事 主任技術者			キー1、2、3、4、維持
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			キー1、2、維持、本管
貯水槽清掃 作業監督者			
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者			キー1、2、維持
石綿作業主任者			
管工事施工管理技士 (1、2級)			<i>≠</i> −3, 4
配管技能士(1、2、3級)			71 U, ±



フリガナ	
氏名	

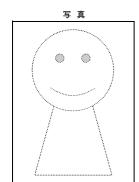
1		資格の 有無	有効期限等 チェック	備考
	主任技術者			資格内容 (キー1,2,維持,本管)
	配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。
	給水装置工事 主任技術者			キー1、2、3、4、維持
	酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			キー1、2、維持、本管
	貯水槽清掃 作業監督者			
	配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者			キー1、2、維持
	石綿作業主任者			
	管工事施工管理技士 (1、2級)			<i>÷</i> −3,4
	配管技能士(1、2、3級)	·		7 0,4



フリガナ	
氏名	

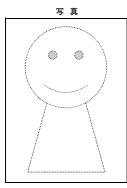
	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容 (キー1,2,維持,本管)	
配水管工			スーパー配管工認定者 は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者			キ-1、2、3、4、維持	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			キー1、2、維持、本管	
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者			キー1、2、維持	
石綿作業主任者				
管工事施工管理技士 (1、2級)			<i>≠</i> −3, 4	
配管技能士(1、2、3級)			., 0, 4	

<u>キ-1、2、3、4、維持、本管</u> 専任者以外写真台帳兼資格一覧 (2/)



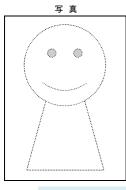
フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備考
主任技術者			資格内容 (キー1,2,維持,本管)
配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。
給水装置工事 主任技術者			キー1、2、3、4、維持
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			キー1、2、維持、本管
貯水槽清掃 作業監督者			
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者			キー1、2、維持
石綿作業主任者			
管工事施工管理技士 (1、2級)			<i>≠</i> −3, 4
配管技能士(1、2、3級)			71 U, ±



フリガナ	
氏名	

		資格の 有無	有効期限等 チェック	備考
	主任技術者			資格内容 (キー1,2,維持,本管)
	配水管工			スーパー配管工認定者及び加点期間更新者は、資格の有無欄を「S」にしてください。
	給水装置工事 主任技術者			キー1、2、3、4、維持
	酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			キー1、2、維持、本管
	貯水槽清掃 作業監督者			
	配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者			キー1、2、維持
	石綿作業主任者			
	管工事施工管理技士 (1、2級)			<i>÷</i> −3, 4
	配管技能士(1、2、3級)	·		7 0,4



フリガナ	
氏名	

	資格の 有無	有効期限等 チェック	備	考
主任技術者			資格内容 (キー1,2,維持,本管)	
配水管工			スーパー配管工認定者 は、資格の有無欄を「S	
給水装置工事 主任技術者			キ-1、2、3、4、維持	
酸素欠乏·硫化水素 危険作業主任者			キー1、2、維持、本管 キー1、2、維持 キー3、4	
貯水槽清掃 作業監督者				
配水管からの分岐・穿孔、 配管工事に従事する者				
石綿作業主任者				
管工事施工管理技士 (1、2級)				
配管技能士(1、2、3級)				

契約書、注文書、請書等の写しの例示

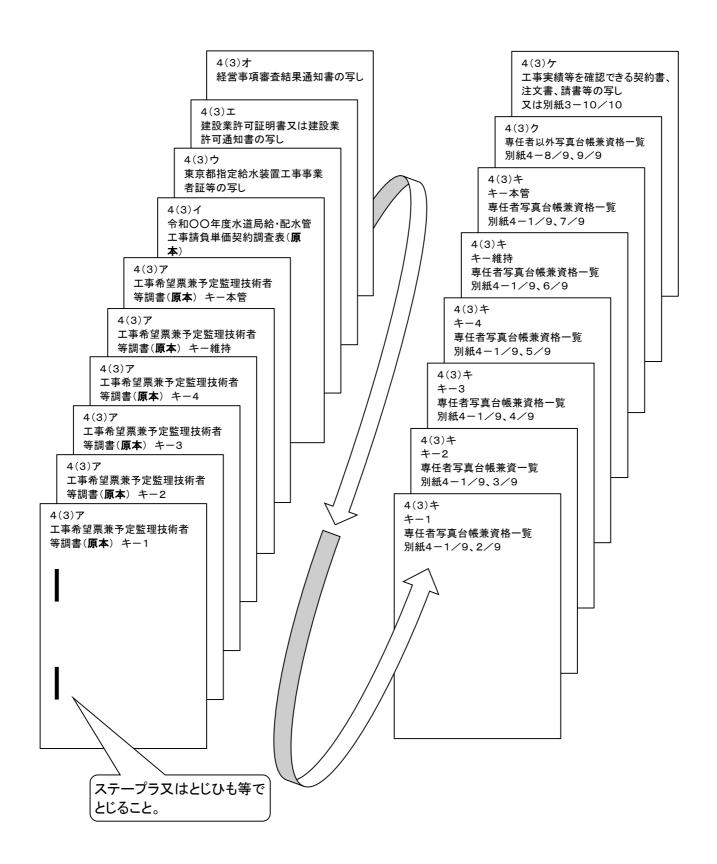
発注	工事実績	添付書類
	 ・水道緊急工事請負単価契約(維持補修工事)又は水道施設維持補修工事請負単価契約 ・水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事) ・配水管小規模整備工事請負単価契約 ・給水管整備及び取り出し工事請負単価契約 ・小中口径メータ引換工事等請負単価契約 ・大口径メータ引換工事等請負単価契約 ・配水本管小規模整備工事請負単価契約 ・配水本管小規模整備工事請負単価契約 	・添付書類不要
	・その他当局発注の工事請負単価契約	・契約書の表紙の写し
東京都発注	・総価契約案件工事	・契約書の表紙の写し及び成績評定通知書の写し ・下請負により施工した場合は、当局で受理した下請負届、下請負 者一覧表、施工体系図、下請負契約書等の写し
	・総価契約案件工事 (水道施設維持補修工事請負単価契約を、別紙1「令和8年度(区部)見積合せ参加資格」の「工事実績及び技術力に関する資格要件④」で申し込む場合)	・契約書の表紙の写し、成績評定通知書の写し及び完成図一枚目(総括数量表)の写し※ ・下請負により施工した場合は、当局で受理した下請負届、下請負者一覧表、施工体系図及び下請負契約書等の写し(本管実績のみ)
	・配水管布設替工事で給水管取付替工事を含むもの	・契約書の表紙の写し ・下請負により施工した場合は、当局で受理した下請負届、下請負 者一覧表、施行体系図、下請負契約書等の写し ・施工内容を確認できる仕様書等の写し
	・災害時における緊急施行工事	・契約書の表紙の写し
他官庁発注	・○○市給水管整備工事等	・契約書の表紙の写し及び工事数量表等の写し
事業者施行	・指定事業者施行による給水管取り出し工事 (○○邸給水管引き込み工事一式)	・契約書又は注文書及び請書の写し ・施工内容等を確認できる仕様書等の写し

[※] 過去5年間に施工したEランク以上の全ての工事案件分を添付してください。

提出書類のとじ方

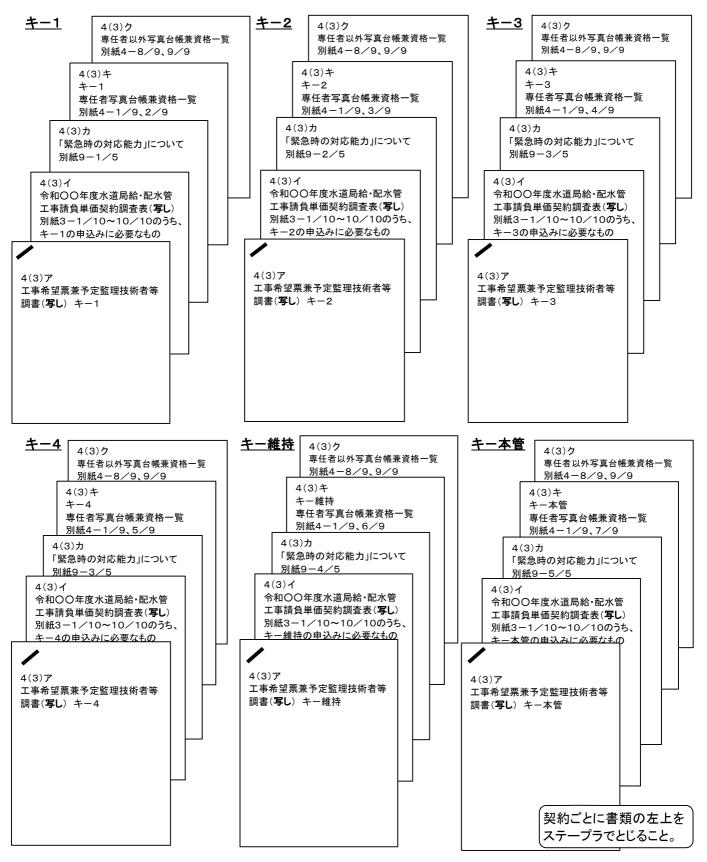
1 申込書類(原本)として提出するもの

申込書類(原本)のとじ方は、下図のとおりとする。 なお、複数の契約に申し込む場合で、契約ごとに様式が異なるものは、キー1、2、3、4、維持、本管の順でとじること。



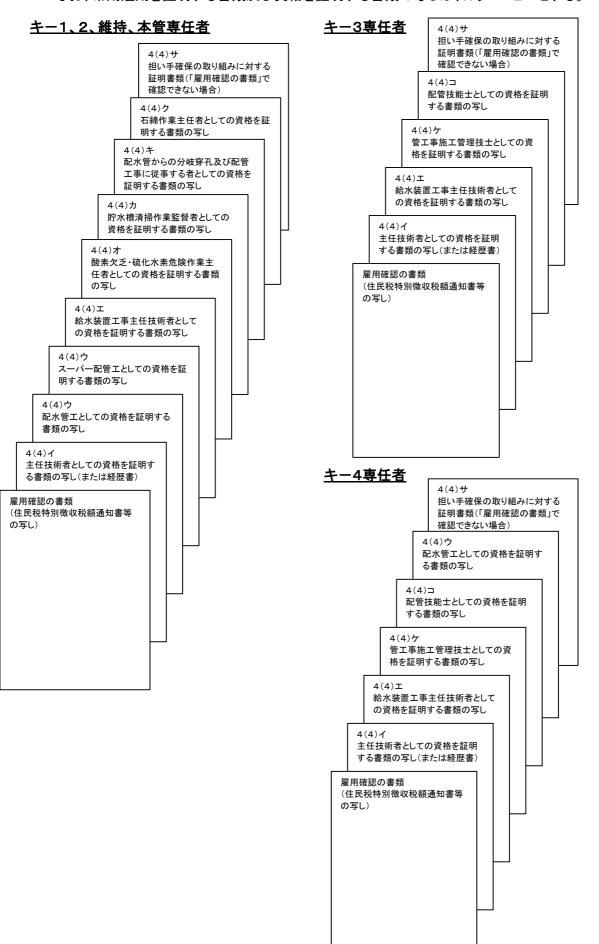
2 申込書類(原本)をコピー(一部原本)して提出するもの

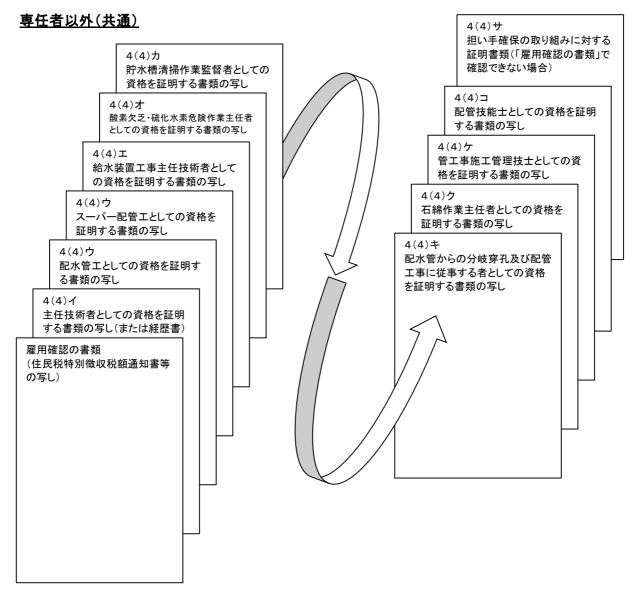
下図のとおり、契約ごとに1部ずつ作成する。



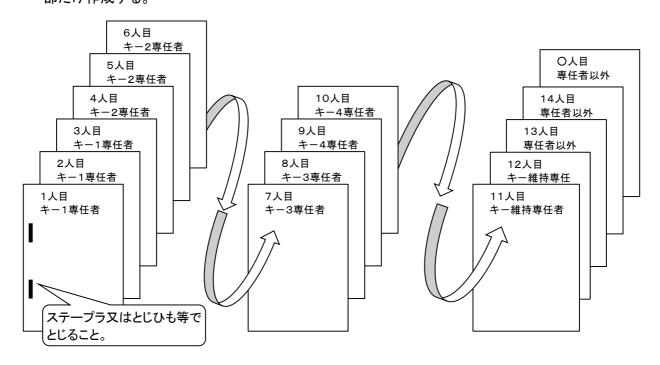
(次ページへ続く。)

- 3 配置予定者の常用雇用及び資格を証明する書類として提出するもの
- (1) 下図のとおり、配置予定者ごとに常用雇用を証明する書類及び資格を証明する書類を作成する。 なお、常用雇用を証明する書類及び資格を証明する書類の写しは、カラーコピーとする。





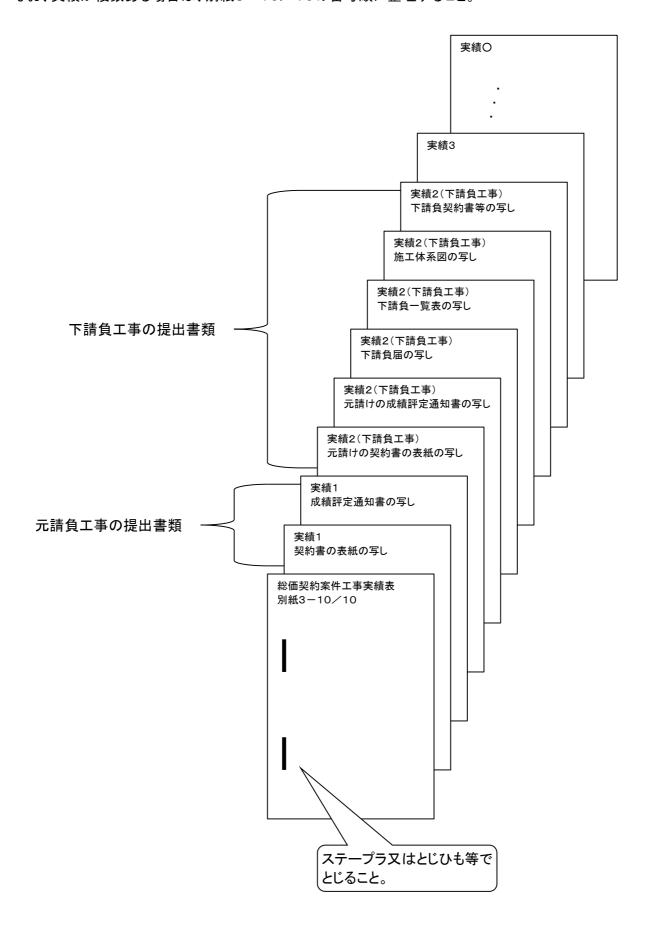
(2) (1)で作成した書類を別紙3「配置予定及び資格一覧」に記入した順でとじ、申込契約数に関係なく1 部だけ作成する。



4 総価契約案件工事の実績を証明する書類として提出するもの(キー1、2、4、維持、本管)

別紙3-10/10【総価契約案件工事実績】を提出する必要がある場合に限り、申込契約ごとに、下図のとおり作成する。

なお、実績が複数ある場合は、別紙3-10/10の番号順に整理すること。



主たる履行区域一覧(キー1、維持)

	主な履行区域	1	所管区	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	工,4万万尺以		千代田区	
	中央支所			全域
			中央区 港区	主収 台場を除く全域
		東京都	. — .	全域
			文京区	
			台東区	全域
			豊島区	全域
			墨田区	全域
			江東区	全域
	東部第一支所	東京都	江戸川区	全域
	2 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 -	21371	港区	台場
			品川区	東八潮
			大田区	令和島
			荒川区	全域
	東部第二支所	東京都	足立区	全域
			葛飾区	全域
			新宿区	全域
	西部支所	東京都	中野区	全域
		水水和	杉並区	全域
			三鷹市	井の頭
	配水第一課	東京都	品川区	東八潮を除く全域
		水水和	大田区	令和島を除く全域
			目黒区	全域
			世田谷区	全域
			渋谷区	全域
				岩戸南
南		東京都		駒井町
部		水水和	狛江市	猪方
支	配水第二課		○□ (丁-1 1	東和泉
所	61.77分一杯			元和泉
				岩戸北
			三鷹市	牟礼
				登戸
		地 大川 坦	川崎市多摩区	登戸新町
		神余川県		枡形
				東三田
<u> </u>		-	•	-

主な履行区域		所管区	域
		北区 板橋区	全域全域
		練馬区	全域
			田無町 保谷町
	東京都	西東京市	富士町
北部支所			北原町 下保谷
			東町
		武蔵野市	吉祥寺北町 緑町
		和光市	下新倉
	埼玉県		南 白子
		新座市	片山
			新塚

履行区域は、東京都23区内、狛江市の一部、三鷹市の一部、西東京市の一部、武蔵野市の一部、神奈川県川崎市の一部、埼玉県三郷市の一部、朝霞市の一部、新座市の一部、和光市の一部、志木市の一部です。

主たる履行区域一覧(キー2、3)

主な履行区域	所在地	所管区域
		千代田区
		中央区
中央	千代田区内神田	港区
	2-1-12	文京区
		台東区
		豊島区
	<u> </u>	墨田区
東部第一	江東区新砂 1 - 7 - 2	江東区
		江戸川区
	类山豆夫工件	荒川区
東部第二	荒川区南千住 6 - 4 0 - 1	足立区
		葛飾区
	长光区和自	新宿区
西部	杉並区和泉 3-8-10	中野区
		杉並区
南部支所	大田区平和島	品川区
第一課	1-1-2	大田区
± +n +=r	#B & B #V C	目黒区
南部支所 第二課	世田谷区桜丘 5-50-16	世田谷区
71- 411		渋谷区
	ᄻᄩᅈᅭᆉᅶ	北区
北部	練馬区中村北 1-9-4	板橋区
		練馬区

分割エリア内発注所管支所区分表 (キー本管)

	分割エリ	1ア	所	管支所	
	千代田区	全域			
	中央区	全域	中	央支所	
	台東区	全域			
	墨田区	全域			
	江東区	全域			
東部エリア	江戸川区	全域	市	一支託	
米印二サブ	港区	台場	東一支所		
	品川区	東八潮			
	大田区	令和島			
	荒川区	全域			
	足立区	全域	東二支所		
	葛飾区	全域	東二支所中央支所		
	文京区	全域	中央支所		
	豊島区	全域			
	新宿区	全域	西部支所		
北西部エリア	中野区	全域			
	杉並区	全域			
	北区	全域			
	板橋区	全域	北	部支所	
	練馬区	全域			
	港区	台場を除く全域	中	央支所	
	品川区	東八潮を除く全域		配水第一課	
南部エリア	大田区	令和島を除く全域	late to a		
114 El	目黒区	全域	南部支所	配水第二課	
	世田谷区	全域			
	渋谷区	全域			

履行区域は、東京都23区内とする。

受注者版工事系システムの稼働条件

1 受注者版工事系システムの動作保証環境

受注者版工事系システムは、次に掲げる表1の条件の環境で動作確認を行っている。

なお、表中に記載したもの以外のソフトウェアを使用している場合など、表の条件の全てを満足していない環境では、正常に動作しない場合がある。この場合において、受注者版工事系システムの正常動作は保障しない。

また、これらの表のOS並びにソフトウェア(1)及び(2)については、受注者版工事系システムを使用する時点で Microsoft 社から提供されている全ての優先度の高い更新プログラムを適用済みでなくてはならない。

表 1 動作保証環境

1	OS	Windows 11 Home 64ビット版		
2 ソフトウェア		(1) Microsoft Word2019、Microsoft Word2021(64ビット版)		
		(2) Microsoft Excel 2019、Microsoft Excel 2021(64ビット版)		
		(3) Symantec Endpoint Protection 14		
3	.NET Framework	.NET Framework 4.8 以降		
4	CPU	上記OS及びソフトウェアの組合せにおいてメーカーが動作を保証する性能以上		
5	メモリ容量	上記OS及びソフトウェアの組合せにおいてメーカーが動作を保証する容量以上		
6	ハードディスク空き容量	300MB以上		
7	画面	解像度1366×768ピクセル以上		
		(1) USBメモリ		
8	その他周辺機器	(2) CD-ROMドライブ		
		(3) A4サイズの出力が可能で、工事系システムを使用するPC等のOSに対応した ドライバが存在するプリンタ		
9	その他ソフトウェア	Adobe Acrobat Reader DC		

2 受注者版工事系システム使用の際の必須条件

1で示す環境以外で受注者版工事系システムを使用する場合、次に掲げる条件を全て満たした PC 等にインストールして使用すること。

なお、この条件は受注者版工事系システムの動作を保証するものではなく、受注者版工事系システムをインストールして使用する最低限の条件であるので注意すること。

- (1) OS及びソフトウェア (Microsoft Word 及び Microsoft Excel) は、受注者版工事系システムを 使用する時点で Microsoft 社から提供されている全ての優先度の高い更新プログラムを適用済みで あること。
- (2) ウィルス対策ソフトウェア及びスパイウェア対策ソフトウェアは、Microsoft 社のウェブサイトを参考にOSの種類ごとに適切な対処方法を適宜検討して選定すること。

また、受注者版工事系システムを使用する時点で最新の更新ファイル等を適用した条件下で検査及び問題の無害化が完了していること。

- (3) ハードディスクの空き容量は、受注者版工事系システムインストール前で 300MB 以上であること。
- (4) 画面の解像度は、1366×768 ピクセル以上であること。
- (5) 受注者版工事系システムを使用する PC 等では、次に掲げる周辺機器の全てが使用できること。 r USB メモリ
 - イ CD-ROM ドライブ
 - ウ A4 サイズの出力が可能で受注者版工事系システムを使用する PC 等の OS に対応したドライバ が存在するプリンタ

3 注意事項

- (1) Windows 10 以前に発売された全ての Windows OS を使用している PC 等については、受注者版 工事系システムをインストールしないこと。
- (2) Microsoft Word 2016/Microsoft Excel 2016 以前に発売された全ての Microsoft Word 及び Microsoft Excel 並びにそれらを含む Microsoft Office を使用している PC 等については、受注者版 工事系システムをインストールしないこと。
- (3) 次の条件に該当する場合は、受注者版工事系システムが正常に動作しない可能性が高いため、該当する環境では使用しないこと。
 - ア OS が Windows Server である場合
 - イ 受注者版工事系システムを使用する PC 等にインストールされている Microsoft Word 及び Microsoft Excel が Microsoft Office 365 版以外存在していない場合
 - ウ 受注者版工事系システムを使用する PC 等で使用できる Microsoft Word 及び Microsoft Excel が Microsoft Office Online 版以外存在していない場合
 - エ OS 又はソフトウェアが仮想 PC 上で動作している場合
 - オ 使用しているハードウェアがマッキントッシュである場合
- (4) 受注者版工事系システムをインストールする場合は、インストールを実行するユーザーは、ユーザー権限が Administrator 権限で、かつ、ユーザー名に全角文字(漢字、平仮名、全角記号など)が使用されていてはならない。
 - インストールする PC 等の Administrator 権限を持つユーザーで、全角文字を使用していないユーザーが存在しない場合は、新たにユーザー名が半角英数字だけで構成されているユーザーを作成して、そのユーザーで受注者版工事系システムをインストールすること。
- (5) 受注者版工事系システムをインストールすることにより、インストールされた PC 等で動作している他のソフトウェアが不安定になる場合がある。このため、受注者版工事系システムをインストールする前に、バックアップなどにより P C 等の環境及びデータ回復を可能にする措置をとること。
- (6) フォントサイズを 96dpi 以外に設定した場合は、画面が正常に表示されず、ボタンの一部が使用できないときがあるため、フォントサイズは 96dpi に設定すること。
- (7) IME プロパティの変換候補の設定を「JISX0208 のみ」に設定すること。

配水管小規模整備工事に申し込む方のみ回答願います。

○「緊急時の対応能力」について

内容をよく読んで答えてください。

【局からの設問】

当局では、「東京都水道局震災応急対策計画」にて、被害想定に基づいた復旧体制の確立や、機動性、実効性を重視した初動時の応急給水体制を定めています。

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、その被害は甚大であり、改めて応急復旧の迅速性が問われる結果となりました。応急復旧については、単価契約約款第36条(地震等災害時の対応)に記載されているとおり、単価契約受注者に率先して水道管路の復旧に従事していただくこととしています。

このような状況の中で、貴社の地震災害時における水道管路の復旧の応援について、どのような 出動態勢を整えているか、次の設問に対する回答をお願いいたします。(当局の他の単契に従事し ている社員、資機材は除きます。)

※ 「東京都水道局震災応急対策計画」については、水道局ホームページ上で閲覧できます。

・確保できる人員は何人	いますか。(人)			
監督者氏名() () () ()	
配管工氏名() () () ()	
作業員氏名() () () () ()
作業員氏名() () () () ()

②資材・機材の調達能力について

(資材・機材とは、小型バックホウ、クレーン付トラック、ダンプトラック 2t、排水ポンプ、土留材、舗装切断機、管接合切断用具、照明用具、発電機、埋戻し用器具、保安設備等一式を指し、自社保有・リースは問いません。)

・資材・機材の調達に要する時間はどのくらいですか、該当箇所に○を付けてください。ただし、 その他の場合は内容を記入してください。

(半日 ・ 1日 ・ 2日 ・ その他 ())

③体制整備までの所要時間について

・発災後、出動体制が整うまでの所要時間はどのくらいですか、該当箇所に〇を付けてください。 ただし、その他の場合は内容を記入してください。

(半日 ・ 1日 ・ 2日 ・ その他 ())

④その他

①から③以外で、会社として震災復旧に貢献できることを記述してください。

(例・自社では、毎年電災時を想定した訓練を行っています。など)

# 中長火时で心足した訓練で打つています。 なこ	
商号又は名称	

給水管整備及び取り出し工事に申し込む方のみ回答願います。

○「緊急時の対応能力」について

内容をよく読んで答えてください。

【局からの設問】

当局では、「東京都水道局震災応急対策計画」にて、被害想定に基づいた復旧体制の確立や、機 動性、実効性を重視した初動時の応急給水体制を定めています。

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、その被害は甚大であり、改めて応 急復旧の迅速性が問われる結果となりました。応急復旧については、単価契約約款第36条(地震 等災害時の対応) に記載されているとおり、単価契約受注者に率先して水道管路の復旧に従事して いただくこととしています。

このような状況の中で、貴社の地震災害時における水道管路の復旧の応援について、どのような 出動態勢を整えているか、次の設問に対する回答をお願いいたします。(当局の他の単契に従事し ている社員、資機材は除きます。)

※ 「東京都水道局震災応急対策計画」については、水道局ホームページ上で閲覧できます。

(1)現場	従事者	の確	保状的	71 ~	1.1	7
1	いとれる	W # 11	ひノル氏	ヘハル	ルー -	<i>,</i> ,	٠ ر

確保できる人員は何。	人いますか。(人)			
監督者氏名() () () ()	
配管工氏名() () () ()	
作業員氏名() (]) () () ()
作業員氏名() () () () ()

②資材・機材の調達能力について

(資材・機材とは、小型バックホウ、クレーン付トラック、ダンプトラック 2t、排水ポンプ、土 留材、舗装切断機、管接合切断用具、照明用具、発電機、埋戻し用器具、保安設備等一式を指し、 自社保有・リースは問いません。)

・資材・機材の調達に要する時間はどのくらいですか、該当箇所に○を付けてください。ただし、 その他の場合は内容を記入してください。

)) (半日 ・ 1日 ・ 2日 ・ その他 (

③体制整備までの所要時間について

発災後、出動体制が整うまでの所要時間はどのくらいですか、該当箇所に○を付けてください。 ただし、その他の場合は内容を記入してください。

(半日 ・ 1日 ・ 2日 ・ その他 ())

4)その他

①から③以外で、会社として震災復旧に貢献できることを記述してください。

(例:自社では、毎年震災時を想定した訓練を行っています。など)

	1
	•••••
商号又は名称	

小中口径・大口径メータ引換工事に申し込む方のみ回答願います。

〇「緊急時の対応能力」について

内容をよく読んで答えてください。

【局からの設問】

当局では、「東京都水道局震災応急対策計画」において、首都中枢機関を抱える東京のライフラインを預かる水道事業者としての責任の重大性を考慮し、被害想定に基づいた復旧体制の確立や、初動時の応急給水体制の見直し等、機動性、実効性を重視した体制を整備しました。応急復旧については、単価契約約款第36条(地震等災害時の対応)に記載されているとおり、単価契約受注者に率先して水道管路及び給水装置の復旧に従事していただくこととしています。

このような状況の中で、貴社の地震災害時における水道管路及び給水装置の復旧の応援について、どのような出動態勢を整えているか、次の設問に対する回答をお願いいたします。(当局の他の単契に従事している社員、資機材は除きます。)

※ 「東京都水道局震災応急対策計画」については、水道局ホームページ上で閲覧できます。

①現場従事者の確保状況につい	て
----------------	---

確保できる人員は	は何人いますか。(人)			
監督者氏名() () () ()	
配管工氏名() () () ()	
作業員氏名() () () () ()
作業員氏名() () () () ()

②資材・機材の調達能力について

(資材・機材とは、小型バックホウ、クレーン付トラック、ダンプトラック 2t、排水ポンプ、土留材、舗装切断機、管接合切断用具、照明用具、発電機、埋戻し用器具、保安設備等一式を指し、自社保有・リースは問いません。)

・資材・機材の調達に要する時間はどのくらいですか、該当箇所に○を付けてください。ただし、 その他の場合は内容を記入してください。

③体制整備までの所要時間について

・発災後、出動体制が整うまでの所要時間はどのくらいですか、該当箇所に○を付けてください。 ただし、その他の場合は内容を記入してください。

(半日 .	• 1日	· 2日	•	その他 ()))	

4その他

・①から③以外で、会社として震災復旧に貢献できることを記述してください。

水道施設維持補修工事に申し込む方のみ回答願います。

○「緊急時の対応能力」について

内容をよく読んで答えてください。

【局からの設問】

当局では、「東京都水道局震災応急対策計画」において、首都中枢機関を抱える東京のライフラインを預かる水道事業者としての責任の重大性を考慮し、被害想定に基づいた復旧体制の確立や、初動時の応急給水体制の見直し等、機動性、実効性を重視した体制を整備しました。応急復旧については、単価契約約款第36条(地震等災害時の対応)に記載されているとおり、単価契約受注者に率先して水道管路及び給水装置の復旧に従事していただくこととしています。

このような状況の中で、貴社の地震災害時における水道管路及び給水装置の復旧の応援について、どのような出動態勢を整えているか、次の設問に対する回答をお願いいたします。(当局の他の単契に従事している社員、資機材は除きます。)

※ 「東京都水道局震災応急対策計画」については、水道局ホームページ上で閲覧できます。

①現場従事者の確保状況について

確保できる人員に	は何人いますか。(人)			
監督者氏名() () () ()	
配管工氏名() (]) ([) ()	
作業員氏名() () () () ()
作業員氏名() () () () ()

②資材・機材の調達能力について

(資材・機材とは、小型バックホウ、クレーン付トラック、ダンプトラック 2t、排水ポンプ、土留材、舗装切断機、管接合切断用具、照明用具、発電機、埋戻し用器具、保安設備等一式を指し、自社保有・リースは問いません。)

・資材・機材の調達に要する時間はどのくらいですか、該当箇所に○を付けてください。ただし、 その他の場合は内容を記入してください。

③体制整備までの所要時間について

・発災後、出動体制が整うまでの所要時間はどのくらいですか、該当箇所に○を付けてください。 ただし、その他の場合は内容を記入してください。

(半日 .	• 1日	· 2日	•	その他 ()))	

4その他

・①から③以外で、会社として震災復旧に貢献できることを記述してください。

 (例:自社では、毎年震災時を想定した訓練を行っています。など)

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |</

代表者名		

配水本管小規模整備工事に申し込む方のみ回答願います。

○「緊急時の対応能力」について

内容をよく読んで答えてください。

【局からの設問】

当局では、「東京都水道局震災応急対策計画」において、首都中枢機関を抱える東京のライフラインを預かる水道事業者としての責任の重大性を考慮し、被害想定に基づいた復旧体制の確立や、初動時の応急給水体制の見直し等、機動性、実効性を重視した体制を整備しました。応急復旧については、単価契約約款第36条(地震等災害時の対応)に記載されているとおり、単価契約受注者に率先して水道管路及び給水装置の復旧に従事していただくこととしています。

このような状況の中で、貴社の地震災害時における水道管路及び給水装置の復旧の応援について、どのような出動態勢を整えているか、次の設問に対する回答をお願いいたします。(当局の他の単契に従事している社員、資機材は除きます。)

※ 「東京都水道局震災応急対策計画」については、水道局ホームページ上で閲覧できます。

①現場従事者の確保状況について

確保できる人員は何人いますか。	人)			
監督者氏名() () () ()	
配管工氏名()() () ()	
作業員氏名()() () () ()
作業員氏名() () () () ()

②資材・機材の調達能力について

(資材・機材とは、小型バックホウ、クレーン付トラック、ダンプトラック 2t、排水ポンプ、土留材、舗装切断機、管接合切断用具、照明用具、発電機、埋戻し用器具、保安設備等一式を指し、自社保有・リースは問いません。)

・資材・機材の調達に要する時間はどのくらいですか、該当箇所に○を付けてください。ただし、 その他の場合は内容を記入してください。

③体制整備までの所要時間について

・発災後、出動体制が整うまでの所要時間はどのくらいですか、該当箇所に○を付けてください。 ただし、その他の場合は内容を記入してください。

(半日	•	1 H	•	2日	•	その他(,))

4その他

・①から③以外で、会社として震災復旧に貢献できることを記述してください。

 (例:自社では、毎年震災時を想定した訓練を行っています。など)

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |

 |</

建設業法における配置技術者となり得る国家資格等一覧:特定建設業の営業所専任技術者(又は監理技術者)となり得る国家資格

:一般建設業の営業所専任技術者(又は主任技術者)となり得る国家資格

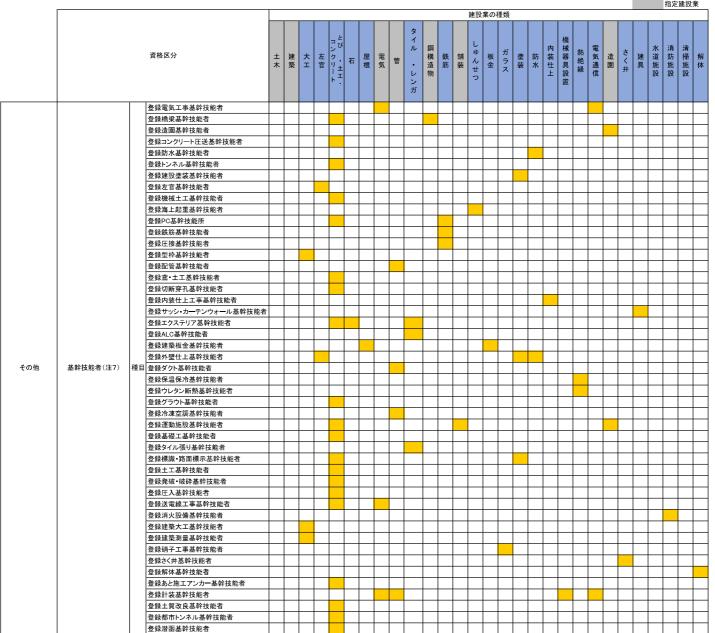
枠内の数字: 資格取得後、必要な当該業種の実務経験年数

(※)特定建設業の営業所専任技術者(又は監理技術者)となり得る国家資格を有するものは、一般建設業の営業所専任技術者(又は主任技術者)となり得る

2024/10/18施行

																														指定	建設	殳:
							1										建設第	業の利	重類								1		1			_
			資格区分	土木		大工	左官	と び ・ ± エ	石	屋根	電気	管	ブロック れんが・	鋼構造物	鉄筋	舗装	しゅんせつ	板金	ガラス	塗装	防水	内装仕上	機械器具設置	熱絶縁	電気通信	造園	さ く 井	建具	水道施設	消防施設	掃施	3
	1級建設機械施工管理技	+											-																			-
	2級建設機械施工管理技																_		\dashv													+
	1級土木施工管理技士						3			3			3		3						3			3			3				3	
	1級土木施工管理技士補	ì					3	3	3	3			3		3		3			3	3			3			3		3		3	_
			土 木				5			5			5		5					5	5			5			5				5	-
	2級土木施工管理技士	種別	鋼構造物塗装				5	5	5	5			5		5		5				5			5			5		5		5	Ī
		ניכו	薬 液 注 入				5		5	5			5		5		5			5	5			5			5		5		5	Ħ
	2級土木施工管理技士補	ì					5	5	5	5			5		5		5			5	5			5			5		5		5	Ī
	1級建築施工管理技士																						3						3	3	3	П
	1級建築施工管理技士補	À				3	3	3	3	3			3		3			3	3	3	3	3	3	3				3	3	3	3	ĺ
			建築			5	5	5	5	5			5		5			5	5	5	5	5	5	5				5	5	5	5	
建 設	2級建築施工管理技士	種別	躯 体				5		5	5								5	5	5	5	5	5	5				5	5	5	5	
業			仕上げ					5							5								5						5	5	5	
法	2級建築施工管理技士補	Î				5	5	5	5	5			5		5			5	5	5	5	5	5	5				5	5	5	5	
(技術検定	1級電気工事施工管理技	生																					3							3		
検	1級電気工事施工管理技	大 補																					3							3		
走 ○	2級電気工事施工管理技	ŧ±																					5							5		
	2級電気工事施工管理技	大 補																					5							5		
	1級管工事施工管理技士	=													3		3	3					3	3			3	3	3	3	3	
	1級管工事施工管理技士														3		3	3					3	3			3	3	3	3	3	
	2級管工事施工管理技士														5		5	5					5	5			5	5	5	5	5	-
	2級管工事施工管理技士														5		5	5					5	5			5	5	5	5	5	
	1級電気通信工事施工管			-																												_
	2級電気通信工事施工管	埋技	± 	-	-													_														
	1級造園施工管理技士						3	3	3	3			3		3	_	3		_	3				3			3		3		3	-
	1級造園施工管理技士補	H					3	3	3	3			3		3	-	3	-	-	3	3			3			3		3		3	-
	2級造園施工管理技士						5	5	5	5			5 5		5	_	5		_	5	5			5			5		5		5	-
	2級造園施工管理技士補 1級建築士	B					5	5	5	5			5		5		5			5	5			5			5		5		5	_
andr I v	2級建築士			-								_				_	-		\dashv	-												-
建築士法 !築士試験)	木造建築士			+			<u> </u>										_			_												-
	建築設備士(注2)										1	1																				-
		リート	」)・総合技術監理(建設)(「鋼構造及びコ																													_
	ンクリート」) 建設「鋼構造及びコンクリ	J — ト」	を除く総合技術監理(建設「鋼構造及び													-				_												-
	コンクリート」を除く)																															_
			術監理(農業「農業農村工学」)																													_
++	電気電子・総合技術監理機械「勢・動力エネルギー		「電子) 」又は「流体機器」・総合技術監理(機械	-	\vdash												_	_	-	_												_
技 術	「熱・動力エネルギー機器	別又は	は「流体機器」)																													
士 法	機械「熱・動力エネルギー (機械「熱・動力エネルギ	-機器 機器	」及び「流体機器」を除く・総合技術監理 器」及び「流体機器」を除く)																													
 技			用水道」・総合技術監理(上下水道「上下	T	T																											_
術		合技	術監理(上下水道)(「下水道」)	1	\vdash				-						\vdash	\dashv	\dashv		\dashv	-												_
士 試	水産「水産土木」総合技														H				\dashv	-												-
験	森林「林業・林産」・総合技														H				\dashv													-
-	森林「森林土木」・総合技														H	\dashv	\dashv															-
			術監理(衛生工学「水質管理」)												H		\dashv		\neg													-
			-総合技術監理(衛生工学「廃棄物・資源																													
		上 答:	理」・総合技術監理(衛生工学「建築物環	+	\vdash		\vdash	\vdash	+	\vdash	\vdash				\vdash	-	\dashv	-	\dashv	_		\vdash	\vdash		\vdash	\vdash	-					4

																									ניכל	깪	, 10)一 <u>と</u> 指定3	./ ご 建設‡) 英
															建設第	業の利	種類													_
	資格区分	土木	建築	大工	左官	コンクリート とび 土工	石	屋根	電気	管	タイル ・レンガ	鋼構造物	鉄筋	舗装	しゅんせつ	板金	ガラス	塗装	防水	内装仕上	機械器具設置	熱絶縁	電気通信	造園	さく井	建具		消防施設	清掃施設	解体
(電気工事士試	第1種電気工事士																											#		
験) 電気事業法	第2種電気工事士								3					_														\dashv	\dashv	
(電気主任技術者 国家試験等)	電気主任技術者(1種·2種·3種)								5																					
電気通信事業法 (電気通信主任技 術者試験)	電気通信主任技術者																						5							
電気通信事業法 (工事担任者)	工事担任者(第一級アナログ通信及び第一級デジタル通信の両方)の交付を受けた者(注8) 工事担任者(総合通信)の交付を受けた者(注8)																						3					\dashv	\dashv	
水道法																												\exists	\exists	_
任技術者試験)	給水装置工事主任技術者									1																				
消防法 (消防設備士試	甲種消防設備士																												\dashv	
験)	乙種消防設備士																_												\dashv	
	1級建築大工 2級建築大工	-		2							-	\vdash	Н		\vdash		\dashv				\vdash				\vdash		\vdash	\dashv	\dashv	_
	1級型枠施工			3								\vdash	Н	-	\vdash	\dashv	\dashv	\dashv	-		\vdash				\vdash	\vdash	\vdash	\dashv	\dashv	_
	2級型枠施工			3		注9						\vdash	\vdash		\vdash		\dashv								\vdash		\vdash	+	\dashv	_
	1級左 官					-																						\neg	\dashv	_
	2級左 官				3																							丁	J	
	1級とび																\Box											\perp	\Box	
	2級とび					注10							Ш				[_	_	3
	1級コンクリート圧送施工															_	_	_										_	\dashv	_
	2級コンクリート圧送施工					注9												_										\dashv	4	
	1級ウェルポイント施工 2級ウェルポイント施工					<u> </u>								_	-	-	-	-										\dashv	\dashv	_
	1級冷凍空気調和機器施工					注11							Н	_	-	-	-	\dashv										+	\dashv	_
	2級冷凍空気調和機器施工									3							-	\dashv										+	\dashv	_
	1級配管(選択科目「建築配管作業」)										<u> </u>						+	\dashv										+	\dashv	_
	2級配管(選択科目「建築配管作業」)									3																		\dashv	\dashv	_
	1級タイル張り																											\neg		_
	2級タイル張り										3																	T	T	_
	1級築炉																											\Box		
	2級築炉										3																			
	1級ブロック建築																	_										_	_	_
職	2級ブロック建築						3				3						_	\dashv										\dashv	\dashv	_
業	1級石材施工 2級石材施工						3						Н	_	-	-	-	\dashv										+	\dashv	_
能力	1級鉄工						3							-			-	\dashv										+	\dashv	_
力 開	2級鉄工											3					+	\dashv										+	\dashv	_
発 促 進	1級鉄筋施工(選択科目「鉄筋施工図作成作業」及び「鉄筋組立て作業」)																											T	1	
法 (技	2級及び3級鉄筋施工(選択科目「鉄筋施工図作成作業」及び「鉄筋組立て作業」)												3															T		
能	1級工場板金																											\Box	\Box	
検 定	2級工場板金	_									ļ		Ш			3	_								Ш			_	\dashv	_
Ü	1級建築板金「ダクト板金作業」										-	_	Н	_	\sqcup		\dashv	_	_				_		Ш	\square	\sqcup	\dashv	\dashv	_
	2級建築板金「ダクト板金作業」 1級建築板金「ダクト板金作業」以外	\vdash						3		3			Н	-		3	\dashv								\vdash		\vdash	\dashv	\dashv	_
	2級建築板金「ダクト板金作業」以外							3					Н	-	H	3	\dashv	\dashv							H	H	\vdash	+	\dashv	-
	1級かわらぶき							Ť					H	\neg			\dashv	\dashv								H	\dashv	+	\dashv	_
	2級かわらぶき							3					П		\Box		\dashv		\neg						П	П	H	\dashv	\dashv	_
	1級ガラス施工																											J	丁	_
	2級ガラス施工																3											\Box	\Box	
	1級塗装							\Box				\Box	П		П						\Box			\Box			П	\dashv	$ \bot $	_
	2級塗装												Ш				[3	[_	\Box	_
	路面標示施工 1975年 1975												Н	_	\sqcup		_					_			Ш	Ш	\sqcup	\dashv	\dashv	_
	1級畳製作·内装仕上げ施工·表装 2級畳製作·内装仕上げ施工·表装											\vdash	\vdash	-	\vdash	\dashv	\dashv	\dashv		3			\vdash	\vdash		\vdash	\vdash	\dashv	\dashv	_
	2 級宣製作・内装性工行施工・表装											\vdash	\vdash	-	\vdash	\dashv	\dashv	\dashv		3				\vdash	H	\vdash	\vdash	\dashv	\dashv	_
	2級熱絶縁施工												H				\dashv					3					\vdash	+	\dashv	-
	1級建具制作・カーテンウォール施工・サッシ施工												П				\dashv											\dashv	\dashv	_
	2級建具制作・カーテンウォール施工・サッシ施工																									3		J	J	
	1級造 園																											\Box	\Box	
	2級造 團												Ш		\Box		[_[3					\Box	_
	1級防水施工	-									-		Ш	_	\sqcup		_	_							Ш		\sqcup	\dashv	\dashv	
	2級防水施工												Н	_	\sqcup		_		3								$\vdash \vdash$	\dashv	\dashv	
	1級さく 井 2級さく 井	\vdash						H				-	Н	-	\dashv	-	\dashv	\dashv	-		\vdash			\vdash	3		\vdash	\dashv	\dashv	_
	2級さく 开 地すべり防止工事士(注3)					注12						\vdash	\vdash	-	\vdash		\dashv	\dashv							1		\vdash	\dashv	\dashv	_
	基礎ぐい工事(注4)					7.2.12						\vdash	Н	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv	\dashv				\vdash		-	H	\vdash	+	\dashv	_
その他	1級計装士(注5)								1	1			Н		\exists	\dashv	\dashv	1	\dashv									+	\dashv	_
	解体工事施工技士(注6)												П		\Box		\dashv	\dashv									\Box	\dashv	1	
														_		_	_	_			_				-	-		-		_



【備考】

- (注1) 解体工事業について、技術検定に係る資格は平成27年度までの合格者について、技術士試験資格に係る資格は当面の間、資格とは別に、解体工事に関する1年以上の実務経験を有している又は登録解体工事講習を受講していることが必要です。
- (注2) 建築士法第二条第五項に規定する建築設備に関する知識及び技能につき国土交通大臣が定める資格をいいます。
- (注3) 地すべり防止工事に必要な知識及び技術を確認するための試験で国土交通大臣の登録を受けたものをいい、具体的には一般社団法人斜面防災対策技術協会が行う地すべり防止工事試験が該当します。
- (注4) 基礎ペい工事に必要な知識及び技術を確認するための試験で国土交通大臣の登録を受けたものをいい、具体的には一般社団法人日本基礎建設協会及び一般社団法人コンクリートバイル建設技術協会が行う基礎施工士試験が該当します。
- (注5) 建築物等に計装装置等を設置する工事に必要な知識及び技術を確認するための試験で国土交通大臣の登録を受けたものをいい、具体的には一般社団法人日本計装工業会が 行う1級の計装土技術審査が該当します。
- (注6) 解体工事に必要な知識及び技術を確認するための試験で国土交通大臣の登録を受けたものをいい、具体的には公益社団法人全国解体工事業団体連合会が行う解体工事施工技士試験が該当します。
- (注7) 建設業法施行規則第十八条の三第二項第二号の登録基幹技能者講習を終了した者をいい、単一の建設業の種類における実務経験を10年以上有する場合について、当該建設業の種類における技術者として認められます。なお、平成30年4月1日の施行以前に講習を修了した者のうち、対応する建設業の種類に関して10年以上の実務経験を有していないものについては実務経験年数を10年以上有するに至った時点で当該要件を満たすものとします。
- (注8) 令和3年4月1日以降に工事担任者試験に合格した者、養成課程を修了した者及び総務大臣の認定を受けた者に限ります。
- (注9) 合格後、コンクリート工事に関し三年以上実務の経験を有する者
- (注10) 合格後、とび工事に関し三年以上実務の経験を有する者
- (注11) 合格後、土工工事に関し三年以上実務の経験を有する者 (注12) 合格後、土工工事に関し一年以上実務の経験を有する者
- (補) 表中の主任技術者になれるものに関し、建設業法第十五条第二号ロの規定を満たす場合には、特定建設業の営業所専任技術者(又は監理技術者)となり得ます。(ただし、指定建設業は除かれています)

配水管小規模整備工事請負単価契約 給水管整備及び取り出し工事請負単価契約 小中口径メータ引換工事等請負単価契約 大口径メータ引換工事等請負単価契約 水道施設維持補修工事請負単価契約 配水本管小規模整備工事請負単価契約

の契約方式(技術力等審査方式)について

1 総合的評価の方法

技術評価と価格評価を同等(1:1の比率)とする。

2 技術評価項目

評価項目は、国土交通省の簡易型総合評価方式の項目を採用する。

3 評価項目の配点

総合評価点を100点(価格評価点50点+技術評価点50点)と設定する。

【技術評価点】

- (1) + -1, 2
 - ア 会社の施工実績
 - (ア)成績評価点(25点)
 - (イ) 施工実績評価点(5点)
 - (ウ) 信頼性・社会性評価点(上限5点)
 - イ 配置予定技術者の能力(上限10点)
 - (ア) 施工体制評価点(10点)
 - (イ) 担い手確保に向けた取組(1点)
 - ウ 災害協定等に基づく地域貢献(上限3点)
 - エ 緊急時の対応能力(2点)
 - 才 減点評価(上限-5点)

(2) + -3

- ア 会社の施工実績・体制
 - (ア) 成績評価点(15点)
 - (イ) 施工実績評価点(10点)
 - (ウ) 単価契約工事、緊急施行工事等の実績による評価点(上限1点)
 - (エ) 信頼性・社会性評価点(上限5点)
- イ 配置予定技術者の能力
 - (ア) 専任の主任技術者の保有資格及び担い手確保に向けた取組による評価点(施工体制評価点)(上限12点)
 - (イ) 有資格者の経験による評価点(施工体制評価点)(上限5点)
- ウ 緊急時の対応能力(2点)
- 工 減点評価(上限-5点)

- (3) + -4
 - ア 会社の施工実績・体制
 - (ア) 成績評価点(15点)
 - (イ) 施工実績評価点(15点)
 - (ウ) 単価契約工事又は緊急施行工事の実績による評価点(1点)
 - (エ) 信頼性・社会性評価点(上限5点)
 - イ 配置予定技術者の能力
 - (ア) 専任の主任技術者の保有資格による評価点(上限10点)
 - (イ) 有資格者の経験による評価点(上限2点)
 - ウ 緊急時の対応能力(2点)
 - 工 減点評価 (上限-5点)
- (4) キー維持
 - ア 会社の施工実績
 - (ア) 成績評価点(25点)
 - (イ) 施工実績評価点(9点)
 - (ウ) 信頼性・社会性評価点(上限4点)
 - イ 配置予定技術者の能力(上限8点)
 - (ア) 施工体制評価点(6点)
 - (イ) 担い手確保に向けた取組(2点)
 - ウ 災害協定等に基づく地域貢献(上限2点)
 - エ 緊急時の対応能力(2点)
 - 才 減点評価(上限-5点)
- (5) キー本管
 - ア 会社の施工実績
 - (ア)成績評価点(25点)
 - (イ) 施工実績評価点(5点)
 - (ウ) 信頼性・社会性評価点(上限5点)
 - (エ) 本管施工能力評価点(単契実績なしのみ上限4点)
 - イ 配置予定技術者の能力(施工体制評価点)

(単契実績あり上限10点、単契実績なし上限8点)

- (ア)施工体制評価点(単契実績あり上限10点、単契実績なし上限8点)
- (イ) 担い手確保に向けた取組(1点)
- ウ 災害協定等に基づく地域貢献(単契実績あり上限3点、単契実績なし上限1点)
- エ 緊急時の対応能力(2点)
- 才 減点評価 (上限-5点)

【価格評価点】

- (1) 予定価格を超える見積価格及び最低制限価格を下回る見積価格は、無効とする。
- (2)最大値を50点、最小値を0点とし、予定価格と最低制限価格の間を均等に配分する。

計算式:

価格評価点 $=50\times$ (予定価格(税抜)-見積価格)÷(予定価格(税抜)-最低制限価格)

4 契約者決定の手順

- (1)案件を公表し、希望受付時に配置予定技術者、緊急時の対応能力等について申告して もらい、審査を経て、工事実績等と合わせて、技術評価点を算出する。
- (2) 契約申込者へ指名通知書と技術評価点を通知する。
- (3) 見積合せにより、予定価格との差を価格評価点として算出し、技術評価点に加算し、総合評価点を算出する。
- (4)総合評価点の上位から契約予定受注者数までの中で、最低の価格を交渉基準価格とする。(ただし、価格が予定価格と最低制限価格との範囲内であることが必要条件)
- (5) (4) で契約予定受注者数の最下位を決める際に、総合評価点が同点の者が複数いる場合は、抽選で順位を決定する。
- (6)総合評価点の上位から契約予定受注者数までの者と、交渉基準価格をもって契約可能 かを交渉し、契約者を決定していく。なお、辞退者が出ても、下位の者から繰り上げて の交渉はしない。

「配水管小規模整備工事請負単価契約」の評価内訳

評 価 項	目	評価点		評価年数
評価点		100		_
技術評価点		50		_
1 会社の施工実績		35		
(1) 成績評価点		25		
		A 75点以上	25. 0	İ
		B 74点以上75点未満	23.5	
		C 73点以上74点未満	22.0	
通知された工事成績評定を年度ごとに平均し、	A~Mの評価を行い年度点数を決定する。	D 72点以上73点未満	20.5	
ただし、A~Kの範囲内でも60点未満の工事成	績評定点があった場合はLとする。	E 71点以上72点未満	19.0	-
なお、過去5年間に、遡及して工事成績評定の られた場合は、当該工事成績評定は修正が実施さ		F 70点以上71点未満 G 69点以上70点未満	17. 5 16. 0	
修正を行った年度に契約がない場合は、契約実績		H 68点以上69点未満	14. 5	
取扱う。	1	I 67点以上68点未満	13. 0	
上記で決定した年度点数を平均し、成績評価点	とする。	J 66点以上67点未満	11.5	
		K 65点以上66点未満	10.0	
		L 60点以上65点未満	5. 0	過去3年
(a) # T # # # T #		M 60点未満	0.0	(*1)
(2) 施工実績評価点		5		または
		A 4,000万円以上 (申込年度は50%)	5.0	過去5年(※2
年度ごとに、整備工事の施工実績額を合計し、	A~Cの評価を行い、年度点数を決定す	0.0007811114.00078124		(/•(= /
る。 決定した年度点数を平均し、施工実績評価点と	する	B 2,000万円以上4,000万円未満 (申込年度は50%)	3. 0	
) · 🗸 o	C 2,000万円未満	0.0	
		(甲込年度は50%)	0.0	
(3)信頼性・社会性評価点(上限5点)	T	5		<u> </u>
	当局総価契約案件工事(水道施設工事)、	2		
① 過去3年間に表彰された実績を評価する。	工事請負単価契約での優良工事表彰・公表 実績	(上限2点)		
		2		-
申込年度の12月31日時点で直近の過去3回		(上限2点)		
②に表彰された実績を評価する。	クールでの表彰・ アイデア賞、事例集活	1		-
	公表実績用賞	(上限1点)		
③ 単価契約工事又は緊急施行工事の実績 ※:	3	1		
2 配置予定技術者の能力		10		
(1) 施工体制評価点(上限10点) ※4	., _	10		<u> </u>
専任の主任技術者(監理技術者(水道)) 専任の主任技術者(1級技術者に準ずる者)	[※] 5 ————————————————————————————————————	5. 0 4. 5		-
事任の主任技術者(1級技術者に準する者)	* 5 * 5	3. 5		
専任の主任技術者(その他の技術者) ※5		1. 5		
	₹ 5	2. 0		
専任の主任技術者(1級技術者に準ずる者)	※ 5	1.5		
専任の主任技術者(2級技術者に準する者)	※ 5	1.0		申込時
専任の主任技術者(その他の技術者) ※!	5	0. 5		
専任の配水管工(大口径)2名以上 ③ 専任の配水管工(大口径)1名		4. 5		-
専任の配水管工としてスーパー配管工が配置る	されている	1.5		
④ 専任者以外で配置された主任技術者、配水管	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	0.0		
(2)担い手確保に向けた取組(上限1点)※6		1		
① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が	E任技術者又は配水管工に配置されている	1.0		Ì
② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が_		0.5		
3 災害協定等に基づく地域貢献(上限3点)		3		
災害協定等に基づく活動実績評価点※7	活動実績	3		過去5年間()
	出動準備	1		過去3年間()
災害協定の締結有無 ※3		1		申込時
4 緊急時の対応能力		2		申込時
緊急時の対応能力に対する評価点 5 対点認価(トロー5 点)		2		
5 減点評価(上限-5点)		(-5)		-
過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止に なった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に	1か月まで	(-1)		
係る処分基準において、指定の効力停止となった期間を	停 1か月を超え3か月まで	(-2)		過去3年
減点する。 また、停止処分が複数ある場合には、それぞれの点数	出 3か月を超え6か月まで	(-3)		(※1)
の合計を減点する。	間 6か月を超え12か月まで	(-4)]
なお、複数の契約に申込みがある場合には、それぞれ		(5)		
の契約で減点する。	12か月を超え24か月まで	(-5)		

- ※1 過去3年間とは、令和5年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
- ※2 過去5年間とは、令和3年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。※3 詳細は、資料2-12/12「(補足)評価対象一覧」のとおり。
- ※4 契約後、技術者に変更が生じ施工体制評価点(上限10点)が下がる場合には、申込時の施工体制評価点以上の体制が確認できるまでは、新たな発注は行わない。 また、当局の判断で虚偽申請として取り扱う場合がある。
- %5 複数の届け出がある場合は、点数の高いものから順に①・②の配点により 2名まで評価する。
- ※6 女性かつ40歳以下の場合は、女性技術者としてのみ評価する。※7 令和6年能登半島地震に伴う水道施設復旧工事については、派遣期間によらず令和6年5月31日を基準として評価する。

「配水管小規模整備工事請負単価契約」の評価内訳

過去3年間に本契約の実績がない者

A == /	評価項	目			評価点		評価年
合評価					100		_
技	将評価点				50		_
1	会社の施工実績				35		_
	(1) 成績評価点				25		
	i) 過去3年間に水道施設維持補修工事請負単価契約の契約	実績が	ぶある者	Α	75点以上	25.0	1
	通知された工事成績評定を年度平均し、A~Mの評価を行	い年度	で点数を決定する。 なお、同じ月に通知された工	В	74点以上75点未満	23.5	
	理和された工事成績計定を平及下切し、N°の計画を1 事成績評定点が複数ある場合には、件数による加重平均を行 績評定点があった場合はLとする。上記で決定した年度点表	『う。た とか平式	こだし、A〜Kの範囲内でも60点未満の工事成 対し成績評価点とする。	С	73点以上74点未満	22.0	
			- //www.	D E	72点以上73点未満	20.5	
	ii) 過去3年間にi) の実績がない者 ア 過去3年間継続して水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事)または給水管整備及び取り出し工事請負				71点以上72点未満	19.0	
	契約に契約実績がある者は、過去5年間に施工したEランク	以上の)当局総価契約案件工事(水道施設工事)の実績	F	70点以上71点未満	17. 5	
	を評価する。過去5年間の工事成績評定点を平均し、A~M イ アの実績がない者は、過去5年間に施工したDランク以	1の評価 人上の当	100円1000傾評価点とする。 4局総価契約案件工事(水道施設工事)の実績を	G H	69点以上70点未満	16.0	
	評価する。過去5年間の工事成績評定点を平均し、A~Mの 上記のア及びイで工事実績に下請負実績が含まれる場合、		68点以上69点未満 67点以上68点未満	14. 5 13. 0			
	上記のア及びイで工事美績に下請負美績が含まれる場合、ものとみなす。	卜請罗	日本手模分は工事放績評正点65点で施工した	I	66点以上67点未満	11.5	
	なお、過去5年間に、遡及して工事成績評定の減点修正が なお、過去5年間に、遡及して工事成績評定の減点修正が	ジテトル	たて東安康の左左が辺めためを担合は 坐弦て	K	65点以上66点未満	10.0	
	事成績評定は修正が実施された年度の工事成績評定点として	*11424	に工事条件の存住が認められた場合は、ヨ該工 う。修正を行った年度に契約がない場合は、契約		60点以上65点未満	5. 0	過去34
	実績のある直近の年度の工事成績評定点として取扱う。			М	60点未満	0.0	(※1 また)
	(2) 施工実績評価点				5		過去5:
				A	2,000万円以上	5. 0	(* 2
	i) 過去3年間に水道施設維持補修工事請負単価契約			1	(申込年度は50%)	5.0	
	年度ごとに、維持補修における施工実績額を合計しる。	, A	1~C1の評価を行い、年度点数を決定す		1,000万円以上2,000万円未満(申37年度は50%)	3.0	
	決定した年度点数を平均し、施工実績評価点とする			1	(申込年度は50%)		-
	二)温土の年間に、)の中体がたいが			C 1	1,000万円未満 (申込年度は50%)	0.0	
	ii) 過去3年間にi) の実績がない者 ア 過去3年間継続して水道緊急工事請負単価契約	(漏水4	修理工事)または給水管整備及び取り出し	_	(日 位下及1400 /0)		1
	工事請負単価契約の契約実績がある者は、過去5年間	に施	LしたEランク以上の当局総価契約案件工	A 2	1億6,000万円以上	5.0	
	事(水道施設工事)の施工実績額を合計し、A2~C イアの実績がない者は、過去5年間に施工したDラ			R	4,000万円以上1億6,000万円		
	事) の施工実績を合計し、A2~C2の評価を行いが				未満	3. 0	
	上記のア及びイで下請負実績が含まれる場合は、「	請負	金額を施工実績額とする。	С			
				2	4,000万円未満	0.0	
	(3) 信頼性・社会性評価点(上限5点)				5		
			総価契約案件工事(水道施設工事)、		2		
	① 過去3年間に表彰された実績を評価する。		請負単価契約での優良工事表彰・公表	(上限2点)			
		実績					過去3年
		当局	水道工事イメー 最優秀賞、優秀賞、水道工事イメー 索木見特別党 原真党		2 (上限2点)		(※1
	② 申請年度の12月31日時点で直近の過去3回に表彰された実績を評価する。	ジア	ップコンクール 番重貝付別貝、後尺貝		(工成2点)		
	に気事でなりに大順と計画する。	での	表彰・公表実績アイデア賞、事例集活用賞		(上限1点)		
	③ 単価契約工事又は緊急施行工事の実績 ※:	3	1,323		1		
2	配置予定技術者の能力				10		
	(1) 施工体制評価点(上限10点) ※4				10		
	専任の主任技術者(監理技術者(水道)) ;	% 5			5. 0		
	専任の主任技術者(1級技術者に準ずる者)	*	5		4.5		
	専任の主任技術者(2級技術者に準ずる者)	*	5		3.5		
	専任の主任技術者(その他の技術者) ※				1.5		
		₹5			2.0		
	専任の主任技術者(1級技術者に準ずるもの)				1.5		中、江
	専任の主任技術者(2級技術者に準ずる者) 専任の主任技術者(その他の技術者) ※:	<u>*</u>	υ	-	1. 0 0. 5		申込時
	専任の主任技術者(その他の技術者) ※ : 専任の配水管工(大口径) 2名以上	,		-	4. 5		1
	③ 専任の配水管工 (大口径) 1名			\vdash	1.5		
	専任の配水管工としてスーパー配管工が配置さ	されて	いる		3. 0		1
	④ 専任者以外で配置された主任技術者、配水管			П	0.0		1
	(2) 担い手確保に向けた取組(上限1点)				1		1
	① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が	主任技	術者又は配水管工に配置されている		1.0		1
	② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が	上記以	外の技術者に配置されている		0.5		<u> </u>
3	災害協定等に基づく地域貢献 (上限3点)				3		
	災害協定等に基づく活動実績評価点※7		活動実績		3		過去5年間
			出動準備		1		過去3年間
Ш	災害協定の締結有無 ※3				1		申込
4	緊急時の対応能力				2		申込
Ш	緊急時の対応能力に対する評価点				2		,
5	減点評価(上限-5点)				(-5)]
[過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止になった期間及びお告定を決して		1か月まで		(-1)		
	なった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に 係る処分基準において、指定の効力停止となった期間を	停	1か月を超え3か月まで		(-2)		1
	減点する。	止	3か月を超え6か月まで		(-3)		過去3年
	また、停止処分が複数ある場合には、それぞれの点数の合計を減点する。	期		-			(** 1
	の合計を減点する。 なお、複数の契約に申込みがある場合には、それぞれ	間	6か月を超え12か月まで	_	(-4)		1
		1	12か月を超え24か月まで	i	(-5)		1
	の契約で減点する。		12か月を超える4か月よく		(0)		

- ※1 過去3年間とは、令和5年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
 ※2 過去5年間とは、令和3年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
 ※3 詳細は、資料2-12/12「(補足)評価対象一覧」のとおり。
 ※4 契約後、技術者に変更が生じ施工体制評価点(上限10点)が下がる場合には、申込時の施工体制評価点以上の体制が確認できるまでは、新たな発注は行わな また、当局の判断で虚偽申請として取り扱う場合がある。
- %5 複数の届け出がある場合は、点数の高いものから順に $①\cdot$ ②の配点により 2名まで評価する。
- ※6 女性かつ40歳以下の場合は、女性技術者としてのみ評価する。 ※7 令和6年能登半島地震に伴う水道施設復旧工事については、派遣期間によらず令和6年5月31日を基準として評価する。

「給水管整備及び取り出し工事請負単価契約」の評価内訳

過去3年間に本契約の実績がある者

評 価 項 目		評価点		評価年
評価点		100		
技術評価点		50		_
1 会社の施工実績		35		_
(1) 成績評価点	\top	25		1
	A	75点以上	25.0	
	В		23.5	
た成づして、深知といとにおいてはのです。とは、外のでです。ままなずではので	C		22. 0	
年度ごとに、通知された漏水防止担当所管の工事成績評定点と給水管工事事務所所管の工 成績評定点を年度ごとにそれぞれ平均し、A~Mの評価をする。その点数を評定回数により	事 加 E	72点以上73点未満 71点以上72点未満	20. 5	
重平均して年度点数を決定する。	E		17. 5	
なお、2か月間を評定単位とする工事で、同じ月に通知された成績評定点が複数ある場合は、件数による加重平均を行い、評定回数を1回とする。	٠(<i>ڪ</i> G	69点以上70点未満	16.0	
ただし、年度の平均評定点が65点以上の場合でも、60点未満の成績評定点があった年	68点以上69点未満	14. 5		
は成績ランク [L] とする。 決定した年度ごとの点数を平均し、成績評価点とする。	I		13. 0 11. 5	-
	K		10. 0	
	L		5. 0	
	M	60点未満	0.0	過去3年
(2) 施工実績評価点		5		(* 1
	A	4,000万円以上 (申込年度は50%)	5.0	またり 過去 5 ⁴ (※ 2
年度ごとに、施工実績によってA~Cの評価を行い、点数を決定する。 決定した年度ごとの点数を平均し、施工実績評価点とする。	В	2,000万円以上4,000万円未満 (申込年度は50%)	3.0	(% 2
	С	2,000万円未満 (申込年度は50%)	0.0	
(3) 信頼性・社会性評価点 (上限5点)		5		
当局総価契約案件工事 (水道施設工事)、 過去3年間に表彰された実績を評価する。 工事請負単価契約での優良工事表彰・公司 実績		2 (上限2点)		
当局水道工事イ 最優秀賞、優秀賞、 申請年度の12月31日時点で直近の過去3回に メージアップコン 査員特別賞、優良賞		2 (上限2点)		
表彰された実績を評価する。		1 (上限1点)		=
単価契約工事又は緊急施行工事の実績 ※3 2 配置予定技術者の能力	-	10		
(1) 施工体制評価点(上限10点) ※4		10		1
専任の主任技術者(監理技術者(水道)) ※5		5. 0		
専任の主任技術者(1級技術者に準ずるもの) ※5		4. 5		
- 専任の主任技術者(2級技術者に準するもの) ※ 5		3. 5		
専任の主任技術者 (その他の技術者) ※5 専任の主任技術者 (監理技術者(水道)) ※5		1. 5 2. 0		
恵任の主任技術者(1級技術者に進ずるもの) ※5		1. 5		-
② 専任の主任技術者 (2級技術者に準ずるもの) ※5		1. 0		申込即
専任の主任技術者(その他の技術者) ※5		0. 5		
専任の配水管工2名以上	\perp	4. 5		1
③ 専任の配水管工1名 専任の配水管工としてスーパー配管工が配置されている	-	1. 5 3. 0		1
④ 専任者以外で配置された主任技術者、配水管工(スーパー配管工含む)		0. 0		1
(2) 担い手確保に向けた取組 (上限1点) ※6		1		1
① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている		1.0	•]
② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上記以外の技術者に配置されている		0.5		ļ
3 災害協定等に基づく地域貢献(上限3点)	_	3		AP 1
災害協定等に基づく活動実績評価点※7 出動準備	\dashv	3		過去5年間(過去3年間(
災害協定の締結有無 ※3	_	1		申込即
4 緊急時の対応能力		2		申込即
緊急時の対応能力に対する評価点		2		中心
5 減点評価点(上限-5点)		(-5)]
過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止に なった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に係 1か月まで		(-1)]
る処分基準において、指定の効力停止となった期間を減点 停		(-2)		温士の左
する。 また、停止処分が複数ある場合には、それぞれの点数の 期 3か月を超え6か月まで		(-3)		過去3年
合計を減点する。 間 6 か月を超え12 か月まで		(-4)		1
たお 複数の契約申し込みがある場合には それぞれの		(-5)		1
契約で減点する。 12か月を超え24か月まで	l l	(-5)		

- ※1 過去3年間とは、令和5年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。

- ※2 過去5年間とは、令和3年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
 ※3 詳細は、資料2-12/12「(補足)評価対象一覧」のとおり。
 ※4 契約後、技術者に変更が生じ施工体制評価点(上限10点)が下がる場合には、申込時の施工体制評価点以上の体制が確認できるまでは、新たな発注は行わない。 また、当局の判断で虚偽申請として取り扱う場合がある。
- %5 複数の届け出がある場合は、点数の高いものから順に①・②の配点により 2名まで評価する。
- ※6 女性かつ40歳以下の場合は、女性技術者としてのみ評価する。 ※7 令和6年能登半島地震に伴う水道施設復旧工事については、派遣期間によらず令和6年5月31日を基準として評価する。

「給水管整備及び取り出し工事請負単価契約」の評価内訳

過去3年間に本契約の実績がない者

平 価 項 目	1				評価点		評価年数
評価点					100		
技術評価点				50			_
1 会社の施工実績				35			_
(1) 成績評価点				25		+	
(i) 過去3年間のいずれかの年度にア〜ウのいずれかの実績が	がある	場合		A	75点以上	25. 0	
ア 水道施設維持補修工事請負単価契約 イ 水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事)				В	74点以上75点未満	23. 5	
ウ 配水管小規模整備工事請負単価契約 優先順位をア・イ・ウの順とする。複数契約があった場合においても優先順位のもっとも高い契約を対象に、				С	73点以上74点未満	22. 0	-
				D	72点以上73点未満	20. 5	-
年度ごとに、通知された工事成績評定を平均し、A~Mの記	E	71点以上72点未満	19. 0				
なお、同じ月に通知された工事成績評定点が複数ある場合は 範囲内でも60点未満の工事成績評定点があった年度はLとす	F	70点以上71点未満	17. 5				
また、過去5年間に、遡及して工事成績評定の減点修正が行われた工事案件の存在が認められた場合は、当該					69点以上70点未満	16. 0	
工事成績評定は修正が実施された年度の工事成績評定点として 契約実績のある直近の年度の工事成績評定点として取扱う。	て取扱	:う。修正を行っ7	た年度に契約がない場合は、	G H	68点以上69点未満	14. 5	
決定した年度ごとの点数を平均し、成績評価点とする。				T T	67点以上68点未満	13. 0	
ii) 過去3年間にi) の実績がない場合				T	66点以上67点未満	11. 5	
過去3年間に施工したEランク以上の当局総価契約案件工				K	65点以上66点未満	10. 0	
過去3年間の全ての工事成績評定点を平均し、A~Mの評しとする。	価を行	い、点数を決定。	する。 その点数を成績評価点	L	60点以上65点未満	5. 0	
工事実績に下請負工事を含む場合、下請負工事で申請した!	工事実	績の件数分を工具	事成績評定点65点で施工し	M	60点未満	0. 0	過去3年
たものとみなす。 (2) 施工実績評価点				M	5	0.0	(※1)
(2) 旭工央傾肝圖点				Н	0		. または 過去5年
(1)の:) ::)にかかわらず 温土の左門に	- 1/: T	したロランカ	いしの北巨沙圧初約安併	A	1億6,000万円以上	5	週去 5 年
(1) のi)、ii) にかかわらず、過去3年間に 工事(水道施設工事)の実績を評価する。過去3年 施工実績評価点とする。					4,000万円以上1億6,000万円 未満	3	().(=)
※下請実績も評価対象とし、下請金額を施工実績	責額と	する。		С	4,000万円未満	0	
(3)信頼性・社会性評価点(上限5点)					5	1	
	业 民 丝	公屈却幼安州工	事(水道施設工事)、				
			の優良工事表彰・公表		2		
	実績				(上限2点)		
7	当局オ	く道工事イ	最優秀賞、優秀賞、審		2		
申請年度の12月31日時点で直近の過去3回に	メージアップコン 査員特別賞、優良賞 クールでの表彰・ アイデア賞				(上限2点)		
				1			1
	公表第	を積	事例集活用賞		(上限1点)		
単価契約工事又は緊急施行工事の実績					1		
2 配置予定技術者の能力					10		
(1)施工体制評価点(上限10点) ※4					10		
専任の主任技術者(監理技術者(水道)) ※5		-			5. 0		
① 専任の主任技術者(1級技術者に準ずるもの) 専任の主任技術者(2級技術者に準ずるもの)	<u>*</u>				4. 5 3. 5		
専任の主任技術者(その他の技術者) ※5	**	0			1. 5		
専任の主任技術者(監理技術者(水道)) ※5					2. 0		ch > 7 m
専任の主任技術者(1級技術者に進ずるもの)	*	5			1. 5		申込時
② 専任の主任技術者(2級技術者に準ずるもの)	*	5			1. 0		
専任の主任技術者(その他の技術者) ※5					0. 5		
専任の配水管工2名以上			-		4. 5		
③ 専任の配水管工1名	, .				1. 5		
専任の配水管工としてスーパー配管工が配置さ			×+.\	<u> </u>	3. 0		
④ 専任者以外で配置された主任技術者、配水管工	(ス・	ーハー配管工言	5 <i>む)</i>		0.0		ł
(2) 担い手確保に向けた取組(上限1点)※6	Ir II.	L-+ 1 1	ケーショニ 中 ()	<u> </u>	1		
① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主					1.0		
② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上	正以	小の技術者に問	C回されている	1	0.5		
3 災害協定等に基づく地域貢献(上限3点)		37	動虫结	<u> </u>	3		70 to 5 to 500 t
災害協定等に基づく活動実績評価点※7			動実績 動準備		3 1		過去5年間()過去3年間()
災害協定の締結有無 ※3		Щ	397 NH	1	1		申込時
4 緊急時の対応能力					2		
緊急時の対応能力に対する評価点				\vdash	2		申込時
5 減点評価点(上限-5点)				t	(-5)		
過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止に	1	1か月まで		<u> </u>			1
なった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に係	-		a) H) a	1	(-1)		1
なった期間及び都指定結ぶ装直工事事業者の遅及事業に係 る処分基準において、指定の効力停止となった期間を減点 「1か月を超え3か月まで			3か月まで		(-2)		過去3年
る処分基準において、指定の効力停止となった期間を減点		ナス			(.)		
る処分基準において、指定の効力停止となった期間を減点 する。	止	3か月を超え	6か月まで		(-3)		(** 1 .
る処分基準において、指定の効力停止となった期間を減点 する。 また、停止処分が複数ある場合には、それぞれの点数の 合計を減点する。	止期	3か月を超え6か月を超え			(-3)		(**1,
る処分基準において、指定の効力停止となった期間を減点 する。 また、停止処分が複数ある場合には、それぞれの点数の	止期	6か月を超え					(%1)

- ※1 過去3年間とは、令和5年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
- %2 過去5年間とは、令和3年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
- ※3 詳細は、資料 2-1 2 /1 2 「 (補足) 評価対象一覧」のとおり。
- ※4 契約後、技術者に変更が生じ施工体制評価点(上限10点)が下がる場合には、申込時の施工体制評価点以上の体制が確認できるまでは、新たな発注は行わない。 また、当局の判断で虚偽申請として取り扱う場合がある。
- %5 複数の届け出がある場合は、点数の高いものから順に①・②の配点により 2名まで評価する。
- **※**6 **※**7
- 女性かつ40歳以下の場合は、体験の間もしてのみ評価する。 安和6年能登半島地震に伴う水道施設復旧工事については、派遣期間によらず令和6年5月31日を基準として評価する。

「小中口径メータ引換工事等請負単価契約」の評価内訳

評 価 項 目	評価点
評価点	100
技術評価点	50
1 会社の実績・体制	31
(1) 成績評価点	15
	A 70点以上 15
年度ごとに成績評定点を平均し、A~Fの評価を行い、年度ごとの点を決定する。ただし、成績評定点の平均点が60点未満の場合は、Gと	
○○風土 2 年間 (※ 1) の る。	C 66点以上68点未満 11
なお、過去5年間(※2)に、遡及して成績評定の減点修正が行われいで本契約の実績があ 工事案件の存在が認められた場合は、当該工事成績評定は修正が実施さ	た D 64点以上66点未満 9.
る者 「工事条件の存在が認められた場合は、国該工事成績許足は修正が美地で た年度の成績評定点として取扱う。	E 62点以上64点未満 7.
決定した年度ごとの点数を平均し、成績評価点とする。	F 60点以上62点未満 5.
	G 60点未満 0.
②過去3年間に本契約の実績がない者	5, 0
(2) 施工実績評価点	10
	a 10.
①過去3年間のいずれかに本 類的の実体がよれる。 毎度ごとに、施工実績を履行区域内で順位付けし、a~cの評価を行 う。同一順位の場合は、上位のランクに振り分ける。	b 8.
契約の実績がある者 決定した年度ごとの点数を平均し、施工実績評価点とする。	c 6.
	格付 A
	格付B
②過去3年間に本契約の実績 申込時点の[09 給排水衛生工事]の格付等級により点数を決定し がない者 ・	へ 格付C
	格付口 6.
	格付 X 4.
(3) 単価契約工事、緊急施行工事等の実績による評価点	上限1点
過去3年間に単価契約工事又は緊急施行工事の実績がある者 ※3	1.0
申込年度に「緊急を要するメータ取付等業務委託単価契約」におけるメータ取付け・取外し業務 実績がある者	1.0
(4) 信頼性·社会性評価点	上限5点
過去3年間において、東京都発注の総価契約工事(給排水衛生工事)、当局総価契約工事(水道 設工事)又は工事請負単価契約での優良工事表彰・公表実績	(上限2点)
最優秀賞、優秀賞、審査員特別 申込年度の12月31日時点で直近の過去3回の当局イメージ 賞、優良賞 アップコンクールにおける表彰・公表実績	(上限2点)
アイデア賞、事例集活用賞	1. 0 (上限1点) 1. 0
災害協定の締結有無(申込時) ※3 2 配置予定技術者の能力	上限17点
(1) 専任の主任技術者の保有資格及び担い手確保に向けた取組による評価点	上限12点
ア 専任の主任技術者の保有資格に対する評価点(施工体制評価点) ※4 ※5	工 秋12点
	4. 0
1人目 管工事施工管理技士(1、2級)	4. 0
配管技能士(1、2、3級)	2. 0
給水装置工事主任技術者	2. 0
2人目以降 管工事施工管理技士(1、2級)	2. 0
配管技能士(1、2、3級)	1.0
イ 担い手確保に向けた取組による評価点 ※6 専任の主任技術者として配置	上限1点 1,0
女性・40歳以下 現場代理人として配置	0.5
(2) 有資格者の経験による評価点(施工体制評価点) ※4 ※5 ※7	上限5点
給水裝置丁事主仟技術者	1.0
右の資格を取得後、10年以上の 実務経験を有する 管工事施工管理技士(1、2級)	1. 0
	1. 0
3 緊急時の対応能力	2. 0
緊急時の対応能力に対する評価点	2. 0
4 減点評価	上限-5点
過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止になった 期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に係る処分基準 において、地容の独力値による。本期間はお地方は、 1か月を超え3か月まで	(-1.0)
において、指定の効力停止となった期間を減点する。	(-3. 0)
を減点する。	
なお、複数の契約に申込みがある場合には、それぞれの契約 間 6か月を超え12か月までで減点する。 12か月を超え24か月まで	(-4. 0) (-5. 0)
	1

- %1 過去3年間とは、令和5年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
- ※2 過去5年間とは、令和3年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
- ※3 詳細は、資料2-12/12「(補足)評価対象一覧」のとおり。
- ※4 2 (1) ア及び2 (2) を合わせた評価点を施工体制評価点として扱う。 契約後、技術者に変更が生じ、施工体制評価点が下がる場合には、申込時の施工体制評価点以上の体制が確認できるまでは、 新たな発注は行わない。また、当局の判断で虚偽申請として取り扱う場合がある。
- ※5 1人目が保有していない資格を2人目以降が保有している場合は、当該資格については1人目と見なし評価する。
- ※6 現場代理人としてのみ配置された場合でも評価の対象とする。
 - 2 (1) イは、施工体制評価点として扱わない。なお、女性かつ40歳以下の場合は、女性技術者としてのみ評価する。
- ※7 本契約に専任した者及び専任以外の者について評価する。 また、1人が複数の資格を保有している場合は、それぞれの資格ごとに加点する。

「大口径メータ引換工事等請負単価契約」の評価内訳

合評価									⇒:::: /*** -	
	: Je		評 価 項	〔 目				1	評価点	
技術								1	100	
	将評価点								50	
_	会社の実績・							1	36	
	(1) 成績評価	由点	1					Α.	15 70点以上	15
			年度ごとに成績評定点	を平均し	、A~F の評	価を行い、年度、	ごとの点数を決定す	A B	68点以上70点未満	15. 13.
	①過去3年	間(※1)の	る。ただし、成績評定点	の平均点	点が60点未満	iの場合は、Gと	する。	С	66点以上68点未満	11.
	いずれかに	本契約の実績があ	なお、過去5年間(※ 存在が認められた場合は					D	64点以上66点未満	9.
	る者		して取扱う。				TET DE PARISON DE INCE	Е	62点以上64点未満	7.
			決定した年度ごとの点	数を平均	匀し、成績評価	i点とする。		F	60点以上62点未満	5.
	②過去3年	間に本契約の実績が	「ない考					G	60点未満 5.0	0.
 	(2) 施工実績評価点							1	15	
			Α	司 校 / (中 ※ 1 / 六						
								1	引換件数1位	15.
								В	引換件数2位	12.
			な契約の実績がある者 なけばし、 ▲ 1 ・ □ 1 の部	fm ナ. /二)	、左眸ざしの	、上巻ナ.油 ウナフ	とだ! 井工中体が	1		
		に、他工夫額を順位ない場合は、E1と	立付けし、A1~D1の評 とする。	・1回を110	ハ、年度ことの	兄剱を伏足りる	。ただし、旭上夫槙が	C 1	引換件数3位	8.
			P均し、施工実績評価点と	する。				D	11格件料 4件以下	
								1	引換件数4位以下	4.
								Е	順位にかかわらず各社の平均引換 件数の6割に満たない者	2.
								1	11 39->> altre inter-, \$4., [4]	
								A 2	契約年度実績800件/年以上	15.
								В	den dala tra retor del dala esca del Caracca de	
		年間に本契約の実績の現在策なる激素		64 A 44	生ぶま 7 担 人に	トフの安徳ナム	0 - 0 0 本証(年)	2	契約年度実績700件/年以上	12.
			て4年前又は5年前に本契 3年間に施工した当局給・					C 2	契約年度実績600件/年以上	8.
	契約案件工	事(水道施設工事)	の実績をD2~E2で評					\vdash		-
	明した工事	の実績額とする。						D 2	実績額500万円以上	4.
								Е	de de la companya de	
							2	実績額500万円未満	2.	
	(3) 単価契約工事、緊急施行工事等の実績による評価点 過去3年間に単価契約工事又は緊急施行工事の実績がある者 ※3							1		
1							<u> </u>	1.0		
	(4) 信頼性・社会性評価点 過去3年間において、東京都発注の総価契約工事(給排水衛生工事)、当局総価契約工事(水道施設工事)又は工事 請負単価契約での優良工事表彰・公表実績					上限5点				
						事 2.0 (上限2点)				
						最優秀賞、優秀	告		2. 0	
	申込年度の12月31日時点で直近の過去3回の当局イメージ									
			丘の過去3回の当局イメーシ	ジアッフ	『コンクールに				(上限2点)	
		12月31日時点で直込 ・公表実績	丘の過去3回の当局イメーシ	ジアッフ	゚゚コンクールに		優良賞		(上限2点)	
	おける表彰	• 公表実績		ジアッフ	゚゚コンクールに	審查員特別賞、	優良賞		(上限2点)	
2	おける表彰	・公表実績 締結有無 (申込時)		ジアッフ 	<i>゚゚゚゚゚コンクール</i> に	審查員特別賞、	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点)	
2	おける表彰 災害協定の 配置予定技術	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力				審查員特別賞、	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0	
2	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の言	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力 E任技術者の保有資	※ 3	こ取組に	よる評価点	審查員特別賞、	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点	
2	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の言	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力 E任技術者の保有資	※3 格及び担い手確保に向けた	と取組に 施工体 給水装	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0	
2	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の言	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力 E任技術者の保有資	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(と取組に 施工体 給水装 管工事	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技・ 施工管理技士	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0 4.0	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の言	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の伊	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(定取組に施工体に給水装管工事配管技	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技・ 施工管理技士 能士(1、2	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0 4.0 2.0	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の言	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の伊	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(こ取組に施工体給水装管工事配管技配水管	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技 施工管理技士 能士(1、2 :エ	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級) 、3級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0 4.0	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の言	・公表実績 締結有無 (申込時) 者の能力 上任技術者の保有資 任の主任技術者の保 1人	※3 格及び担い手確保に向けた R有資格に対する評価点(目	と取組に 施工体 給水 管工管技 配水管 配水管 給水装	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技・ 施工管理技士 能士(1、2	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、 (3級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 上限10点 2.0 2.0	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の言	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の伊	※3 格及び担い手確保に向けた R有資格に対する評価点(目	に取組に 施工体 給水工事技管 配水水事 給水工事技管 配水水事 を 配本水子事技	よる評価点 削評価点) ※ 置工事主任技 施工管理技士 能士 (1、2・ 工 置工事主任技 施工管理技士 能工管理技士	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級) 術者 (1、2級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の言 ア 専	・公表実績 締結有無 (申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の保 1人 2人目	※3 格及び担い手確保に向けた R有資格に対する評価点(目	と取組に 施工体に 給水装事 配水管 配水管 配水装 給水装事	よる評価点 削評価点) ※ 置工事主任技 施工管理技士 ・能士 (1、2・ ・ 工 置工事主任技 ・ 施工管理技士 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級) 術者 (1、2級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の言 ア 専	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の保 1人 2人目	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(目 」 以降 取組による評価点 ※6	に取組に 施工体 給水装 電配水 電配水 管配水 を 配水 で 電配水 で 電配水 で 電配水 で 電配水 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技: 施工管理技士: 能士 (1、2 三工 置工事主任技: 施工管理技士 能士 (1、2	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級) 、3級) 術者 (1、2級) 、3級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 L限1点	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の言 ア 専	・公表実績 締結有無 (申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の保 1人 2人目	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(目 」 以降 取組による評価点 ※6	こ取組に 施工体体 給水工 管配水水工 管配水水工 管配水水工 管配 配水 事配 配水 工 管 板 工 を 者 工 で を 、 で 、 で 、 で 、 で 、 で 、 を 、 を 、 を 、 を	よる評価点 削評価点) ※ 置工事主任技 施工管理技士 ・能士 (1、2・ ・ 工 置工事主任技 ・ 施工管理技士 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、 3級) 術者 (1、2級)、 3級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任のヨ ア 専	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の保 1人 2人目 い手確保に向けた耳 女性・4	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(目 」 以降 取組による評価点 ※6	に取組に施工体は 給工体は 給水工管配配水工管配配水工管配配水工管配水水工管板が 総水工管板が に取水ででである。 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技・ 施工管理技士 能士 (1、2 工 電工事主任技・ 施工管理技士 能士 (1、2 工 主任技術者と 理人として配 ※5 ※7	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) 術者 (1、2級)、3級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 L限1点	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の ア 専	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力 E任技術者の保有資任の主任技術者の保有資任の主任技術者の保有資化の主任技術者の保有資化の主任技術者の存在の主任技術者の存在の主任技術者の経験による評価	※3 格及び担い手確保に向けた R有資格に対する評価点(目 は以降 放組による評価点 ※6 0歳以下 点 (施工体制評価点)	定取組に施工体は 給工体を基準を をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 とっと。 とっと。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 施工管理技士 能士 (1、2 工 置工事主任技士 能士 (1、2 工 主任技術者と 工 主任技術者として配 ※5 ※7 電工事主任技	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) 術者 (1、2級)、3級) して配置 匿 術者	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 4.0 4.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 L限1点 1.0 上限1点 1.0 0.5 上限2点 1.0	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の ア 専	・公表実績 締結有無 (申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(目 目以降 放組による評価点 ※6 0歳以下 点 (施工体制評価点)	之取組に 施 給給 管配 配水工管 配水工管 配水工管 配水工管 电机 等配 等配 等 長 場 等 長 場 会 等 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長 長	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 施工管理技士 能士 (1、2 工 置工事主任技・ 能工管理技士 主任技として 主任人として ※5 ※7 置工事主任技士	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) 術者 (1、2級)、 3級) して配置 置 (1、2級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0 4.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 上限1点 1.0 0.5 上限2点	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の ア 専	・公表実績 締結有無(申込時) 者の能力 E任技術者の保有資任の主任技術者の保有資任の主任技術者の保有資化の主任技術者の保有資化の主任技術者の存在の主任技術者の存在の主任技術者の経験による評価	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(目 目以降 放組による評価点 ※6 0歳以下 点 (施工体制評価点)	に取組に体 施 給 管配 配 を で 配 で で で で で で で で で で で で で で で	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 施工管理技士 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) 術者 (1、2級)、 3級) して配置 置 (1、2級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限1点 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 上限1点 1.0 上限1点 1.0 0.5	
	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任の ア 専	・公表実績 締結有無 (申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保存) (上の主任trattを) (上の主任trattを) (上の主任tratter) (上の主任trat	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(目 目以降 放組による評価点 ※6 0歳以下 点 (施工体制評価点)	之取組に 施給給管配 配水工管 配水工管 配水工管配 等現。 4、米工 等場。 第一年 場。 4、米工 等。 第一年 4、米工 等。 第一年 4、米工 等。 第一年 4、米工 等。 1、米工 等。 1 年 4 年 5	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 施工管理技士 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) 術者 (1、2級)、 3級) して配置 置 (1、2級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0 4.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 上限1点 1.0 0.5 上限2点	
3	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任のヨ ア 専	・公表実績 締結有無 (申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保有資 (上の主任技術者の保存) (上の主任trattを) (上の主任trattを) (上の主任tratter) (上の主任trat	※3 格及び担い手確保に向けた R有資格に対する評価点(.目 可以降 放組による評価点 ※6 の歳以下 点(施工体制評価点) 1 0年以上の 有する	に取組に体 施 給 管配 配 を で 配 で で で で で で で で で で で で で で で	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 施工管理技士 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) 術者 (1、2級)、 3級) して配置 置 (1、2級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限1点 1.0 上限12点 上限10点 4.0 4.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 上限1点 1.0 0.5 上限2点 1.0 0.5	
37 開州	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任のヨ ア 専	・公表実績 締結有無 (申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 (日の主任技術者の保 1人 2人目 な性・4位 たの経験による評価 右の資格を取得後、 実務経験を 能力 E力に対する評価点	※3 格及び担い手確保に向けた R有資格に対する評価点(.目 可以降 放組による評価点 ※6 の歳以下 点(施工体制評価点) 1 0年以上の 有する	に取組に体 施 給 管配 配 を で 配 で で で で で で で で で で で で で で で	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 施工管理技士 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) 術者 (1、2級)、 3級) して配置 置 (1、2級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限1点 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0 4.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 上限1点 1.0 0.5 上限2点 1.0 0.5 2.6 0.5	
3 間外	おける表彰 災害協定の 配置予定技術 (1) 専任のヨ ア 専 イ 担 (2) 有資格者 緊急時の対応領 減点評価(上	・公表実績 締結有無 (申込時) 者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 人 1人 2人目 い手確保に向けた耳 女性・4位 子の経験による評価 右の資格を取得後、 実務経験を 能力 E力に対する評価点	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(目 可以降 放組による評価点 ※6 の歳以下 点 (施工体制評価点) 1 0年以上の 有する	に取組に体 施 給 管配 配 を で 配 で で で で で で で で で で で で で で で	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 施工管理技士 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) 術者 (1、2級)、 3級) して配置 置 (1、2級)	優良賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限1点 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0 4.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 上限1点 1.0 0.5 上限2点 1.0 0.5 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0 2.0	
3 107	おける表彰 災害協定の (1) 専任の言 ア 専 イ 担 (2) 有資格者 緊急時の対応自 減過去3 4 年間 及び都指定給	・公表実績 総結有無(申込時)者の能力 と任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 化の主任技術者の保有資 をの主任技術者の保有資 を取得験による評価 右の資格を取得後、実務経験を能力 に対する評価点限・5点 に対する評価点限・5点 に対する評価点限・5点 に対する評価点限・5点	※3 格及び担い手確保に向けた R有資格に対する評価点(目 以降 放組による評価点 ※6 の歳以下 点(施工体制評価点) 10年以上の 有する の本で指名停止になった期 近事字に係る処分基準にお	に取組に体 施 給 管配 配 を で 配 で で で で で で で で で で で で で で で	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 能工 (1、2 工 事主任技士 能工 (1、2 工 事主任技七 で エ (1、2 工 事主任技で (1、2 工 事主任技で (1、2 工 事主任技で (1、2 工 事主任技・ (1、2 工 事主任技・ (1、2 工 事主任技・ (1、2	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) (1、2級)、3級) して配置 置 (1、2級)、3級)	優良賞 例集活用賞		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限1点 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0 4.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 上限1点 1.0 0.5 上限2点 1.0 0.5 上限2点 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	
3 107	おける表彰 災害協定の 配置予定技術の 専 ア 専 イ 担 (2) 有資格	・公表実績 総結有無(申込時)者の能力 E任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 人 2人目 い手確保に向けた耳 女性・4(子の経験による評価 右の資格を取得後、 実務経験を 能力 E力に対する評価点 限-5点) おいて、東京都発注の強力 特単となった期間を	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(目 は以降 放組による評価点 ※6 の歳以下 点 (施工体制評価点) 1 0年以上の 有する 工事で指名停止になった期 反事実に係る処分基準にお 減点する。	と取組に体装事技管配配 専現※給管配配 ・ 中田 ・ 田田 ・ 田田 ・ 田田 ・ 田田	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 能士 (1、2 工 事主任技士 施士 (1、2 工 事主任技して配 ※ 5 ※ 7 置 工 事主任技・	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) (1、2級) 、3級) して配置 置 (1、2級)、3級)	優良賞 例集活用賞 で か月まで		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限1点 1.0 上限12点 上限10点 4.0 4.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 1.0 上限1点 1.0 0.5 上限2点 1.0 1.0 (-1) (-2)	
3 賢4	おける表彰 災害予 専任の言 ア 専 (1) 専任の言 ア 専 イ 担 (2) 有資格ネ 「	・公表実績 総結有無(申込時)者の能力 と任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 化の主任技術者の保有資 人 い手確保に向けた耳 女性・4位 の経験による評価 右の資格を取得後、 実務経験を 能力 と力に対する評価点 限・5点 といて、東京都発さの違かが複数ある場合には	※3 格及び担い手確保に向けた R有資格に対する評価点(目 以降 放組による評価点 ※6 の歳以下 点 (施工体制評価点) 1 0年以上の 有する プエ事で指名停止になった期 反事実に係る処分基準にお 減点する。 、、それぞれの点数の合計を	を 取組 には なで 配配 を管配配 を受した。 本が工管水が工管水が、 ものででは、 をは、 をはます。 をでいる。 では、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 施工管理技士 能士 (1、2 工 を主任技術者と 理人として配 ※ 5 ※ 7 置工事主任技・ 能士 (1、2	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) 術者 (1、2級)、3級) して配置 置 (1、2級)、3級) コか月ま ² 1か月ま ³ 3か月を超える7 3か月を超える7	優良賞 例集活用賞 で い月まで い月まで		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限1点 1.0 上限12点 上限10点 上限10点 4.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 上限1点 1.0 0.5 上限2点 1.0 1.0	
3 原 4 間 水	おける表彰 災害予 専任の言 ア 専 (1) 専任の言 ア 専 イ 担 (2) 有資格ネ 「	・公表実績 総結有無(申込時)者の能力 と任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 任の主任技術者の保有資 化の主任技術者の保有資 人 い手確保に向けた耳 女性・4位 の経験による評価 右の資格を取得後、 実務経験を 能力 と力に対する評価点 限・5点 といて、東京都発さの違かが複数ある場合には	※3 格及び担い手確保に向けた 保有資格に対する評価点(目 は以降 放組による評価点 ※6 の歳以下 点 (施工体制評価点) 1 0年以上の 有する 工事で指名停止になった期 反事実に係る処分基準にお 減点する。	と取組に体装事技管配配 専現※給管配配 ・ 中田 ・ 田田 ・ 田田 ・ 田田 ・ 田田	よる評価点 制評価点) ※ 置工事主任技士 施工管理技士 (1、2 工 置工事主任技・ 施士 (1、2 工 主任技術者と 理人として配 ※ 5 ※ 7 施工管理技士 に 1、2 工 主任技術者と で 2 工 主任技・ に 1、2 で 3 で 3 で 3 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 4 で 5 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7 で 7	審査員特別賞、 アイデア賞、事 (4 ※5 術者 (1、2級)、3級) (1、2級) 、3級) して配置 置 (1、2級)、3級)	優良賞 例集活用賞 で か月まで か月まで か月まで		(上限2点) 1.0 (上限1点) 1.0 上限1点 1.0 上限12点 上限10点 4.0 4.0 2.0 2.0 2.0 2.0 1.0 1.0 1.0 1.0 上限1点 1.0 0.5 上限2点 1.0 1.0 (-1) (-2)	

- ※1 過去3年間とは、令和5年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
- ※2 過去5年間とは、令和3年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
- ※3 詳細は、資料2-12/12「(補足)評価対象一覧」のとおり。
- ※3 詳細は、資料2-12/12「(補足)評価対象一覧」のとおり。
 ※4 2 (1) ア及び2 (2) を合わせた評価点を施工体制評価点として扱う。 契約後、技術者に変更が生じ、施工体制評価点が下がる場合には、申込時の施工体制評価点以上の体制が確認できるまでは、新たな発注は行わない。 また、当局の判断で虚偽申請として取り扱う場合がある。
 ※5 1人目が保有していない資格を2人目以降が保有している場合は、当該資格については1人目と見なし評価する。
 ※6 現場代理人としてのみ配置された場合でも評価の対象とする。 2 (1) イは、施工体制評価点として扱わない。なお、女性かつ40歳以下の場合は、女性技術者としてのみ評価する。
 ※7 本契約に専任した者及び専任以外の者について評価する。 また、1人が複数の資数を保有している場合は、それぞれの資格でよりに加点する。

- また、1人が複数の資格を保有している場合は、それぞれの資格ごとに加点する。

「水道施設維持補修工事」の評価内訳

令和6年度又は令和6年度を含む過去5年間のうち3年間雑銭して水道緊急工事請負単価契約(維持補修工事)又は水道施設維持補修工事請負単価契約の実績がある者

	評価項目				評価点		評価年
}評価 。	Į.				100		_
技術記	- 平価点				50		-
1 会	社の施工実績				38		_
	1)成績評価点				25		
	± / /9/0/2001 BM//W			A	75点以上	25. 0	
						23. 5	
			B C	74点以上75点未満 73点以上74点未満	22. 0		
	「現土 0 左門」と「本本」とよって本人体部点とよった。	1 1-	再告 A Mの部体とないと考え込む	D	72点以上73点未満	20. 5	
	過去3年間に通知された工事成績評定点を年度 する。なお、同じ月に通知された工事成績評定点:	Е	71点以上72点未満	19.0			
	行う。ただし、60点未満の工事成績評定点があ			F	70点以上71点未満	17.5	
	なお、過去5年間に、遡及して工事成績評定の			G	69点以上70点未満	16.0	
	れた場合は、当該工事成績評定は修正が実施された年度の工事成績評定点として取扱う。				68点以上69点未満	14.5	
	決定した年度ごとの点数を平均し、成績評価点とする。ただし、未契約の年度は計算の対象		Ι	67点以上68点未満	13.0		
	C C/4 V '0			J	66点以上67点未満	11.5	
				K	65点以上66点未満	10.0	
				L	60点以上65点未満	5. 0	
	- \ II who falls for fine to			M	60点未満	0.0	NH 1 1
(2) 施工実績評価点				9		過去3年
	過去3年間に水道施設維持補修工事請負単価契	劉約の	契約実績がある者。	A	3回	5. 0	またに
	① ただし、60点未満の工事成績評定点があった			В	2回	3. 0	過去5年
				C	1回	1.0	(* 2)
	過去3年間に水道緊急工事請負単価契約(漏水	修理	工事) の契約実績がある者。	A	3回	2.0	または
	② ただし、60点未満の工事成績評定点があった	年度	は、契約実績に含めない。	B C	2回	1.5	申込時
	i)過去5年間の当局水道施設工事(区部)に	- 4214	7 口 2 1 0 0 ··· 以 L の	C	1回	1.0	
	者(下請の場合は、2件以上の実績がある場合				2.0		
	③ ii) 上記 i) の実績がない者	1 (— н і	ш / 00 /			上限	
	申込時に当局水道施設工事(区部)における口	1径 /	O O mm D 上の施工咨哭材を含む休制を		1. 5	2点	
	確保できる者			1.0			
(3) 信頼性・社会性評価点		4				
	過去3年間に表彰された実績を評価する。						
	回去3年間に表彰された美額を評価する。 ① なお、実績が複数ある場合には、それぞれの						
	評価点の合計を評価する。		影・公表実績				
	申請年度の12月31日時点で直近の過去3回				1回につき0.5	上限	
	に主影された宝縷な証価する わわ 宝縷が		水道工事イメー 最優秀賞、優秀賞、審査			4点	
	複数ある場合には、それぞれの評価点の合計	ンチ	ップコンクール 員特別賞、優良賞、アイ 表彰・公表実績 デア賞、事例集活用賞				
	を評価する。	(0)	(4) 五次天順 / / 頁、事例来而用頁				
2 配	置予定技術者の能力				8		
(1) 施工体制評価点 ※3				6		
	. \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		te thile te 1 1 I . White an an let his the extract				
	i)過去3年間(※1)に現場代理人又は専行 負単価契約を経験している現場代理人又は専行				3		
	① サースがを経験している先参に在八人は守日	LVJI	工技術者が配置されている				
	i i 上記 i の配置者がいない者						
	過去5年間(※2)に現場代理人又は専任の主				2		申込時
	している現場代理人又は専任の主任技術者が配	•					
	現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配力	で管工	(大口径) の合計が3人以上		2		
	- (資料2-9/12参照)	k 18	FT IIII (5-1) or or				
	③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管		記置されている		1		
(4			2		
	① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主				1人につき1.0	上限	
1 1	② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上	記以	外の技術者に配置されている		1人につき1.0	2点	
	害協定等に基づく地域貢献(上限2点)	·			2		_
3 災		活動			1		過去5年間(
	1) 災害協定等に基づく活動実績評価点 ※6		準備		0.5		過去3年間(
(1) 災害協定等に基づく活動実績評価点 ※6	出動					申込即
(2) 災害協定の締結の有無 ※5				1		
((4 緊	2) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力				2		申込時
(4 緊	2) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点				2 2		申込即
((4 緊 (5 減	2) 災害協定の締結の有無 ※5 (急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点 は、評価点 (上限-5点)				2		申込即
(((((((((((((((((((2) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点 点評価点 (上限-5点) 過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止に		1か月まで		2 2		申込即
(4 緊 (5 減 な	2) 災害協定の締結の有無 ※5 ・急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点 ・点評価点 (上限-5点) ・点書間において、東京都発注の工事で指名停止に った期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に		1か月まで 1か月を超え3か月まで		2 2 —		申込即
(4 緊 (5 減 など 係	2) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点 点評価点 (上限-5点) 過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止に	出動	1か月を超え3か月まで		2 2 - (-1) (-2)		- *1
(((((((((((((((((((2) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点 1.点評価点 (上限-5点) 過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止にった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実にる処分基準において、指定の効力停止となった期間を点する。 また、停止処分が複数ある場合には、それぞれの点数	出動: 停止期	1か月を超え3か月まで 3か月を超え6か月まで		2 2 - (-1) (-2) (-3)		申込時 - ※1 過去3年
((4 緊 (5 滅 (係 (減)	2) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点 点評価点 (上限-5点) 過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止にった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実にを処分基準において、指定の効力停止となった期間を はする。 また、停止処分が複数ある場合には、それぞれの点数 合計を減点する。	出動: 停止	1 か月を超え3か月まで 3 か月を超え6か月まで 6 か月を超え12か月まで		2 2 - (-1) (-2) (-3) (-4)		- *1
(((((((((((((((((((2) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点 1.点評価点 (上限-5点) 過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止にった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実にる処分基準において、指定の効力停止となった期間を点する。 また、停止処分が複数ある場合には、それぞれの点数	出動: 停止期	1か月を超え3か月まで 3か月を超え6か月まで		2 2 - (-1) (-2) (-3)		- *1

- ※1 過去3年間とは、令和5年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。
- ※2 過去5年間とは、令和3年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。 ※3 契約締結後に、やむを得ない理由により技術者に変更が生じた場合には、申込時の施工体制評価点以上となるように技術者を配置する。
- なお、変更後の施工体制が適正に配置されていることを確認するまでは、新たな発注は行わない。 ※4 技術者は①現場代理人、②主任技術者、③配水管工、④給水装置工事主任技術者、⑤酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者、 ⑥貯水槽清掃作業監督者、⑦配水管からの分岐穿孔及び配管工事に従事する者、⑧石綿作業主任者とする。
- 女性かつ40歳以下の場合は、女性技術者としてのみ評価する。 ※5 詳細は、資料2-12/12「(補足)評価対象一覧」のとおり。 ※6 令和6年能登半島地震に伴う水道施設復旧工事については、派遣期間によらず令和6年5月31日を基準として評価する。

「水道施設維持補修工事」の評価内訳

令和6年度又は令和6年度を含む過去5年間のうち3年間継続して水道緊急工事請負単価契約(維持補修工事)又は水道施散維持補修工事請負単価契約の実績がない者

評価点	評価項目		評価点		評価年
			100		_
A 技術	背評価点		50. 0		_
1 会	社の施工実績	38.0			_
(1) 成績評価点		25		
	. \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	A	75点以上	25.0	
	i) 過去3年間に配水管小規模整備工事請負単価契約の契約実績がある者 通知された工事成績評定点を年度ごとに平均し、A~Mの評価を行い、年度点数としその点数	В	74点以上75点未満	23. 5	
	の亚物を年度占数として決定する。ただし 60占夫満の成績確定占があった年度けMとする	C D	73点以上74点未満72点以上73点未満	22. 0	
	なお、適去5年間に、週及して工事成績評定の演点修正か行われた工事条件の存住か認められ	E	71点以上72点未満	19. 0	
	た場合は、当該工事成績評定は修正が実施された年度の工事成績評定点として取扱う。 決定した年度点数を平均し、成績評価点とする。	F	70点以上71点未満	17. 5	
		G	69点以上70点未満	16.0	
	ii) 上記i)の実績がない者 過去5年間に施工したEランク以上の当局総価契約案件工事(水道施設工事)の実績を評価す	Н	68点以上69点未満	14. 5	
	過去5年間に施工したEプング以上の当局総価契約条件工事(水道施設工事)の実績を評価する。過去5年間の全ての工事成績評定点を平均し、A~Mの評価を行い、点数を決定する。その点	I	67点以上68点未満	13. 0	
	数を成績評価点とする。	K	66点以上67点未満 65点以上66点未満	11. 5 10. 0	
	工事実績に下請負工事を含む場合、下請負工事で申請した工事実績の件数分を工事成績評定点 65点で施工したものとみなす。	I.	60点以上65点未満	5. 0	
	ひかん に 正 ひた ひり こりがよう。	M	60点未満	0.0	
('	2)施工実績評価点		9.0		1
	;) 冯士 9 年間に記え際小田措敷供工車陣各畄価初約の初約字簿がよる老	A	3 回	5.0	`B+0/=
f	i)過去3年間に配水管小規模整備工事請負単価契約の契約実績がある者 ただし、60点未満の成績評定点があった年度は、契約実績に含めない。	В	2 回	3. 0	過去3年(※1)
1 1		С	1回	1.0	または
1 1	① ii) 上記i) の実績がない者 過去5年間に施工したEランク以上の当局総価契約案件工事(水道施設工事)の実績のう		上限5点		過去5年(※2)
	ち、水道附属施設 (※6) の新設個数を評価する。		水道付属施設×0.02 (小数点以下2位を切捨		または
	ただし、60点未満の成績評定点があった案件工事の新設個数は、評価しない。				申込時
	② 過去3年間に水道緊急工事請負単価契約(漏水修理工事)の契約実績がある者	A B	3回2回	2.0	
	○ ただし、60点未満の成績評定点があった年度は、契約実績に含めない。	С	1回	1. 0	
	i) 過去5年間の当局水道施設工事(区部)における口径400mm以上の施工実績がある		2		
	者(下請の場合は、2件以上の実績がある場合に評価する。)		2	上限	
	③ ii) 上記i) の実績がない者 申込時に当局水道施設工事(区部)における口径400mm以上の施工資器材を含む体制を		1.5	2. 0点	
i L	確保できる者				
(:	3) 信頼性・社会性評価点		4		
	当局総価契約案件工事 (水道施設工事)、工 過去3年間に表彰された実績を評価する。 事請負単価契約 (水道施設工事)での優良工 事表彰・公表実績			上限	
	① 申請年度の12月31日時点で直近の過去3回 当局水道工事イメー 最優秀賞、優秀賞、審査 ジアップコンクール 員特別賞、優良賞、アイでの表彰・公表実績 デア賞、事例集活用賞		1回につき0.5	4点	
2 配	置予定技術者の能力		8		
	置予定技術者の能力 1) 施工体制評価点 ※3		8		
	1) 施工体制評価点 ※3 i) 過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請 負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii) 上記i) の配置者がいない者		3		
	1) 施工体制評価点 ※3 i)過去3年間(※1)に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii)上記i)の配置者がいない者過去5年間(※2)に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている		6		申込時
	1) 施工体制評価点 ※3 i) 過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii) 上記:) の配置者がいない者 ii) 上記:) の配置者がいない者 ii) 上記:) の配置者がいない者 ii) 上記:) 現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上 (資料2-9/12参照)		3		申込時
(1) 施工体制評価点 ※3 i) 過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii) 上記i) の配置者がいない者 過去5年間(※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている 現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) 雰 場合の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている		6 3 2 2 1		申込時
(1) 施工体制評価点 ※3 i) 過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii) 上記i) の配置者がいない者 過去5年間(※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) ③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている 2) 担い手確保に向けた取り組み ※4		6 3 2 2 1 2	I etc	申込時
(1) 施工体制評価点 ※3 i) 過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii) 上記i) の配置者がいない者 過去5年間(※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 環料で理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) ③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている 2) 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0	上限 	申込時
(;	1) 施工体制評価点 ※3 i) 過去3年間 (※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii) 上記i) の配置者がいない者 過去5年間 (※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている 2 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上記以外の技術者に配置されている		6 3 2 2 1 2	上限 2点	申込帳
3 %	1) 施工体制評価点 ※3 i) 過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii) 上記i) の配置者がいない者 過去5年間(※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者をして区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている 2) 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている 書協定等に基づく地域貢献(上限2点)		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0		_
3 %	1) 施工体制評価点 ※3 i) 過去3年間 (※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii) 上記i) の配置者がいない者 過去5年間 (※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) ③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている 2) 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上記以外の技術者に配置されている 書協定等に基づく地域貢献(上限2点)		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0 2		過去5年間(
3 %	1) 施工体制評価点 ※3 i) 過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii) 上記i) の配置者がいない者 過去5年間(※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者をして区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 現場代理人又は専任の主任技術者の配置されている ② 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている ② 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている 書協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1) 災害協定等に基づく地域貢献(上限2点) 活動実績 出動準備 2) 災害協定の締結の有無 ※5		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0 2 1 0.5		
3 <u>災</u> (() () ()	1) 施工体制評価点 ※3 i) 過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii) 上記i) の配置者がいない者 過去5年間(※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) ③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている 2) 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上記以外の技術者に配置されている 書協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1) 災害協定等に基づく活動実績評価点 ※7 「活動実績出動準備 2) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0 2 1 0.5 1		一 過去5年間(過去3年間(申込氏
3 災 (((((((((((((((((((1) 施工体制評価点 ※3 i)過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii)上記i)の配置者がいない者 過去5年間(※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者をして区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) ③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている 2) 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上記以外の技術者に配置されている 書協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1) 災害協定等に基づく活動実績評価点 ※7 活動実績 出動準備 2) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0 2 1 0.5 1 2 2		一 過去5年間(3 過去3年間(3 申込時 申込時
3 災 ((((((((((((((((((1)施工体制評価点 ※3 i)過去3年間(※1)に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii)上記i)の配置者がいない者過去5年間(※2)に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) ③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている ② 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上記以外の技術者に配置されている書協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1)災害協定等に基づく活動実績評価点 ※7 活動実績 出動準備 ② 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1)緊急時の対応能力 1)緊急時の対応能力に対する評価点点評価点(上限-5点)		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0 2 1 0.5 1 2 2		一 過去5年間(過去3年間(申込氏
33 炎(((((((((((((((((((((((((((((((((((1) 施工体制評価点 ※3 i)過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii)上記i)の配置者がいない者過去5年間(※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) ③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている ② 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上記以外の技術者に配置されている 書協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急防の対応能力 1) 緊急防の対応能力 1) 緊急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点 点評価点(上限-5点) 過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止に 1か月まで		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0 2 1 0.5 1 2 2		一 過去5年間(3 過去3年間(3 申込時 申込時
3 災 ((:(:(:(:(:(:(:(:(:(:(:(:(:(:(:(:(:(:(1)施工体制評価点 ※3 i)過去3年間(※1)に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii)上記i)の配置者がいない者過去5年間(※2)に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者をして区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている ② 専任の耐けた取り組み ※4 ③ 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上記以外の技術者に配置されている 書協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1) 災害協定等に基づく活動実績評価点 ※7 ② 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点点評価点(上限-5点) 過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止にたた期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に処分基準において、東京都発注の工事で指名停止になり、東京都発達の関力を能力を含まる場合に対して、東京都発注の工事で指名停止になり、東京都発達の対応能力 1 か月まで 1 か月まで		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0 2 1 0.5 1 2 2		
3 炎 ((((((((((((((((((((((((((((((((((((1)施工体制評価点 ※3 i)過去3年間(※1)に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii)上記i)の配置者がいない者 過去5年間(※2)に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている 現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 壊化理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) ③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている ② 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている 書協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1) 災害協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点 点評価点(上限-5点) 急患3年間において、東京都発注の工事で指名停止にたり、対情及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に の処分基準において、東京都発注の工事で指名停止にたり、対情及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に の処分基準において、東京都発注の工事で指名停止にたり、対情及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に の処分基準において、東京都発注の工事で指名停止によった判間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に の処分基準において、東京都発注の工事で指名停止によった。対情及を超え3か月まで コトリーを超え3か月まで コトリーを経入3か月まで コトリーを経入3か月まで コトリーを経入3か月まで コトリーを経入3か月まで コトリーを経入3か月まで コトリーを経入3か月まで コトリーを経入3か月まで コトリーを経入3か月まで コトリーを経入3か月まで コトリーを経験のよりによる40年まで コトリーを表現しためによる40年まで コトリーを表現しため、40年まで コトローを表現しため、40年まで コトリーを表現しため、40年まで コトリーを表現し		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0 2 1 0.5 1 2 2 2 - (-1)		一
((; (; (; () () () () () () () () () () () () ()	1)施工体制評価点 ※3 i)過去3年間(※1) に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii)上記i)の配置者がいない者過去5年間(※2) に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者をして区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者をして区部工事請負単価契約を経験している現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12を限) ③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている ② 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上記以外の技術者に配置されている書協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1)災害協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1)災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1)緊急時の対応能力に対する評価点点評価点点評価点(上限-5点) 基式3年間において、東京都発注の工事で指名停止にたが開閉及び都指定給水装置工事事業者の違反事実において、東京都発注の工事で指名停止にたりが開放されて、東京都発注の工事で指名停止によった期間を記する。 は 1か月まで 1か月を超え3か月まで 1か月を超え6か月まで 1か月を超え6か月まで 1か月を超え6か月まで 1か月を超え6か月まで 1か月を超え6か月まで 1か月を超え6か月まで 1か月を超え6か月まで 1か月を超え12か月まで 1か月を超え6か月まで 1か月を2か日によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0 2 1 0.5 1 2 2 2 - (-1)		
() () () () () () () () () ()	1)施工体制評価点 ※3 i)過去3年間(※1)に現場代理人又は専任の主任技術者として水道施設維持補修工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ii)上記i)の配置者がいない者 過去5年間(※2)に現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者として区部工事請負単価契約を経験している現場代理人又は専任の主任技術者が配置されている ② 現場代理人、専任の主任技術者及び専任の配水管工(大口径)の合計が3人以上(資料2-9/12参照) ③ 専任の配水管工(大口径)としてスーパー配管工が配置されている ② 担い手確保に向けた取り組み ※4 ① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主任技術者又は配水管工に配置されている ② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上記以外の技術者に配置されている 書協定等に基づく地域貢献(上限2点) 1) 災害協定の締結の有無 ※5 急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力 1) 緊急時の対応能力に対する評価点 点評価点(上限-5点) 過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止に た規間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に た規間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に た規間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に た規間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に た規間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に たが規間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に たが規間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に たが規間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に たが規則及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に たが別はないて、指定の効力停止となった期間を は、1か月まで 1か月を超え3か月まで 3か月を超え6か月まで		6 3 2 2 1 2 1人につき1.0 1人につき1.0 2 1 0.5 1 2 2 2 - (-1) (-2) (-3)		

- | ※1 過去3年間とは、令和5年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。 | ※2 過去5年間とは、令和3年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。

- ※3 契約締結後に、やむを得ない理由により技術者に変更が生じた場合には、申込時の施工体制評価点以上となるように技術者を配置する。なお、変更後の施工体制が適正に配置されていることを確認するまでは、新たな発注は行わない。
 ※4 技術者は①現場代理人、②主任技術者、③配水管工、④給水装置工事主任技術者、⑤酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者、⑥貯水槽清掃作業監督者、⑦配水管からの分岐穿孔及び配管工事に従事する者、⑧石綿作業主任者とする。 ※A. ホーロ | ボール |
- ※6 水道附属施設とは、完成図の工事完成数量表に記載された制水弁、空気弁、消火栓、排水栓、区画量水器、伸縮管、排水弁、WTBを対象とする。 ※7 令和6年能登半島地震に伴う水道施設復旧工事については、派遣期間によらず令和6年5月31日を基準として評価する。

評価対象になる例

	現場代理人	主任技術者	配管工
A氏	0		
B氏	1	0	
C氏	-		0

	現場代理人	主任技術者	配管工
A氏	0	0	
B氏	-		0
C氏	-		0

	現場代理人	主任技術者	配管工
A氏	0		0
B氏	1	0	
C氏	-	0	

	現場代理人	主任技術者	配管工
A氏	0		
B氏	-	0	0
C氏	-	0	0

評価対象にならない例

	現場代理人	主任技術者	配管工	
A氏	0	0	0	DEE.
B氏	-	-	-	B氏、
C氏	-	1	-	

B氏、C氏の資格がないため -合計 3 人にならない

	現場代理人	主任技術者	配管工
A氏	0	-	-
B氏	-	0	0
C氏	-	-	-

C氏の資格がないため 合計3人にならない

「配水本管小規模整備工事請負単価契約」の評価内訳

過去3年間に配水管小規模整備工事請負単価契約の実績がある者

合評価		1	評価点	評価年			
	点 点		100	_			
技	析評価点		50	-			
1	会社の施工実績		35				
	(1) 成績評価点	25					
			A 75点以上 25.0				
			B 74点以上75点未満 23.5				
	通知された小規模整備工事の工事成績評定を年度	Eごとに平均し、A~Mの評価を行い点数を	C 73点以上74点未満 22.0				
	決定する。なお、小規模整備工事で、同じ月に通知		D 72点以上73点未満 20.5 E 71点以上72点未満 19.0				
	数による加重平均を行う。ただし、A~Kの範囲内はLとする。	Pでも60点未満の成績評定点があった場合	F 70点以上71点未満 17.5				
	ALCY Do		G 69点以上70点未満 16.0				
	なお、過去5年間に、遡及して成績評定の減点修		H 68点以上69点未満 14.5				
	場合は、当該工事成績評定は修正が実施された年度 行った年度に契約がない場合は、契約実績のある値		I 67点以上68点未満 13.0				
	上記で決定した年度点数を平均し、成績評価点と		J 66点以上67点未満 11.5	過去34			
			K 65点以上66点未満 10.0	(*1			
			L 60点以上65点未満 5.0 M 60点未満 0.0	またり			
			M 60点未満 0.0 5	_ 過去 5 ⁴ (※ 2			
	(2) 旭工天順計圖点		A 4.0億円以上 5.0	- (2)			
			B 3. 6億円以上4. 0億円未満 4.5	1			
			C 3. 2億円以上3. 6億円未満 4.0	1			
			D 2.8億円以上3.2億円未満 3.5	1			
	ー - 在度プレビ 小相構軟備工車の拡工宝繕婚を合き	- 1 Δ ~ Kの評価を行い 占粉を注定する	E 2. 4億円以上2. 8億円未満 3.0 F 2. 0億円以上2. 4億円未満 2.5				
		年度ごとに、小規模整備工事の施工実績額を合計し、A~Kの評価を行い、点数を決定する。 決定した年度点数を平均し、施工実績評価点とする。					
			G 1.6億円以上2.0億円未満 2.0				
			H 1. 2億円以上1. 6億円未満 1.5 T 0. 8億円以上1. 2億円未満 1.0				
			I 0.8億円以上1.2億円未満 1.0 J 0.4億円以上0.8億円未満 0.5	_			
			K 0. 4億円未満 0.0	1			
j	(3) 信頼性・社会性評価点(上限5点)		5				
	① 過去3年間に表彰された美績を評価する。	当局総価契約案件工事(水道施設工事)、 工事請負単価契約での優良工事表彰・公表 実績	2 (上限2点)	77 - C 1			
	由77年度の10日91日時上で支援の場上9日	当局水道工事イメー 最優秀賞、優秀賞、 審査員特別賞、優良賞	2 (上限2点)	- 過去 3 ⁴ (※ 1			
		ジアップコンクール での表彰・公表実績 用賞	1 (上限1点)				
	③ 単価契約工事又は緊急施行工事の実績 ※3	I I	1				
2	配置予定技術者の能力		10				
	(1)施工体制評価点(上限10点) ※4		10				
	専任の監理技術者 2名以上		5. 0				
	専任の監理技術者 1名		2. 0	_			
	② 専任の配水管工(大口径)2名以上 専任の配水管工(大口径)1名		4.5	申込			
	等任の配水官工(人口住) 1名 ③ 専任の配水管工としてスーパー配管工が配置さ	れている	1. 5 2. 0	\dashv			
ŀ	(2) 担い手確保に向けた取組(上限1点)※5	,	1	1			
	① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主	任技術者又は配水管工に配置されている	1.0	1			
	② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上		0. 5	1			
3	災害協定等に基づく地域貢献(上限3点)		3				
	災害協定等に基づく活動実績評価点※6	活動実績	3	過去5年間			
		出動準備	1	過去3年間			
	災害協定の締結有無 ※3		1	申込			
	緊急時の対応能力		2	申込			
4	緊急時の対応能力に対する評価点 減点評価(上限-5点)		2 (-5)	1			
		1か月まで		-			
	温土3年間において 東方邦及注の工事で作々信止い	1 1 カ) ロ チ バ	(-1)				
5	過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止に なった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に係						
5	なった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に係る処分基準において、指定の効力停止となった期間を減点	停 1か月を超え3か月まで	(-2)	過去3個			
5	なった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に係る処分基準において、指定の効力停止となった期間を減点する。		(-2) (-3)				
5	なった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に係る処分基準において、指定の効力停止となった期間を減点する。 また、停止処分が複数ある場合には、それぞれの点数の合計を減点する。	停 1か月を超え3か月まで 止 3か月を超え6か月まで	· · ·	過去 3 ⁴ (※ 1			
5	なった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事実に係る処分基準において、指定の効力停止となった期間を減点する。 また、停止処分が複数ある場合には、それぞれの点数の	停 1か月を超え3か月まで 出 3か月を超え6か月まで	(-3)				

- ※1 過去3年間とは、令和5年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。※2 過去5年間とは、令和3年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。

- ※3 詳細は、資料2-12/12「(補足)評価対象一覧」のとおり。 ※4 契約後、技術者に変更が生じ施工体制評価点(上限10点)が下がる場合には、申込時の施工体制評価点以上の体制が確認できるまでは、新たな発注は行わない。 また、当局の判断で虚偽申請として取り扱う場合がある。
- ※5 女性かつ40歳以下の場合は、女性技術者としてのみ評価する。
- ※6 令和6年能登半島地震に伴う水道施設復旧工事については、派遣期間によらず令和6年5月31日を基準として評価する。

「配水本管小規模整備工事請負単価契約」の評価内訳

過去3年間に配水管小規模整備工事請負単価契約の実績がない者

		評価項目					評価点		評価年数
評値	油点						100		_
技	術語	平価点					50		_
1	숲	社の施工実績					39		_
	(1	1)成績評価点					25		
			A	75点以上	25.0				
						В	74点以上75点未満 73点以上74点未満	23. 5	
						D	72点以上73点未満	20. 5	
						Е	71点以上72点未満	19. 0	-
		過去5年間に施工したCランク以上で口径400mm以下、の実体(0.44以上) さず(元十7	以上	の総価契約案件	卡工事(水道施設案件工	F	70点以上71点未満	17.5	
		事)の実績(2件以上)を評価する。 過去5年間の工事成績評定点を平均し、A~Mの	り評り	面を行い、点数	女を決定する。その点数	G	69点以上70点未満	16.0	
		を成績評価点とする。				Н	68点以上69点未満	14.5	
						I	67点以上68点未満 66点以上67点未満	13. 0 11. 5	
						K	65点以上66点未満	10.0	-
						L	60点以上65点未満	5. 0	過去5年
						M	60点未満	0.0	(※1)
	(2	2) 施工実績評価点					5		
							0億円以上	5. 0	
						-	6億円以上4.0億円未満 2億円以上3.6億円未満	4. 5	
		2日十月午間に休工したCランカPULで日保400P	vi I.,	カ%/III # 17 65 45 /F	上工事 (北洋批訊安州工		8億円以上3.2億円未満	3. 5	
		過去5年間に施工したCランク以上で口径400mm以事)の年間施工実績(2件以上)を評価する。	人上	//総価失約条件	十二争(小坦旭叔条什二		4億円以上2.8億円未満	3. 0	
		過去5年間の、実績金額を合計し、その合計金額	頁を	5年で割り1年	あたりの金額に換算し	F 2.	0億円以上2.4億円未満	2. 5]
		たものを、A~Kの評価を行い、点数を決定する。				-	6億円以上2.0億円未満	2.0	
							2億円以上1.6億円未満	1.5	
				-	8億円以上1.2億円未満 4億円以上0.8億円未満	1.0	-		
						-	4億円未満	0.0	
	(:	3) 信頼性・社会性評価点(上限5点)					5		
		当局終価契約案件工事(水道施設工事)					2		
			清負単価契約で	での優良工事表彰・公表		(上限2点)		NR 1 - 6-1	
		7	クールでの表彰・ アイデア賞、事例集活			2 (上限2点)			過去3年間 (※2)
		申請年度の12月31日時点で直近の過去3回 / 2							
		4	(表	実績	用賞		(上限1点)		
	(4	1) 本管施工能力評価点(上限4点)			4				
						A	800mm以上	3.0	NB 1 - 6-6
		過去5年間に施工した口径400mm以上の総価す				B C	700mm 600mm	2.5	過去5年
		する。下請負実績も評価対象とする。	を決定する。その点数を施工実績評価点と				500mm	2.0	(/•(1 /
						D E	400mm	1. 0	-
		NE Love Many 2 2 40 feets 41 ets 11 age to 7 1 24 Masses	ete te		77 L L MY LL CHY L 70 177				
		過去に施工した総価契約案件工事(水道施設 ② 事」の実績を評価する。		※ 3					
		※令和5年12月31日までに現場着手している		,,,					
2	悪コ	置予定技術者の能力					8		
۱	_	□ 」 定収納有の能力□)施工体制評価点(上限8点) ※4					8		-
		恵任の監理技術者 9名以上				1	5, 0		-
		事任の監理技術者 1名					2. 0		-
		専任の配水管工(大口径) 2名以上					4.5		申込時
		- 専任の配水管工(大口径)1名					1.5		
		2) 担い手確保に向けた取組(上限1点)※5	h :	. (los abr	http://www.harter	1	1		
		① 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が主					1.0		
3	<<<	② 専任の女性もしくは、40歳以下の技術者が上	記り	いい技術者に	旺直されている	1	0.5		
د ا	災害協定等に基づく地域貢献(上限1点) 災害協定の締結有無 ※6						1		申込時
4		急時の対応能力					2		
		※急時の対応能力に対する評価点				1	2		申込時
5		点評価					(-5)		
	指名	S停止等による減点(上限−5点)					(-5)		1
	[過去3年間において、東京都発注の工事で指名停止		1か月まで		İ	(-1)		1
		になった期間及び都指定給水装置工事事業者の違反事 実に係る処分基準において、指定の効力停止となった	停	1か月を超え	3か月まで		(-2)		過去3年
		期間を減点する。	止	3か月を超え		1	(-3)		(*2)
			期		U 1/1 0 V	1	(0/		4
		W. A A A		らか日ナガニ	1.9 か日まっ		(-1)		
		数の合計を減点する。 なお、複数の契約に申込みがある場合には、それぞ	間	6か月を超え			(-4)		-
,		数の合計を減点する。			1 2 か月まで え 2 4 か月まで		(-4) (-5) 50		

- ※1 過去5年間とは、令和3年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。 ※2 過去3年間とは、令和5年4月1日から令和7年12月31日までの期間である。

- ※3 「配水本管技術力発揮工事」が令和5年1月10日以降に起工された案件に適用されるため、令和5年1月10日から令和6年12月31日までとする。 ※4 契約後、技術者に変更が生じ施工体制評価点(上限8点)が下がる場合には、申込時の施工体制評価点以上の体制が確認できるまでは、新たな発注は行わない。 また、当局の判断で虚偽申請として取り扱う場合がある。
- ※5 女性かつ40歳以下の場合は、女性技術者としてのみ評価する。※6 詳細は、資料2-12/12「(補足)評価対象一覧」のとおり。

(補足) 評価対象一覧

1 「単価契約工事の実績」における評価対象契約

(1) キー1、2、維持、本管

当局発注の工事請負単価契約のうち、業種「04 水道施設工事」に該当するもの

(2) + -3

- ア 当局発注の工事請負単価契約のうち、業種「09 給排水衛生工事」に該当するもの
- イ 水道緊急工事 (漏水修理工事) 請負単価契約
- ウ 給水管整備及び取り出し工事請負単価契約
- (3) + -4

当局発注の工事請負単価契約のうち、業種「09 給排水衛生工事」に該当するもの

2 「緊急施行工事の実績」における評価対象工事

当局発注の災害時における緊急施行工事を完了した実績

3 「災害協定の締結有無」における評価対象協定

- (1) キー1、2、維持
 - ア 災害時における応急対策業務に関する細目協定
 - イ 災害時における水道施設等の応急措置の協力に関する協定
 - ウ 災害時における給水装置の応急措置の協力に関する協定
 - エ 震災等非常災害時における水道工事用材料の供給に関する協定
 - オ 応援派遣に係る水道施設等の応急措置の協力に関する協定
- (2) + -3, 4
 - ア 災害時における水道施設等の応急措置の協力に関する協定
 - イ 災害時における給水装置の応急措置の協力に関する協定
 - ウ 震災等非常災害時における水道工事用材料の供給に関する協定
- (3) キー本管
 - ア 災害時における応急対策業務に関する細目協定

- イ 災害時における水道施設等の応急措置の協力に関する協定
- ウ 災害時における給水装置の応急措置の協力に関する協定
- エ 震災等非常災害時における水道工事用材料の供給に関する協定
- オ 応援派遣に係る水道施設等の応急措置の協力に関する協定
- カ その他東京都と締結している災害時における応急措置の協力に関する協定(単契実績以外での申込者に限る。)

	エ	事	希	望	票	兼	予	定	監	理	技	術	者	等	調	書	
	1											:	令和	年		月	
社 名														東京都	受付番	号	
所在地																	
代表者	職氏	:名												建設業	許可番	중号	
担当者	担当	者										大臣	至•				知事
	会社連	絡先				FAX						(特	• 般)第		号
	整理				件												
	理番号				名												
希望				<u> </u>		<u> </u>										業	種
希望する工事	沯																
I S	希望理由															等 級	順位
争	由														格		
															付		
	契約番	号	件	3										I	R	年	月
※ 施 行 中													千 円	期	R	年	~ 7 月
	契約番号 受注金額												1 13				
の 工 事			件名	<u> </u>] I	R	年年	~ 月
	契約番	_	受注金額	頂									千 円	期	R		月 ————
(局 発注	大小り田	5	件名	3										エ	R	年	月 ~
分			受注金額	頂									千 円	期	R	年	月
				監理	里技術	者							交付番	号(監	理技術	话者資	格者証)
	技術者	又は、	める監理 主任技術			名							<u>第</u>				뭉
酉	者のど 入	ちらか	一方を記	主任	王技術	者							/				
置				氏		名											
予	予定技術者の従事中工事の有無についてどちらか一方をOで囲むこと						東	京	都石	在 試	显欄						
定		有	•		無								主任技	術者の	雇用	確認	
技											頭通知書						
術	件	名:			_									康保険 準報酬			金被保険者
者													□履	歴事 項			<u></u>
	発注者	名: /		-									ロそ	の他			確認
	I	期:	令和	年	月日	~	令和	年	月 E	3							

注1 日付は、「入札参加申し込み」書類提出日とする。

注2 ※欄は必要に応じて記載してください。

経歴書(主任技術者)

氏 名	

学 歴

卒業年月	学校名	学部・学科等

資格(実務経験と併せて主任技術者となり得る資格を所有する者)

合格年月	資格名	必要な実務経験年数
年 月		

職歴

	期間(西暦年	F月)		月数	契約件名(工事件名)	所属会社名
年	月 ~	年	月			
年	月 ~	年	月			
年	月 ~	年	月			
年	月 ~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月 ~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月 ~	年	月			
年	月~	年	月			
	合計					

- 注 1 学歴欄には、配置予定技術者における主任技術者として申込案内で必要とされている学歴を記載すること。
 - 2 職歴欄には、配置予定技術者における主任技術者として申込案内で必要とされている職歴及び実務経験を記載すること。

経歴書(主任技術者)

氏 名 水道 太郎

学 歴

卒業年月	学校名	学部・学科等
2010年3月	〇〇大学	××学部△△学科

資格(実務経験と併せて主任技術者となり得る資格を所有する者)

	合格年	F月	資格名	必要な	験年数		
20	018 年	10 月	1級土木管理技士補	合格後	3	年間	

職歴

期間(西暦年月)				月数	契約件名(工事件名)	所属会社名
2019 年	4 月 ~	2024 年	3 月	60	配水管小規模整備工事請負単価契約	○○建設
年	月 ~	年	月			
年	月 ~	年	月			
年	月 ~	年	月	=¬	7 /Eil	
年	月 ~	年	月	百口	1 5/J	
年	月 ~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月 ~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月 ~	年	月			
年	月~	年	月			
年	月 ~	年	月			
	合計	†	_	60		

- 注 1 学歴欄には、配置予定技術者における主任技術者として申込案内で必要とされている学歴を記載すること。
 - 2 職歴欄には、配置予定技術者における主任技術者として申込案内で必要とされている職歴及び実務経験を記載すること。